NEC

VALUESTAR

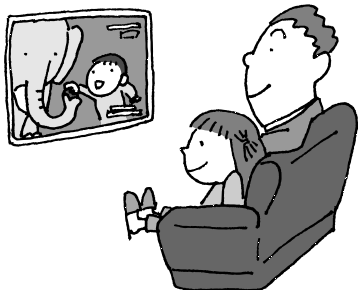
こだわりAVガイド

SmartVision

もっとテレビを楽しむ本

『映像・音楽を楽しむ本』より、
一歩進んだテレビの楽しみ方を。

さかのぼり録画／おてがる予約／
おまかせ録画／ぴったり録画／
追っかけ再生／オリジナルDVD作成

デジタルもアナログも
パソコンでテレビを楽しみつくす!

このパソコンでは、今までのテレビ（地上アナログ放送）だけではなく、新しいテレビ放送のデジタル放送を見たり、録画したりできます。

- **地上アナログ放送:今までのテレビ放送**
- **地上デジタル放送※1:新たに始まった、高画質・高音質で、データ放送などの新機能が楽しめるテレビ放送**
- **BS・110度CSデジタル放送※1※2:デジタルの高画質・高音質で放送されている衛星放送**

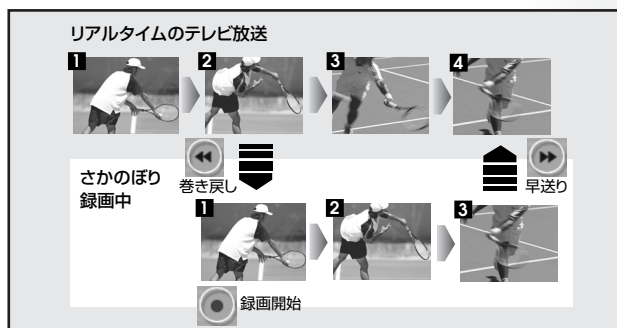
※1:アンテナや放送エリアによっては、利用できない場合があります。

※2:デジタルハイビジョンTV（地デジ/BS/CS）モデルのみ。

PART 1
「このマニュアルの読み方」

テレビを見ていて、「しまった、この番組録画しておけばよかった」と思ったときは「さかのぼり録画」。見ている番組を巻き戻して、前のシーンから録画できます。

PART 3
「さかのぼり録画をする」

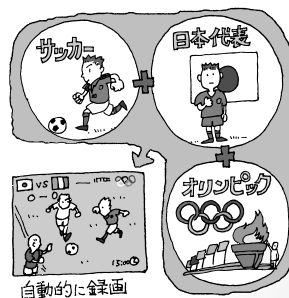
853-810601-582-A

おてがる予約

録画予約をするときは、画面に表示された番組表から見たい番組を選べば、そのまま録画予約が可能 ！ジャンルや出演者名から番組を探して予約することもできます。

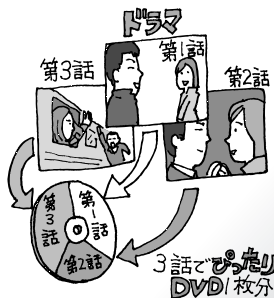
PART 2
「おてがる予約をする（番組表で予約する）」 p.33

PART 4
「番組を検索して予約する」 p.58

おまかせ録画

興味のあるジャンルやキーワードを登録しておけば、それにあった番組を「おまかせ録画」で自動的に探して録画できます。

PART 3
「おまかせ録画をする」 p.51

ぴったり録画

番組をDVDに保存したいけど、DVDにできるサイズになるかどうか心配、というときは「ぴったり録画」が便利。決めたサイズになるように、自動的に画質を調節して録画します。デジタル放送をアナログ変換するときにも利用できます。

PART 3
「ぴったり録画をする」 p.55

追っかけ再生

予約録画中に家に帰ってきたら、「追っかけ再生」で、録画中の番組を最初から見ることができます。早送りで見れば、リアルタイムの放送に追いつくこともできます。

PART 2
「追っかけ再生をする」

オリジナルDVD作成

録画した番組は、DVDにして保存できます。映像の編集やオリジナルのタイトル画面を作ることも。
コピーワンスのデジタル放送番組も、アナログ変換することでCPRM対応のDVD-RAMに保存できます。

PART 5
「番組を編集してDVD-Videoにする」 p.78

PART 6
「番組をCPRM対応DVD-RAMに保存する」 p.99

853-810601-582-A 2006年9月 初版

このマニュアルの表記について

◆本文中の画面、ホームページ

・本文中の画面は、モデルによって異なることがあります。また、実際の画面とは多少異なることがあります。本文中に使用しているホームページは、実際にご覧になるものと異なる場合があります。
・SmartVisionの画面は、特別な場合を除き、デジタルハイビジョンTV（地デジ/BS/CS）モデルの画面を使用しています。

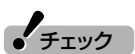
◆このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります

記載内容を守っていただけない場合、どの程度の影響があるかを表しています。

	人が障害を負う可能性が想定される内容、および、物的損害の発生が想定される内容を示します。

傷害や事故の発生を防止するための指示事項は、次のマークで表しています。

	使用者に対して指示に基づく行為を強制するものです。

その他の指示事項は、次のマークで表しています。

	してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているソフトの破壊、パソコンの破損の可能性があります。
	マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。
	そのページで大事なことや、操作のヒントが書かれています。
	地上アナログ放送のみの内容を示しています。
	地上デジタル放送のみの内容を示しています。
BS デジタル放送	BS・110度CSデジタル放送のみの内容を示しています。

◆このマニュアルの表記では、次のようなルールを使っています

【　】	【　】で囲んである文字は、キーボードのキーやリモコンのボタンを指します。
DVD/CDドライブ	DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RWドライブ（DVD-R/+R 2層書込み）のことを指します。
「サポートナビゲーター」	電子マニュアル「サポートナビゲーター」を起動して、各項目を参照することを示します。「サポートナビゲーター」はデスクトップの（困ったときのサポートナビゲーター）をダブルクリックして起動します。

◆このマニュアルでは、各モデル（機種）を次のような呼び方で区別しています

ご購入された製品のマニュアルで表記されているモデル名を確認してください。

DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RW（DVD-R/+R 2層書込み）モデル	DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RWドライブ（DVD-R/+R 2層書込み）（DVDスーパーマルチドライブ（DVD-R/+R 2層書込み））を搭載しているモデルのことです。
TVモデル	地上アナログ放送を見るための機能を搭載しているモデルのことです。
デジタルハイビジョンTV（地デジ/BS/CS）モデル	地上アナログ放送、地上デジタル放送、ＢＳ・１１０度ＣＳデジタル放送を見るための機能を搭載しているモデルのことです。
デジタルハイビジョンTV（地デジ）モデル	地上アナログ放送と地上デジタル放送を見るための機能を搭載しているモデルのことです。
インスタント機能搭載モデル	インスタント機能を搭載しているモデルです。

◆このマニュアルで使用しているソフトウェア名などの正式名称

（本文中の表記）	（正式名称）
Windows、Windows XP	Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版 Service Pack 2またはMicrosoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版 Service Pack 2またはMicrosoft® Windows® XP Media Center Edition 2005 operating system 日本語版
インターネットエクスプローラ、Internet Explorer	Microsoft® Internet Explorer 6.0 Service Pack 2
DVD MovieWriter	DVD MovieWriter® for NEC Ver.4
WinDVD	InterVideo® WinDVD™ 5 for NEC
ウイルスバスター	ウイルスバスター™2006 インターネット セキュリティ

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
(2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、NEC 121 コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。
(4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
(5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
(6) 海外 NEC では、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
(7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされている Microsoft® Windows® XP Home Edition または Microsoft® Windows® XP Professional、Microsoft® Windows® XP Media Center Edition、および本機に添付の CD-ROM、DVD-ROM は、本機のみでご使用ください。
(8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
(9) あなたがテレビ放送や録画物などから引用したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

アナログテレビ放送からデジタルテレビ放送への移行について

地上デジタルテレビ放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で 2003 年 12 月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は 2006 年末までに放送が開始されます。該当地域における受信可能エリアは、当初、限定されていますが、順次拡大される予定です。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログテレビ放送は 2011 年 7 月までに終了することが、国の法令によって定められております。

目次　CONTENTS

巻頭　デジタルもアナログもパソコンでテレビを楽しみつくす！　巻頭

このマニュアルの表記について …… ii

PART 1　テレビを見るための準備　1

このマニュアルの読み方 …… 2
- このパソコンで楽しめるテレビ放送 …… 2
- マニュアルの画面、説明について …… 2

こんな準備が必要です …… 4
- 接続と設定は済んでいますか？ …… 4

PART 2　テレビ機能を使おう　5

テレビ機能の基本 …… 6

テレビを見る …… 7
- SmartVisionを起動する …… 8
- 放送を切り換える …… 11
- 音量を調節する …… 12
- チャンネルを切り換える …… 12
- 番組を操作する …… 13
- 今見ている番組を録画する …… 14
- テレビを画面いっぱいに表示する …… 14
- 音声を切り換える …… 16

データ放送を見る 地上デジタル放送 BSデジタル放送 …… 18
- データ放送って何？ …… 18
- データ放送を表示する …… 18
- データ放送の操作 …… 19
- データ放送を見るときの注意 …… 20

番組表を使う …… 21
- 画面で見る番組表 …… 21
- インターネットから番組表をダウンロードできるようにする 地上アナログ放送 …… 22
- 番組表を受信する …… 24
- 番組表を見る …… 25
- 番組表の受信時刻を設定する …… 27

録画について …… 30

地上アナログ放送を録画するときの注意 地上アナログ放送 …… 30
地上デジタル放送、BS・110度CSデジタル放送を録画
するときの注意 地上デジタル放送 BSデジタル放送 …… 31
録画を中断する条件 …… 32
おてがる予約をする(番組表で予約する) …… 33
おてがる予約って何? …… 33
おてがる予約をする …… 34
予約の確認や変更、取り消しをする …… 36
予約の結果を確認する …… 38
予約するときの注意 …… 39
録画中にほかの放送を見る …… 40
予約実行前後の動作を設定する …… 41
録画した番組を再生する …… 42
再生の方法 …… 42
追っかけ再生をする …… 44
録画した番組を削除、整理する …… 45

PART 3 おすすめ機能を使おう 47

さかのぼり録画をする …… 48
さかのぼり録画って何? …… 48
タイムシフトモードにする …… 49
見ている番組を操作する …… 49
さかのぼり録画をする …… 50
おまかせ録画をする …… 51
おまかせ録画って何? …… 51
おまかせ録画を登録する …… 52
おまかせ録画した番組を再生する …… 54
ぴったり録画をする …… 55
ぴったり録画って何? …… 55
ぴったり録画をする …… 55
好きな録画サイズを登録する …… 56

PART 4

一歩すすんだテレビ操作 57

番組を検索して予約する …… 58
検索できる番組 …… 58
検索した番組を予約する …… 58
番組表を使わないで予約する …… 60
視聴予約をする …… 61
外出先から録画予約する（reserMail添付モデルのみ） 地上アナログ放送 …… 63
外部機器やゲーム機を接続する …… 64
用意するもの …… 64
外部ビデオ機器と接続する …… 65
ビデオの映像を録画する …… 66
ゲーム機と接続する
（デジタルハイビジョンTV（地デジ/BS/CS）モデルのみ） …… 67
ゲーム機の映像を表示する
（デジタルハイビジョンTV（地デジ/BS/CS）モデルのみ） …… 69
S/PDIF対応機器と接続する
（デジタルハイビジョンTV（地デジ/BS/CS）モデルのみ） …… 69
静止画をキャプチャする 地上アナログ放送 …… 70
字幕放送を見る …… 71
地上アナログ放送の字幕放送を見る 地上アナログ放送 …… 71
地上デジタル放送、BS・110度CSデジタル放送の
字幕放送を見る 地上デジタル放送 BSデジタル放送 …… 72
ラジオ放送、有料放送について BSデジタル放送 …… 73
ラジオ放送を聴く …… 73
有料放送を見る …… 73
その他の番組サービスについて 地上デジタル放送 BSデジタル放送 …… 74
マルチビューなどのサービスを利用する …… 74

PART 5

録画番組の編集・利用（地上アナログ放送） 75

録画番組でできること 地上アナログ放送 …… 76
番組を編集してDVD-Videoにする 地上アナログ放送 …… 78
編集してDVD-Videoを作る …… 79
作ったDVDを見る …… 84

番組をDVD-RAMに保存する 地上アナログ放送 …… 85
DVD-RAMについて …… 85
DVD-RAMに直接録画する …… 87
DVD-RAMに番組を保存する …… 88
DVD-RAMに保存した番組を再生する …… 88
録画した番組を携帯電話で見る 地上アナログ放送 …… 89
番組を持ち歩く …… 89
番組をSDメモリーカードに保存する …… 89

PART 6 録画番組の利用（地上デジタル放送／BS・110度CSデジタル放送） 93
録画番組でできること 地上デジタル放送 BSデジタル放送 …… 94
デジタル放送画質の番組をアナログ変換する 地上デジタル放送 BSデジタル放送 …… 95
アナログ変換について …… 95
アナログ変換をする …… 95
番組をCPRM対応DVD-RAMに保存する 地上デジタル放送 BSデジタル放送 …… 99
CPRMのアップデートをする …… 99
CPRM対応DVD-RAMに録画番組を保存する …… 99
DVD-RAMに保存した番組を再生する …… 100

PART 7 Q&A 101
テレビを見ているとき …… 102
テレビが映らない …… 102
SmartVisionのテレビ機能を利用中にエラーメッセージで、再起動するように表示された。またはSmartVisionが操作できなくなった …… 103
音が出ない、音が大きすぎる …… 104
映像が乱れる（コマ落ちする） …… 104
テレビの画面が白っぽい …… 105
デジタルデータ放送が表示できない 地上デジタル放送 BSデジタル放送 …… 105
視聴予約や録画予約ができないときには …… 106
視聴予約した番組が開始されない …… 106
録画予約した番組が録画されていない …… 106
VIDEOリストに録画した番組が見あたらない …… 107
おまかせ録画で番組を録画したり、予約することができない …… 108

番組表の受信がうまくいかない …… **109**
番組表が受信できない、またはデータの取りこぼしが起きる …… 109
番組表が2日分しか表示されない …… 110
動画や静止画をうまく取り込めない …… **111**
録画や静止画のキャプチャができない …… 111
ビデオからの映像が表示されない、音声が出ない …… 111
その他 …… **112**
SmartVisionのデータをバックアップしたい [地上アナログ放送] …… 112
SmartVisionの録画番組データをほかのパソコンに移したい …… 112
パソコンの電源が勝手に入ってしまう …… 112

付録 113

B-CASカードについて [地上デジタル放送] [BSデジタル放送] …… **114**
B-CASカードを扱うときの注意 …… 114
B-CASカードを登録する …… 114
アンテナの設定をする [地上デジタル放送] [BSデジタル放送] …… **115**
個人情報を消去する [地上デジタル放送] [BSデジタル放送] …… **117**
データを消去する …… 117
各モードの画面説明 …… **119**
映像をホームネットワークで配信する（VALUESTAR Xのみ） [地上アナログ放送] …… **123**
索引 …… **124**

テレビを見るための準備

テレビを見る前に、アンテナ線の接続やチャンネルと番組表の設定が必要です。
このパソコンで地上アナログ放送、地上デジタル放送、BS・110度CSデジタル放送を見るための方法についても説明しています。

PART 1

テレビを見るための準備

このマニュアルの読み方

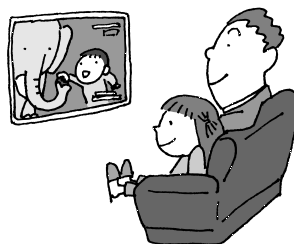
はじめに、このマニュアルを読む上で注意していただきたいことを説明します。

このパソコンで楽しめるテレビ放送

デジタルハイビジョンTV(地デジ/BS/CS)モデルでは、地上アナログ放送、地上デジタル放送、BS・110度CSデジタル放送を楽しめます。
デジタルハイビジョンTV(地デジ)モデルでは、地上アナログ放送と地上デジタル放送を楽しめます。

●地上アナログ放送
今までのテレビ放送です。

●地上デジタル放送
2003年12月から始まった、新しいテレビ放送です。今までのアナログ放送に比べて、デジタル放送になっているため、高画質、高音質です。また、データ放送などの新しいサービスが受けられるのも特長です。

●BS・110度CSデジタル放送(デジタルハイビジョンTV(地デジ/BS/CS)モデルのみ)
デジタルで放送されている衛星放送です。このパソコンでは、BSデジタル放送と「スカイパーフェクTV！110」の番組が見られます。地上デジタル放送と同じく、高画質、高音質、データ放送などの特長があります。

マニュアルの画面、説明について

このマニュアルでは、テレビ視聴・録画ソフト「SmartVision(スマートビジョン)」で、地上アナログ放送、地上デジタル放送、BS・110度CSデジタル放送を楽しむ方法を説明しています。
見る放送の種類は、SmartVisionの画面左側にある「ソースタブ」で切り換えます。
SmartVisionでは、放送の種類が違っても、テレビを見たり録画したりする基本的な操作は変わらないため、このマニュアルではまとめて説明をしています。
マニュアルの説明で使っている画像(画面写真)は、地上アナログ放送のときのものですが、特に注意書きがない限り、地上デジタル放送、BS・110度CSデジタル放送も同じように操作できます。また、デジタルハイビジョンTV(地デジ/BS/CS)モデルの画面を使用していますが、デジタルハイビジョンTV(地デジ)モデルでも、BS・110度CSデジタル放送に関係する部分を除き、同じように操作できます。

デジタルハイビジョンTV(地デジ/BS/CS)モデル

デジタルハイビジョンTV(地デジ)モデル

■ 放送ごとに異なる操作について

放送ごとに異なる操作が必要な場合は、マニュアルの説明を次のマークで分けています。何もマークが付いていない説明は、すべての放送に共通の内容です。

地上アナログ放送　地上アナログ放送のみの内容を表しています

地上デジタル放送　地上デジタル放送のみの内容を表しています

BSデジタル放送　BS・110度CSデジタル放送のみの内容を表しています

●表記の例

■ 字幕放送を受信する設定になっていませんか？ 地上アナログ放送

字幕放送を受信する設定にしていると、コマ落ちが発生する場合があります。
映像を優先される場合は、次の手順で字幕放送の字幕放送の設定を解除してください。

1 **(設定)をクリック**

2 **「地上アナログ詳細」をクリックし、「データ放送/字幕」タブの「字幕放送を受信する」をクリックして□にする**

3 **「OK」をクリック**

― 地上アナログ放送の内容

テレビの画面が白っぽい

「Visualボタン」を押して画質を切り換えてください。選択できる画質についてはPART2の「テレビを見る」(p.7)をご覧ください。

― すべての放送に共通の内容

デジタルデータ放送が表示できない 地上デジタル放送 BSデジタル放送

■ デジタルデータ放送をおこなっているチャンネルになっていますか?

デジタルデータ放送をおこなっている番組かどうか確認してください。データ放送をおこなっている場合は、画面右下のインジケータに「データ連動放送中」と表示されています。

― 地上デジタル放送／BS・110度CSデジタル放送の内容

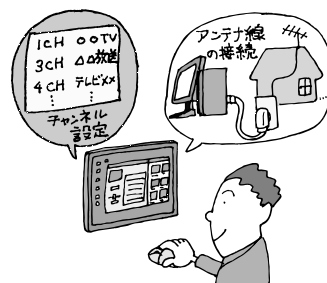
PART 1

テレビを見るための準備

こんな準備が必要です

セットアップ作業のときに、テレビの接続と設定が終わっていればすぐにテレビを見ることができます。

接続と設定は済んでいますか？

このパソコンでテレビを見るには、アンテナ線の接続やチャンネルなどの設定が必要です。
まだ接続や設定を済ませていないときは、『映像・音楽を楽しむ本』の「テレビを見るための準備」をご覧になり、接続と設定をしてください。
接続と設定が終わると、いよいよテレビを楽しめます。

■ テレビを見るまでの流れ

アンテナ線を接続する

ご家庭のテレビと一緒で、パソコンでテレビを見るにはアンテナ線の接続が必要です。
詳しくは『映像・音楽を楽しむ本』の「テレビを見るための準備」をご覧ください。

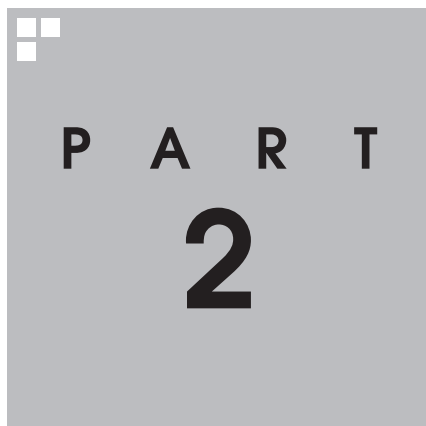
B-CASカードをセットする

デジタル放送のサービスを利用するために必要なB-CASカードをセットします。
詳しくは『映像・音楽を楽しむ本』の「テレビを見るための準備」をご覧ください。

チャンネルや番組表の設定をする

アンテナ線の接続が終わったら、チャンネルや番組表、地域などの設定をおこないます。
詳しくは『映像・音楽を楽しむ本』の「テレビを見るための準備」をご覧ください。

チェック

- ●CATV（ケーブルテレビ）から地上デジタル放送やBS・110度CSデジタル放送を受信できるかどうかは、各CATV会社により異なります。
- ●ケーブルテレビ会社経由で地上デジタル放送を受信する場合、再配信されている地上デジタル放送信号が同一パススルー方式、周波数変換パススルー方式の場合は地上デジタル放送を視聴可能です。その他の方式(トランスモジュレーションなど)では視聴できません。再配信されている地上デジタル放送の方式に関しては、ご利用のケーブルテレビ会社にご確認ください。
- ●視聴に別途ホームターミナルなどの装置が必要かどうかは、各CATV会社にお問い合わせください。ホームターミナルを接続して視聴する場合は、S映像用ケーブル（または映像用ケーブル）と音声用ケーブルを使って接続します。接続のしかたについて詳しくは、PART4の「外部機器やゲーム機を接続する」をご覧ください。
- ●CATV番組の放送局については、各CATV会社より届けられているCATV番組表などをご覧ください。

テレビ機能を使おう

さっそく、パソコンのテレビ機能を使ってみましょう。
見るだけでなく、番組表からのおてがる予約など、パソコンならではの充実した機能が楽しめます。

あなたがテレビ放送や録画物などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

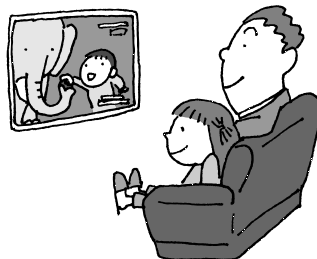
PART 2
テレビ機能を使おう

テレビ機能の基本

さあ、パソコンのテレビ機能を使い始めましょう。このPARTでは、テレビを見る、録画と再生をするというテレビ機能の基本を説明しています。

■ テレビを見る

左の画面はテレビ機能の基本になる、SmartVisionの画面です。
詳しい使い方は、次ページからの説明をご覧ください。

録画予約なら（番組表）

再生なら（VIDEOリスト）

■ 画面で見る番組表、予約録画

番組を選んで、（予約）をクリックすると、録画予約がスタート。

参照

- ●番組表について→このPARTの「番組表を使う」(p.21)
- ●予約録画をする→このPARTの「おてがる予約をする（番組表で予約する）」(p.33)

■ ビデオ再生

録画した番組再生はここから選んで、（再生）で見ます。

参照

再生をする→このPARTの「録画した番組を再生する」(p.42)

それでは、テレビ機能を使ってみましょう

PART 2
テレビ機能を使おう

テレビを見る

パソコンでテレビを見てみましょう。基本は、普通のテレビと同じです。

■ Visualモードについて

このパソコンでは、Visualボタンを押して、Visualモードにできます。
テレビを見ているときにVisualボタンを押すと、現在の画質が表示されます。画質が表示されている間にボタンを押すと、次の設定に切り換えられます。

画質	説　明	画質調節 ※1	明るさ調節 ※2
標準	ご家庭の一般的な使用環境に適した映像になります。	○	○
ビジュアルオン	映像をあざやかに表示します。	○	固定
ダイナミック	輪郭やコントラストを強くした映像になります。	固定	固定
シネマ	映画を見るのに適した映像になります。	固定	○

※1 画質は、SmartVisionの「設定」-「映像／音声／操作」-「映像」タブで調節します。「標準」と「ビジュアルオン」の画質設定は共通です。
※2 明るさは、パソコン本体前面（VALUESTAR Wの場合）またはディスプレイ右側面（その他のモデルの場合）の明るさ調節ボタンで調節します。

チェック

- テレビの画質は、SmartVisionの「設定」-「映像／音声／操作」-「映像」タブの「画質モード」でも選べます。
- テレビを表示していないときにVisualボタンを押すと、画面の輝度が「通常」と「最大」の2段階に変化します。

参照

- Visualボタンについて→VALUESTAR Wの場合は「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「各部の名称と役割」、その他のモデルの場合は、ディスプレイに添付のマニュアル
- 音量の設定について→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「サウンド機能」

⚠注意

- **ディスプレイをご使用になる際は、周囲を十分に明るくしてご使用ください。**
- **Visualモード使用時は、画面表示がより明るくなるため、周囲を十分明るくし、なるべく離れてご使用ください。**
  ごくまれに、強い光の刺激を受けたり、点滅を繰り返す映像を見ていると、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす人がいるという報告があります。こうした症状のある方は、Visual モードを OFF または標準にしてご使用ください。また、Visualモード使用中にこのような症状が起きた場合は、すぐにご使用を中止して医師の診察を受けてください。
  DVD 再生あるいは TV、VideoCD などをご覧いただく以外の場合は Visual モード OFF でのご使用をおすすめします。
- **SmartVision を起動する前に、音量を確認し、調節してください。**

SmartVisionを起動する

ここでは、パソコンでテレビを見るときの基本的な操作を説明します。

1 「ソフトナビゲーター」の「映像を見る・録る」-「テレビを見る・録画する」-「SmartVision」の「ソフトを起動する」をクリック

「SmartVision」が起動します。
「スタート」-「すべてのプログラム」-「SmartVision」-「SmartVision」をクリックしても起動できます。

この画面で、テレビのいろいろな機能が使えます。使い終わって、SmartVisionを終了するときは、画面右上の☒をクリックします。

ポイント

- 通知領域の を右クリックして表示されるメニューから「SmartVision起動」を選んでも起動できます。
- SmartVisionを起動したときに、ほかのソフトやウイルスチェックソフトについてのメッセージが表示されます。不要なときは、「次回起動時、このダイアログを表示しない」を☑にして、「OK」をクリックしてください。

チェック

- テレビの視聴中は、できるだけほかのソフトを操作しないでください。
- ＳｍａｒｔＶｉｓｉｏｎの起動中は、MediaGarageなど映像を表示するソフトを起動できません。
- SmartVisionは、「Guest」のアカウントでは利用できません。「コンピュータの管理者」または「制限」のユーザーアカウントでログオンしてください。
- SmartVision起動中にファイルアクセスが発生すると、ウイルスバスターなどのセキュリティソフトがリアルタイムにファイルスキャンをおこなうことがあります。この影響で、画面が乱れる（コマ落ちする）ことがあります。

参照

画像が乱れたときの対応方法→PART7の「映像が乱れる（コマ落ちする）」（p.104）

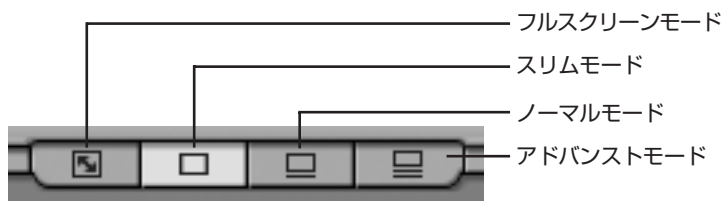
■ SmartVisionのモードを切り換える

初回起動時は、画面は視聴に必要な最小限の機能が表示された「スリムモード」になっています。

1 「画面モード切換タブ」の（ノーマル）をクリック

画面が「ノーマルモード」に切り換わります。

■ 画面モードについて

SmartVisionには、フルスクリーンモード/スリムモード/ノーマルモード/アドバンストモードの4つの画面モードがあります。
「画面モード切換タブ」をクリックして、目的に合った画面に切り換えることができます。

画面モード	説　明
フルスクリーンモード	ディスプレイ全体に映像を表示します。マウスをクリックするともとのモードに戻ります。
スリムモード	チャンネル切り換えや音量の調節など、視聴に必要な最小限の機能のモードです。小さな画面で表示されます。
ノーマルモード	テレビ視聴の基本的な操作ができます。
アドバンストモード	基本的な操作に加えて、録画した番組の簡易編集や静止画キャプチャ、ブックマーク、番組の詳細情報の表示、データ放送の操作などができます。

このマニュアルでは、基本的に「ノーマルモード」の画面を使って、各機能を説明しています。画面モードが異なる場合は、ノーマルモードに切り換えてご覧ください。

放送を切り換える

SmartVisionを起動したら、画面左側の「ソースタブ」で見たい放送のタブをクリックして表示します。

地上デジタル放送、BS・110度CSデジタル放送の映りが悪いときは、アンテナの設定をしてください。

110度CSデジタル放送をご覧になるには、各放送局との契約が必要です。

ポイント

VIDEOの再生を停止しないまま他のソースタブをクリックし、再びVIDEOタブをクリックした場合は、前回視聴していた映像から再生が始まります。

参照

アンテナの設定について→付録の「アンテナの設定をする」(p.115)

音量を調節する

音量の調節には、SmartVisionの音声コントロールを使います。

1 ＋、－をクリック

音量が上下します。またをクリックすると音量が最小になります(ミュート)。

チャンネルを切り換える

チャンネルを切り換えるには、SmartVisionのチャンネルコントロールを使います。

1 をクリックして表示されるチャンネルリストから、チャンネルをクリック

チャンネルが切り換わります。

チェック

チャンネルを切り換えるときは1秒以上間隔をあけて操作してください。

ポイント

ほかにも、次の方法でチャンネルを切り換えられます。

- ・、をクリックする
- ・ の欄をクリックして、キーボードでチャンネル番号を入力する
- ・番組表を表示して、見たい放送局名をクリックする
- ・キーボードの【1】〜【0】を使ってチャンネルを切り換える
  1CH〜10CH　【1】〜【0】
  11CH　【Ctrl】+【1】
  12CH　【Ctrl】+【2】
- ・キーボードの【Ctrl】を押しながら【↑】、【↓】を押す

■ BS・110度CSデジタル放送のプリセット設定について

BSデジタル放送

BS・110度CSデジタル放送のチャンネルは、ご購入時は、次のように設定されています。

キーボード		リモコン	BS	CS1	CS2
1		【1】	101CH	1CH	100CH
2		【2】	102CH	990CH	110CH
3		【3】	103CH	25CH	123CH
4		【4】	141CH	未設定	128CH
5		【5】	151CH	55CH	250CH
6		【6】	161CH	未設定	160CH
7		【7】	171CH	未設定	170CH
8		【8】	181CH	80CH	182CH
9		【9】	191CH	91CH	194CH
0		【10】	200CH	未設定	190CH
【Ctrl】＋	1	【11】	未設定	未設定	235CH
	2	【12】	未設定	未設定	未設定

参照

プリセット設定を変更する→オンラインヘルプの「設定」-「プリセットチャンネル」-「プリセット」

チェック

BS/広帯域CSデジタル放送運用規定(ARIB)にしたがっているため、CS1、CS2では、現在放送されていないチャンネルがプリセットに設定されていることがあります。

番組を操作する

このパソコンでテレビを見るときに「タイムシフト機能」を使うと、見ている番組をビデオのように巻き戻したり一時停止をしたりできます。
タイムシフト機能を使うには、あらかじめ、画面右の「タイムシフト」をクリックして、「タイムシフトモード」にしておく必要があります。

チェック

- タイムシフトモードで見ていなかった番組は操作できません。
- デジタル放送の、独立データ放送、ラジオ放送は、録画やタイムシフトモードへの変更ができません。

参照

タイムシフトモードについて→PART3の「さかのぼり録画をする」(p.48)

今見ている番組を録画する

ビデオと同じように、見ている番組をすぐに録画できます。

1 （録画）をクリック

録画が始まります。

2 録画をやめたいところで（停止）をクリック

これで録画ができました。録画した番組を見る方法は、このPARTの「録画した番組を再生する」(p.42)をご覧ください。

チェック

「コピー不可」の信号が含まれた映像は録画できません。信号が検出されると、自動的に録画は終了します。

ポイント

- （録画）をクリックしてから、実際に録画が始まるまで、少しの間があります。「さかのぼり録画」で巻き戻してから録画をするほうが確実です。
- （録画）を連続してクリックすると、録画時間を設定できます。
- 見ている番組を録画するときの画質は、ご購入時の状態では次のとおりです。
  - ・アナログ放送(外部入力(ビデオ入力)を含む)：標準画質
  - ・デジタル放送：デジタル放送画質

  画質は、「設定ウィンドウ」の「録画／再生／予約」-「録画／タイムシフト」タブで設定できます。

参照

さかのぼり録画について→PART3の「さかのぼり録画をする」(p.48)

テレビを画面いっぱいに表示する

普通のテレビのように、画面いっぱいに映像を表示して大画面でテレビを楽しむこともできます。

1 画面下にある「画面モード切換タブ」のフルスクリーン（フルスクリーン）をクリック

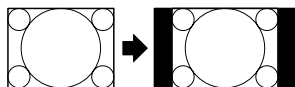
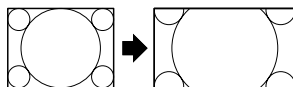
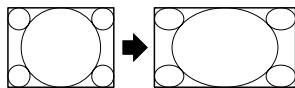
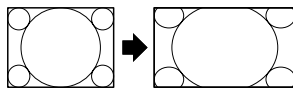
フルスクリーンモードになり、画面いっぱいに映像が表示されます。

2 マウスを左クリック

もとの画面に戻ります。

■ フルスクリーンモードの表示方法を変える（ワイド液晶ディスプレイの場合）

ワイド液晶ディスプレイの場合、地上アナログ放送など画面サイズが4:3の比率になっている放送で、フルスクリーンモードの画面の表示方法を次の4つから選べます。ご購入時の設定では「スタジアム」になっています。

表示方法	説　明
ノーマル	4:3表示の画面で表示されます。画面の左右が黒く表示されます。
ワイド	4:3表示の画面を16:9に拡大して表示します。
ズーム	縦横比を保ったまま4:3画面を16:9に拡大します。画面の上下が切れた状態で表示されます。
スタジアム	水平方向が、一般にノンリニアスケーリングと呼ばれる画面になります。画面の中央はあまり拡大せず、画面の左右を拡大して4:3画面を16:9に表示します。上下約10%はカットして表示されます。

フルスクリーンモードの画面は、次の手順で切り換えます。

1 **（設定）をクリック**

「設定ウィンドウ」が表示されます。

チェック

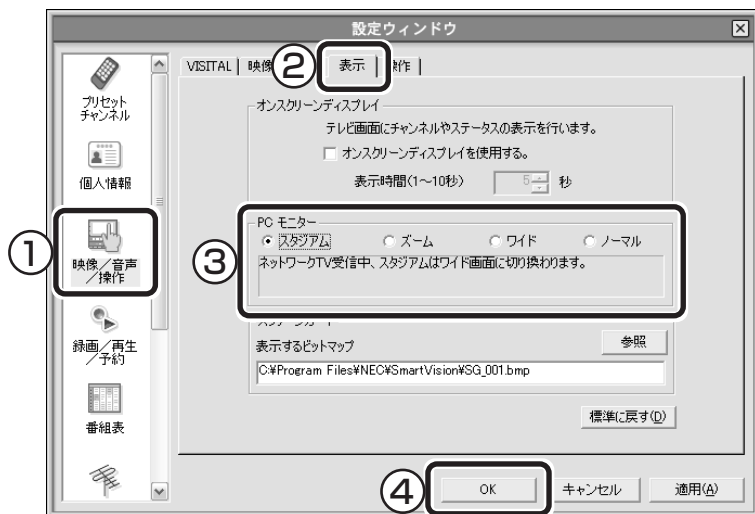
- 地上デジタル放送など、画面サイズが16:9の比率になっている放送は、フルスクリーンモードでは常に正しい比率で画面いっぱいに表示されます。
- このテレビ機能を、営利目的または公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテル等の公の施設に設置した場合、ズーム、ワイド、およびスタジアム表示機能を利用して、画面のフレーム表示や圧縮、引き伸ばし表示等をおこなわないでください。著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがあります。

2 設定を変更する

① 「映像／音声／操作」アイコンをクリック

② 「表示」タブをクリック

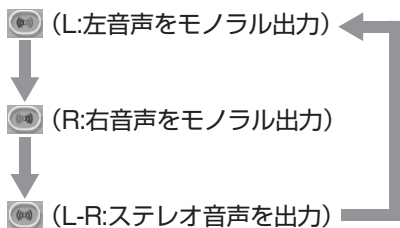
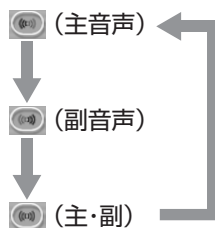
③ 表示方法を選んで にする

④ 「OK」をクリック
テレビ画面に戻ります。

これで、フルスクリーンモードの表示方法が変わります。

音声を切り換える

■ 地上アナログ放送の場合 地上アナログ放送

外国映画やスポーツ中継、ステレオ放送など、音声多重放送を見るときに、音声コントロールの を押すと音声が順番に切り換わります。

●ステレオ放送のとき

●主音声/副音声のとき
(二か国語放送など)

チェック

●ステレオ放送の切り換えは、タイムシフトモードでテレビを見ているときと、録画番組を見ているときだけ可能です。

●L(左音声のみ)/R(右音声のみ)の場合は、両方のスピーカから同じ音が出ます。

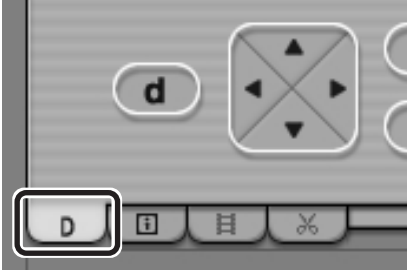
●ご購入時の状態では、二か国語放送は、日本語のみを受信する設定になっています。次の手順で設定を変更できます。
1. (設定)をクリック
2.「映像/音声/操作」-「音声」タブをクリック
3.「二ヶ国語放送(地上アナログ)」の をクリックし、聞く音声を選ぶ

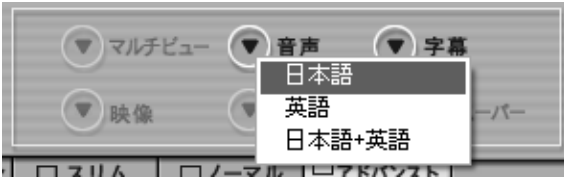
■ 地上デジタル放送、BS・110度CSデジタル放送の場合 地上デジタル放送 BSデジタル放送

デジタル放送の音声は、アドバンストモードで切り換えます。

1 「画面モード切換タブ」の アドバンスト（アドバンスト）をクリック

「アドバンストモード」になります。

2 「D」タブをクリック

3 サービス切換ボタンの「音声」をクリックして、表示された一覧から、聞きたい音声を選ぶ

参照

アドバンストモード画面に切り換える→このPARTの「SmartVisionのモードを切り換える」(p.9)

PART 2 テレビ機能を使おう

データ放送を見る 地上デジタル放送 BSデジタル放送

データ放送で、最新のニュースや天気予報など、多彩な情報を手に入れましょう。双方向サービスもあります。

データ放送って何？

データ放送は、文字や画像で、いろいろな情報を表示する番組です。テレビ放送に関連した内容を表示する「番組連動データ放送」と、独自の情報を表示する「独立データ放送」があります。
データ放送では、通信回線を使ってクイズやアンケートに参加できたり、オンラインショッピングができる双方向サービスも利用できます。

ポイント

SmartVisionは、日本電気(株)のフォント「FontAvenue」を使用しています。

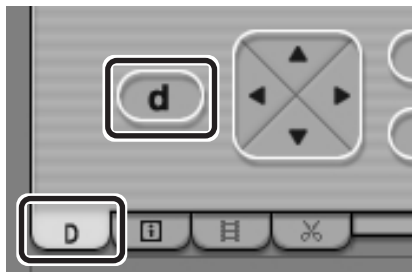
データ放送を表示する

1 表示している番組がデータ放送かどうか確認する

データ放送の場合は、インジケータに「データ連動放送中」と表示されます。

2 「画面モード切換タブ」の(アドバンスト)をクリック

「アドバンストモード」になります。

3 「D」タブをクリックして、d をクリック

データ放送の画面が表示されます。

チェック

- タイムシフトモード、録画済み番組では、双方向サービスを利用できません。
- データ放送の画面が表示されるまでに、しばらく時間がかかる場合があります。
- ラジオ放送や独立データ放送では、「データ連動放送中」は表示されません。

参照

ライブモードに切り換える→PART3の「タイムシフトモードにする」(p.49)

参照

アドバンストモード画面に切り換える→このPARTの「SmartVisionのモードを切り換える」(p.9)

ポイント

番組によっては、d をクリックしなくてもデータ放送が表示されることがあります。

データ放送の操作

データ放送は、アドバンストモードの画面、キーボードで操作できます。
それぞれ、次のように操作します。

画面上のボタン

データ放送の画面を直接マウスでクリックして操作することはできません。

数字の入力方法は、番組により異なることがあります。キーボードから数字を入力できない場合は、画面の示す方法で入力してください。

画面上のボタン	キーボード※	操作の内容
d	【D】	データ放送画面を表示します。
▲▼◀▶	【↑】【↓】【←】【→】	データ放送画面の項目を移動します。
決定	【Enter】	選んだ項目を決定します。
戻る	【BackSpace】	ひとつ前の画面に戻ります。
青	【B】	データ放送画面の、それぞれの色の項目（ボタン）を直接選びます。
赤	【R】	
緑	【G】	
黄	【Y】	
—	【0】～【9】	数字を入力します。

※ ご購入時の設定では、タイムシフト視聴時と録画番組再生時にキーボードからの操作はできないようになっています。キーボードで操作する場合は、「設定ウィンドウ」の「映像/音声/操作」-「操作」タブの「リモコン矢印ボタン」を□にしてください。

■ 文字を入力する

地上デジタル放送

データ放送では文字入力が必要な場合があります。画面の指示にしたがって操作すると、文字列をキー入力できるようになります。

1 キーボードから文字を入力し、「OK」をクリック

データ放送を見るときの注意

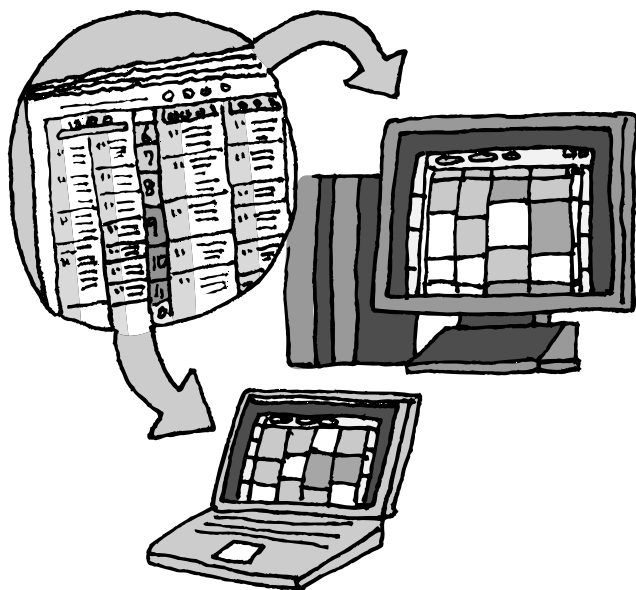
- 録画した番組の再生、またはタイムシフトモードでデータ放送番組を見る場合、データ放送の一部の操作ができません(通信回線を使用したデータの送受信(双方向サービス)や、受信機へのデータの保存など)。これらの機能は、ライブモードでご利用ください。
- データ放送の番組は、チャンネルを切り換えてすぐに表示されないことがあります。すべてのデータが表示されるまで、チャンネルを切り換えないようにしてください。
- 独立データ放送、ラジオ放送は、録画やタイムシフトモードへの変更ができません。
- お使いのセキュリティソフトによっては、データ放送の双方向サービス(データの送受信)ができない場合があります。セキュリティソフトのマニュアルをご覧になって設定を変更してください。その際、「C:¥Program Files¥NEC¥SmartVision¥DtnCtl.exe」にアクセス権を設定してください。

PART 2
テレビ機能を使おう

番組表を使う

SmartVisionには、自動的に更新できる新聞のテレビ欄のような番組表が付いています。

画面で見る番組表

「今日はどんな番組があるのかな？」と思ったとき、何を見ますか？新聞やテレビ情報誌？
これからは、SmartVisionの画面で番組表が見られます。この、画面で見る番組表から、見たい番組を選んだり、録画の予約もOK。
番組表は、テレビの電波やインターネットで更新できます。
番組表は最大8日分※が表示されるので、番組のチェックにも最適です。

※地上アナログ放送の番組表は通常、次の日数分が配信されます。

- ●北陸朝日放送、あさひテレビのエリア：7日分
- ●北九州エリアのNHK総合、NHK教育：2日分
- ●上記以外のエリア：最大8日分

この日数は、予告なく変更される可能性があります。

インターネットから番組表をダウンロードできるようにする 地上アナログ放送

地上アナログ放送の番組表は、毎日設定した時間に自動的に更新されます。
しかし、このパソコンでインターネットができるようになっていれば、いつでも番組表を更新できます。
インターネットから番組表をダウンロードするには、「ADAMS-EPG+」というサービスを利用します。

■ ADAMS-EPG+の設定

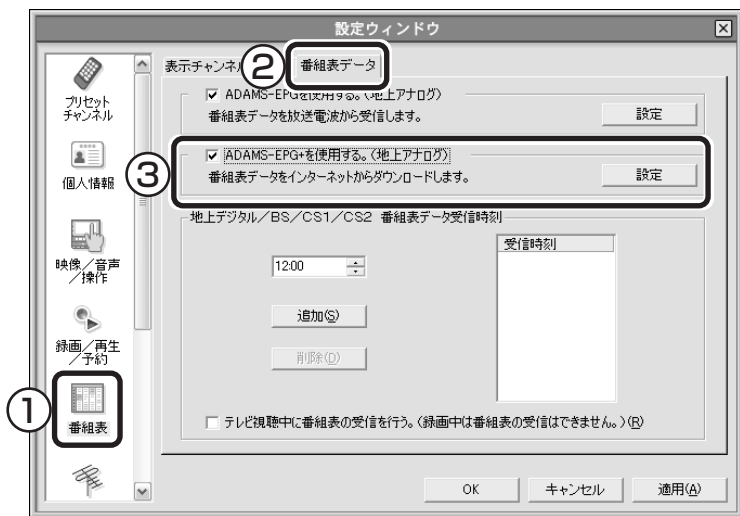
1 （設定）をクリック

「設定ウィンドウ」が表示されます。

2 「ADAMS-EPG+ダウンロード設定」の画面を表示する

① 「番組表」アイコンをクリック

② 「番組表データ」タブをクリック

③ 「ADAMS-EPG+を使用する。（地上アナログ）」の左を☑にして、「設定」をクリック

「ADAMS-EPG+ダウンロード設定」画面が表示されます。

チェック

- セキュリティソフトによっては、ADAMS-EPG+で番組表をダウンロードできない場合があります。その場合は、セキュリティソフトのマニュアルをご覧になって設定を変更してください。その際、「C:¥Program Files¥NEC¥SmartVision¥NECSVTV.exe」にアクセス権を設定してください。
- インターネットに接続するための通信料金およびプロバイダ料金はお客様の負担となります。

3 インターネットへの接続方法を設定し、「次へ」をクリック

ご使用の環境に合わせて、「LAN接続」か「ダイヤルアップ」の左を◉にして、必要な設定をしてください。

4 「サーバ上の全データ」の左が◉になっていることを確認し、「完了」をクリック

「設定ウィンドウ」に戻ります。

5 「設定ウィンドウ」の「OK」をクリック

これで、番組表をインターネットからダウンロードする準備は完了です。

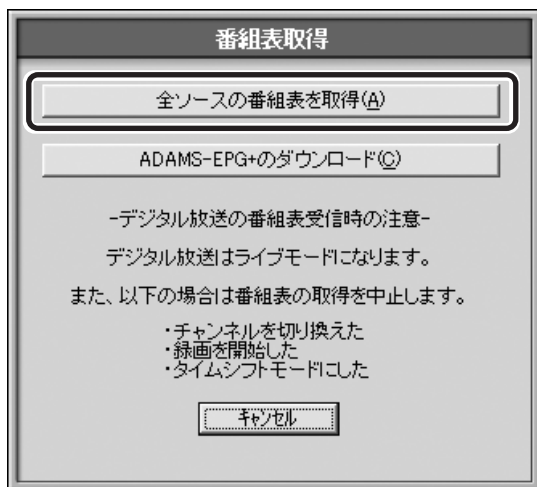
番組表を受信する

最新の番組表を取得する手順を説明します。
ここでは、地上アナログ放送、地上デジタル放送、BS・110度CSデジタル放送(デジタルハイビジョンTV(地デジ/BS/CS)モデルのみ)すべての番組表をまとめて受信する方法を説明します。

1 **(番組表)をクリックして、番組表を表示する**

2 **(番組表取得)をクリック**

3 **「全ソースの番組表を取得」をクリック**

画面は、表示している番組表によって異なります。

地上アナログ放送の場合

ADAMS-EPG+(地上アナログ放送の番組表)の受信が始まります。

- 手順3の画面で、各放送ごとの番組表だけを取得することもできます。画面右の番組表切換タブで受信したい放送を選んで、「番組表取得」から受信してください。
- ADAMS-EPG+から番組表データをダウンロードするときに、ウイルスバスターのパーソナルファイアウォールがブロックしてうまくダウンロードできない場合は、ブロックを解除してください。詳しくは、「サポートナビゲーター」-「安心安全に使う」-「不正アクセスの防止」-「アクセスブロックを解除する」をご覧ください。

4 「ADAMS-EPG+のダウンロード完了」と表示されたら「OK」をクリック

「OK」をクリックせずにしばらくたつと「ADAMS-EPG+のダウンロード完了」画面は、自動的に消えます。

5 「ADAMS-EPG+番組データ受信」の「完了」をクリック

つづけて、デジタル放送の番組表の受信が始まり、画面下のステータスバーに「番組表受信中」と表示されます。

受信が終わると、最新の番組表が表示されます。

チェック

- 地上デジタル放送の番組表の受信は1局あたり1～2分かかります。
- デジタル放送の番組表の受信を中断したいときは、受信中に「番組表取得」をクリックして、表示された画面で「はい」をクリックしてください。
- デジタル放送の番組表を定期的に最新のものに更新するように設定することもできます。詳しくは、p.29をご覧ください。
- 番組表受信中に番組予約開始時刻になると番組表受信を中止して予約していた動作を開始します。
- 番組表受信中にSmartVisionを終了させても画面右下のが点滅したまま番組表受信を継続します。

番組表を見る

番組表は、受信が終わっていれば、いつでも見られます。

1 （番組表）をクリック

番組表が表示されます。

チェック

- SmartVisionが起動していないときは、通知領域のを右クリックして表示されるメニューから「番組表拡大表示」を選んでも番組表を表示できます。
- 通知領域のが点滅しているときは、番組表の受信中です。番組表の受信が終わるまで、完全な番組表は表示されません。

■ 番組表の使い方

Ⓐプレビュー領域
　選局中の番組を表示します。

Ⓑ番組情報
　番組表で選んだ番組の詳しい情報を表示します。

Ⓒ予約ボタン
　番組表で選んだ番組を予約する画面に移ります。

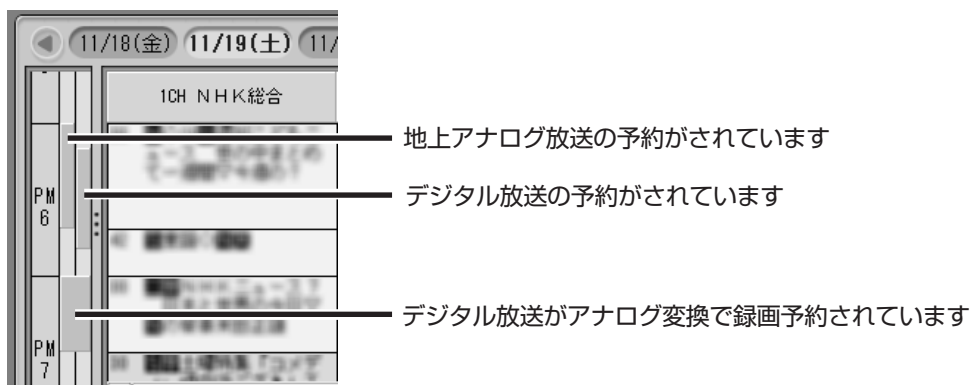
Ⓓ番組表切換タブ
　各放送の番組表が表示されます。

Ⓔ日付
　各日付をクリックすると、その日の番組表を表示します。

Ⓕ番組表チャンネル※
　選局中の番組のチャンネルは、ピンク色の枠で囲まれています。

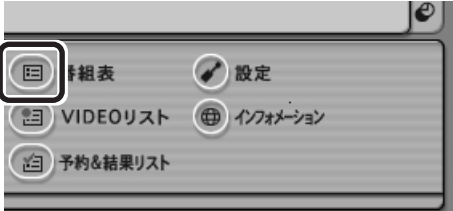
Ⓖ番組表※
　現在の時刻が青い横線で表示されます。番組はジャンル別に色分けして表示しています。番組をクリックすると、「番組情報」欄に情報が表示されます。放送中の番組をダブルクリックすると、その番組に切り換わります。放送前の番組をダブルクリックすると、選んだ番組を予約する画面に移ります。

※：画面の＜＞や∨∧をクリックしたり、バーをドラッグして、表示するチャンネルや番組を変えられます。

番組表の左側には、予約（録画予約、視聴予約、番組表受信予約）がされている時間を示すオレンジ色のバーが表示されます。

■ テレビを見る画面に戻る

番組表から、テレビを見る画面に戻るには、次の手順で操作します。

1 画面左にあるソースタブから、放送の種類をクリック

2 (番組表)をクリック

これで、テレビを見る画面が表示されます。

番組表の受信時刻を設定する

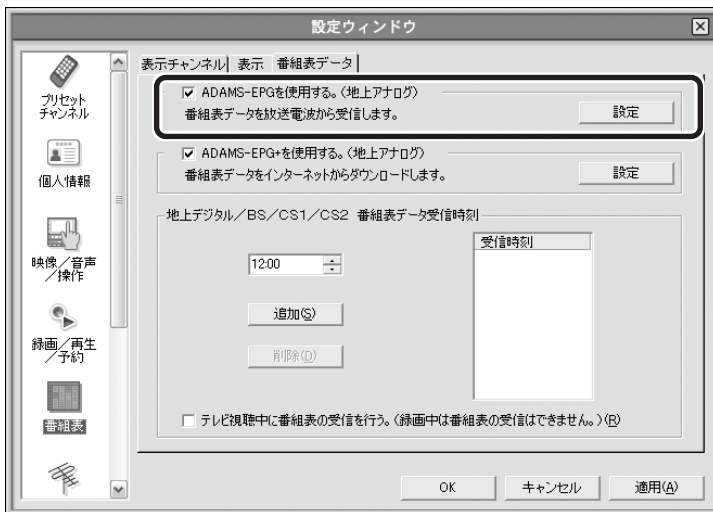
地上アナログ放送の場合 地上アナログ放送

番組表の受信時刻と録画する番組の放送時間が重なっているときなどに、次の手順で番組表を自動受信する時間を変更できます。

1 (設定)をクリック

「設定ウィンドウ」が表示されます。

2 「番組表」アイコンをクリックし、「番組表データ」タブをクリック

3 「ADAMS-EPG」を使用する。(地上アナログ)」が□になっていたときはクリックして☑にして、「設定」をクリック

「ADAMS-EPG受信設定」が表示されます。

ポイント

番組表は、各地域におけるテレビ朝日系列の放送局から受信されます。

番組表を送信している放送局はお住まいの地域によって異なります。各地域の番組表を送信している放送局は、次のとおりです(2006年9月現在)。

放 送 局	
北海道テレビ放送	朝日放送(ABCテレビ)
青森朝日放送	広島ホームテレビ
岩手朝日テレビ	山口朝日放送
東日本放送	瀬戸内海放送
秋田朝日放送	愛媛朝日テレビ
山形テレビ	九州朝日放送
福島放送	長崎文化放送
新潟テレビ21	熊本朝日放送
長野朝日放送	大分朝日放送
あさひテレビ	鹿児島放送
北陸朝日放送	琉球朝日放送
メ~テレ	テレビ朝日

番組表は、約2時間おき(夜間除く)に放送されます。

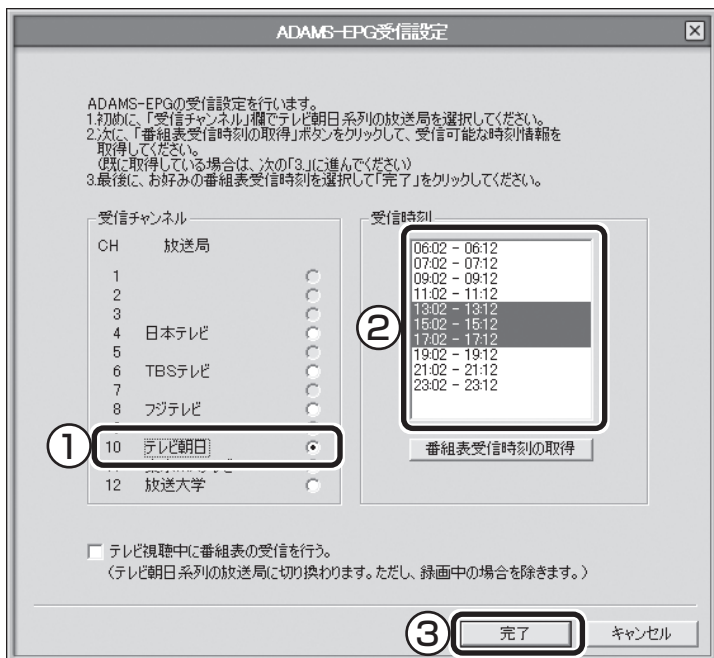
チェック

番組表を送信している放送局にチャンネルを設定していないと、番組表は受信できません。また、受信中にチャンネルを変更しても番組表を受信できません。

4 受信時刻を変更する

① ADAMS放送をおこなっているチャンネルが選ばれていることを確認する

② 受信時刻をクリック

③「完了」をクリック

ポイント

- 【Ctrl】を押したままクリックすると、複数の時間帯を選ぶことができます。
- 受信時刻が表示されていない場合は、「番組表受信時刻の取得」をクリックして受信時刻を取得してください。
- パソコンが省電力状態や電源を切った状態でも、受信時刻になると自動的に起動し、番組表を受信します。
  電源を切った状態からの自動起動について詳しくは、このPARTの「予約実行前後の動作を設定する」(p.41)をご覧ください。
- アナログ放送とデジタル放送の番組表を受信する時刻が重なっていても、同時に受信できます。

■ 地上デジタル放送/BS・110度CSデジタル放送の場合 地上デジタル放送 BSデジタル放送

デジタル放送の番組表も、地上アナログ放送と同じように、毎日決まった時間に自動的に更新できます。

1 (設定)をクリック

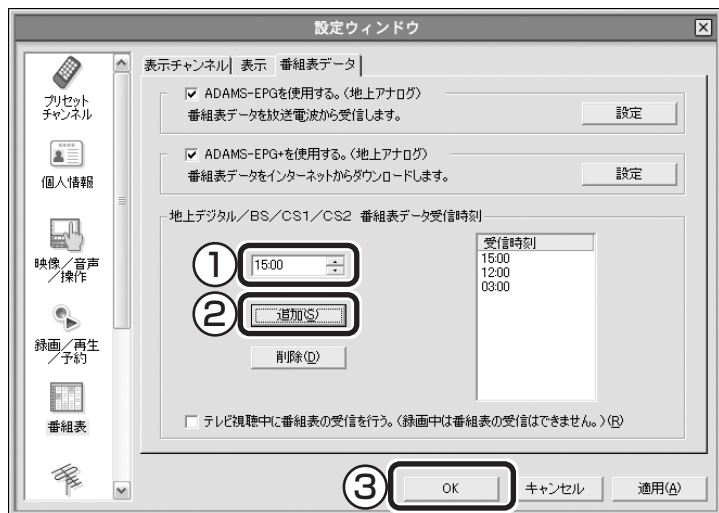
「設定ウィンドウ」が表示されます。

2 「番組表」アイコンをクリックし、「番組表データ」タブをクリック

3 「地上デジタル/BS/CS1/CS2 番組表データ受信時刻」(または「地上デジタル 番組表データ受信時刻」)で、受信時刻を追加する

① で受信する時刻を決める

② 「追加」をクリック
「受信時刻」欄に追加されます。

③ 受信したい時刻をすべて追加したら、「OK」をクリック

チェック

すべてのデジタル放送の番組表を受信するには時間がかかるため、テレビを見ない時刻を設定することをおすすめします。

ポイント

- パソコンが省電力状態や電源を切った状態でも、受信時刻になると自動的に起動し、番組表を受信します。
  電源を切った状態からの自動起動について詳しくは、このPARTの「予約実行前後の動作を設定する」(p.41)をご覧ください。
- アナログ放送とデジタル放送の番組表を受信する時刻が重なっていても、同時に受信できます。
- テレビ視聴中にも番組表の受信をおこなう場合は、「テレビ視聴中に番組表の受信を行う。」をにしてください。設定した時刻になると、自動的に番組を受信するのに必要なチャンネルに切り換えます。番組表の受信中にチャンネル切り換えの操作をすると、番組表の受信は中止されます。

チェック

デジタル放送の番組表の受信には時間がかかります。受信時刻を複数設定する場合は、間隔を充分にあけてください。間隔が短いと、受信時刻を設定(追加)できません。

PART 2
テレビ機能を使おう

録画について

番組を録画する前に、知っておいていただきたいことを説明します。

録画をするときは、次のことに注意してください。

●録画には、多くのハードディスク容量が必要になります。ハードディスクの空き容量に注意してください。ハードディスクの空き容量は、「マイコンピュータ」画面でドライブをクリックすると確認できます。

●録画中や再生中にエラーが発生した場合は、パソコンを再起動してください。

●ひんぱんに録画する場合(週10時間以上)は、ハードディスクへの書き込みを効率的にするために、週1度程度を目安にディスクデフラグを実行してください。ディスクデフラグは「スタート」-「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「システムツール」-「ディスクデフラグ」で実行します。

チェック

●システムの状態によっては、映像が乱れることがあります。

●ディスクデフラグには時間がかかります。十分な時間が取れるときに実行してください。

参照

●映像が乱れるときの対処について→PART7の「映像が乱れる(コマ落ちする)」(p.104)

●ディスクデフラグについて→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「ソフト一覧」-「ディスク デフラグ」

地上アナログ放送を録画するときの注意 地上アナログ放送

■ 地上アナログ放送の録画に必要なハードディスク容量について

画質と録画に必要なハードディスク容量の目安は次のとおりです。録画した番組は、選んだ画質によって、ファイルサイズ(必要な容量)が異なります。

ポイント

SmartVisionで表示される「録画可能時間」は、この表を基準に算出したものです。

画　質	1時間の録画に必要なハードディスク容量	用途や特長
高画質	約3.5Gバイト	ファイルサイズが多少大きくなりますが、きれいな画質で録画できます。録画したテレビ番組を後でDVD MovieWriterで編集する場合は、高画質モードで録画することをおすすめします。
標準画質	約1.8Gバイト	一般的な録画に向いています。
長時間	約1.0Gバイト	やや画質が落ちますが、ファイルサイズを小さくできます。長時間の録画や、ちょっと録画しておきたいときに向いています。
超長時間	約660Mバイト	画質は落ちますが、ファイルサイズを最小にして「長時間」以上の録画ができます。
ユーザー設定	約600Mバイト～約6.5Gバイト(設定によって異なります)	画質を数値で細かく設定できます。パソコンや動画について、詳しい知識があるかた向けの設定です。

後から番組を編集したりDVDにしたりする予定のときは、次のことに注意してください。

●録画した番組を後でDVD MovieWriterを使ってDVDに保存するときは、「ユーザー設定」以外の画質で録画することをおすすめします。特に、編集などをする場合は「高画質」で録画することをおすすめします。

●市販の動画編集ソフトを使う場合は、ソフトのマニュアルをご覧になり、画質や録画サイズを決めてください。データサイズや画質によって編集できない場合があります。

編集する目的で、画質を「ユーザー設定」にするときは、ビットレートを8Mbps以下に設定してください。

地上デジタル放送、BS・110度CSデジタル放送を録画するときの注意 地上デジタル放送 BSデジタル放送

デジタル放送の録画は、地上アナログ放送と同じようにハードディスクに番組を録画しますが、地上アナログ放送よりも多くのハードディスク容量を使います。
録画した番組はこまめにDVDに保存したり、不要な番組を削除したりして、ハードディスク容量が不足しないようにしてください。

デジタル放送は、地上アナログ放送と同じように番組を録画できます。ただし、デジタル放送を録画する場合は次のような制限があります。注意してください。

●録画できない番組がある
一部の番組は、視聴はできますが録画はできません。また、番組によっては録画するために番組購入が必要な場合があります。
番組が録画できるかどうかは、「番組表」画面の「番組情報」欄で確認できます。
独立データ放送、ラジオ放送は録画できません。

●録画した番組は編集できない
このパソコンで録画したデジタル放送の番組は、このパソコンに添付、または市販の動画編集ソフトで編集することはできません。

●ほかのソフトでは再生できない
このパソコンで録画したデジタル放送の番組は、SmartVision、MediaGarageでのみ再生できます。ほかの動画再生ソフトでは再生できません。
ただし、デジタル放送の番組をアナログ変換して、CPRM対応のDVD-RAMに保存することで対応したソフトやプレーヤで再生できます。

●録画したデータはコピーできない
デジタル放送画質で録画した番組やコピーワンスの番組の録画データは、コピーできません。

チェック

コピーワンス(1回のみ録画可のコピー制御信号が含まれた番組)の番組は、アナログ変換をして、CPRM対応のDVD-RAMに保存できます。

チェック

デジタル放送でもコピーフリー(コピー制御信号が含まれていない番組)の番組は、アナログ変換することで、地上アナログ放送の録画番組と同じ機能が利用できるようになります。

参照

アナログ変換について→PART6の「デジタル放送画質の番組をアナログ変換する」(p.95)

■ 地上デジタル放送の録画に必要なハードディスク容量について

録画する番組の種類によってファイルサイズ(必要な容量)が異なります。
番組の種類と録画に必要なハードディスク容量の目安は次のとおりです。

録画内容	1時間の録画に必要なハードディスク容量
デジタルハイビジョン	約6.6Gバイト
デジタル標準テレビ	約3.5Gバイト

チェック

デジタル放送をアナログ変換で録画した場合のファイルサイズは、地上アナログ放送を各画質で録画するときのファイルサイズと同じです。

ポイント

SmartVisionで表示されるデジタル放送の「録画可能時間」は、この表を基準に算出したものです。

■ BS・110度CSデジタル放送の録画に必要なハードディスク容量について

録画する番組の種類によってファイルサイズ(必要な容量)が異なります。
番組の種類と録画に必要なハードディスク容量の目安は次のとおりです。

録画内容	1時間の録画に必要なハードディスク容量
デジタルハイビジョン	約10.8Gバイト
デジタル標準テレビ	約5.4Gバイト

チェック

デジタル放送をアナログ変換で録画した場合のファイルサイズは、地上アナログ放送を各画質で録画するときのファイルサイズと同じです。

ポイント

SmartVisionで表示されるデジタル放送の「録画可能時間」は、この表を基準に算出したものです。

録画を中断する条件

録画中に次のような状態になると、録画は自動的に終了します。

・「設定」-「録画／再生／予約」-「録画／タイムシフト」タブの「録画を停止する空き容量サイズ」で設定している容量に、タイムシフトで使用する容量を足した容量よりハードディスクの残り容量が少なくなったとき
・ハードディスクへの書き込み時にエラーが起きたとき
・放送休止状態になったとき
・番組の受信ができなくなったとき
・番組が、録画不可属性になったとき
・受信状態が不安定なとき

参 照

ハードディスクの残り容量について
→オンラインヘルプの「設定」-「録画／再生／予約」-「録画／タイムシフト」の「録画を停止する空き容量サイズ」

PART 2 テレビ機能を使おう

おてがる予約をする（番組表で予約する）

パソコンをハードディスクレコーダーとして使ってみましょう。テレビの見方が変わります。

おてがる予約って何？

パソコンでテレビを見る楽しみの1つが、録画です。パソコンでの番組録画は、ハードディスクレコーダーと同じ。今までのビデオテープのように、時間がたって映像が劣化してしまうようなことはありません。パソコンのハードディスク内に録画するから、山のようなビデオテープが邪魔になることもなし。
「おてがる予約」は、新聞のテレビ欄のような番組表から番組を選んで予約する方法です。今までのビデオデッキのように、開始時間や終了時間を入力する必要はありません。気になる番組をどんどん録画して好きな時間に見る。そんな新しいテレビの見方が始まります。

■ まだある、ほかの予約方法

ここでは、もっとも基本的な、番組表で予約する方法を説明します。
まずは、このやり方をおすすめしますが、慣れてきたら、こんな予約の方法はどうでしょう？

●番組検索で、まとめて予約
番組表では、番組のジャンルやキーワードから番組を検索できます。そこで、見たいジャンルやタレントの名前などから番組を検索して、まとめて予約してしまうと便利。番組表は最大8日分表示されるので、1週間に1度の予約で間に合うかも？

チェック

表示される番組表の日数は、地域によって異なります。

参照

●番組を検索して予約する方法→PART4の「番組を検索して予約する」（p.58）
●番組表について→このPARTの「番組表を使う」（p.21）

●おまかせ録画で、自動的に録画
このパソコンには、あらかじめ設定したキーワードなどの条件に合った番組を自動的に録画してくれる「おまかせ録画」機能があります。見たい番組のキーワードを設定しておけば、今まで気付いていなかった好みの番組に出会えるかもしれません。

参照

おまかせ録画について→PART3の「おまかせ録画をする」（p.51）

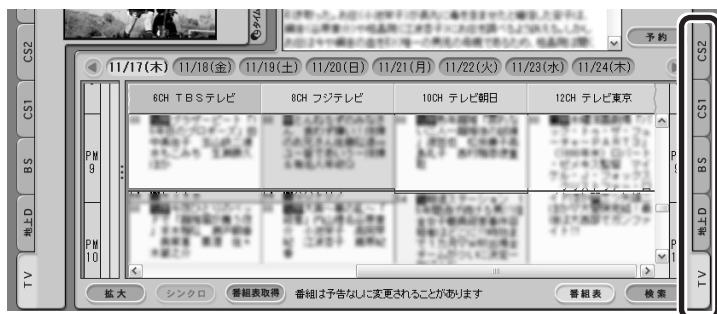
おてがる予約をする

番組表から録画の予約をしてみましょう。ここでは例として、地上アナログ放送の番組を予約します。

1 (番組表)をクリック

番組表が表示されます。

2 番組表切換タブから予約する放送の種類をクリック

ここでは、地上アナログ放送(ＴＶ)を選びます。

3 予約する番組を決める

① 日付をクリック

② 予約したい番組を表示する

③ 番組をクリック
「番組情報」欄に、番組の詳細情報が表示されます。

④「予約」をクリック

「予約設定」画面が表示されます。

ポイント

予約を始める前に、パソコンの時計を合わせておいてください。時計がずれていると、録画時間などがずれてしまいます。
パソコンの時計は、SmartVisionの「設定ウィンドウ」の「地上アナログ詳細」-「時刻修正」の画面で、「設定」をクリックし、「時刻修正」の画面で「今すぐに修正する」をクリックすると合わせせられます。

現在の時刻から3分以上後の番組について予約できます。

番組名をダブルクリックしても「予約設定」画面が表示されます。

4 予約内容を設定する

① 番組の情報を確認する

② ▼をクリックして「画質」を選ぶ
画質の用途と特長については、このPARTの「録画について」(p.30)をご覧ください。

③「OK」をクリック
「予約設定」画面が閉じます。

5 （番組表）をクリック

テレビ画面に戻ります。

これで、番組の予約ができました。

- ●予約後は、電源ケーブルを抜かないでください。予約が実行されません。
- ●予約をした後、パソコンを使わないときは、パソコンを省電力状態（スタンバイ状態/休止状態）にしておくか、電源を切っておきます。予約した時間になると、パソコンが自動的に復帰して予約を実行します。
- ●予約録画した番組の再生方法については、このPARTの「録画した番組を再生する」(p.42)をご覧ください。

チェック

- ●地上アナログ放送を録画するときは、「実行モード」の「保存先」で「DVD」を選んで、DVD-RAMに直接録画できます。
- ●デジタル放送を録画するときに、「画質」で「デジタル放送画質」以外を選ぶと、「アナログ変換」で録画されます。アナログ変換で録画している間は、他の番組を見たり、録画済番組を見るなど、SmartVisionを使ったほかの操作ができなくなります。
- ●デジタル放送を録画するときに、番組の開始時刻や終了時刻を変更すると「詳細設定」で「放送時間変更時の動作」は指定できなくなります。
- ●「実行モード」で「視聴」を選んだ場合、スタンバイやスクリーンセーバーからの復帰時にパスワードの確認画面が表示されないようにしてください。

参照

- ●このほかの予約設定の項目について→オンラインヘルプの「ボタンと使い方」-「ノーマルモード･アドバンストモード共通」-「ダイアログ」-「予約設定ダイアログ」
- ●DVDへの直接録画について→PART5の「DVD-RAMに直接録画する」(p.87)
- ●アナログ変換について→PART6の「アナログ変換について」(p.95)
- ●視聴予約について→PART4の「視聴予約をする」(p.61)

ポイント

省電力状態にすると、パソコンの消費電力を抑えられます。

参照

省電力状態について→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「省電力機能」

チェック

電源を切った状態から予約を実行するかどうかは設定によって異なります。詳しくは、このPARTの「予約実行前後の動作を設定する」(p.41)をご覧ください。

■ 予約の実行について

予約実行の5分前になると、パソコンが省電力状態から復帰し、次の画面が表示されます。

パソコンを使用中の場合は、使用しているソフトを終了して録画できる状態にしてください。
このときログオンユーザーを切り替えたりすると、予約が実行できなくなります。
録画中は、画面右下のが次のように交互に表示されます。

■ Night Modeにする

Night Modeにすると、画面や音声をオフにした状態で録画されます。就寝中や外出中の録画に便利です。また、録画途中からでもNight Modeに切り換えられます。
本体前面(VALUESTAR Wの場合)またはディスプレイ右側面(その他のモデルの場合)のNight Modeボタンを押すと、Night Modeとなり、ボタンのランプが青色に点灯します。もとに戻すときは、もう一度Night Modeボタンを押します。

チェック

「設定ウィンドウ」の「録画／再生／予約」アイコンをクリックし、「予約」タブをクリックして表示される画面で、「予約開始前のメッセージ表示」の「予約開始 5 分前にメッセージダイアログを表示する」を□にすると、この画面は表示されなくなります。

ポイント

- 予約を実行する時間が近づくと、画面右下のに実行までの残り分数が表示されます。
- SmartVisionが起動していない場合は、通知領域にあるを右クリックして表示されるメニューから「予約キャンセル」をクリックして、予約をキャンセルできます。
- 実行中の録画を中止したいときは、通知領域のを右クリックして表示されるメニューから「録画終了」をクリックしてください。

予約の確認や変更、取り消しをする

いったん予約をした後で、予約内容を変えたり取り消したりするには、次の手順で操作します。

1 (予約&結果リスト)をクリックし、「予約リスト」タブをクリック

予約一覧が表示されます。

2 予約内容を確認、または変更したい番組をクリックし、変更（変更）をクリック

「予約設定」が表示されます。

3 予約内容を確認または変更し、「OK」をクリック

「予約設定」画面が閉じます。

4 （予約&結果リスト）をクリック

テレビ画面に戻ります。

予約の確認、変更はこれで完了です。

ポイント

ここで取消（取消）をクリックすると、予約を取り消せます。

予約リストで、「!」が付いている番組は、ハードディスクの容量が足りないため録画できません。不要な録画番組を削除するなどして、ハードディスクの空き容量を増やしてください。

参照

録画番組を削除するには→このPARTの「録画した番組を削除、整理する」（p.45）

デジタル放送を録画するときに、番組の開始時刻や終了時刻を変更すると「詳細設定」で「放送時間変更時の動作」は指定できなくなります。

予約の結果を確認する

予約した録画が成功したかどうかを確認できます。VIDEOリストに録画した番組が見あたらないときは、この方法で確認してください。

1 （予約&結果リスト）をクリックし、「結果リスト」タブをクリック

結果一覧が表示されます。

2 予約結果を確認する

予約結果は、次の3種類で表示されます。

- ・○成功：録画は成功しています。
- ・△成功：DVD直接録画で代理録画になっているか、ぴったり録画で指定したサイズになっていません。
- ・●失敗：録画に失敗しています。

代理録画とは、ＤＶＤ直接録画で、DVD-RAMの容量が足りないときなどに、ハードディスクに録画する機能です。

参照

DVD直接録画について→PART5の「ＤＶＤ-ＲＡＭに直接録画する」（p.87）

予約するときの注意

番組を予約するときは、次のことに注意してください。

■ 一般的な注意

●パソコンを長時間使用した後に予約録画をする場合は、一度パソコンを再起動してから録画予約の設定をすることをおすすめします。

●システムスタンバイの時間は、5分以上に設定してください。ご購入時は、20分に設定されています。

●予約は、現在の時刻から3分以上後の番組が対象です。

●録画は、開始時刻より若干(2〜6秒)遅れて開始される場合があります。

●予約開始前に、パソコンを電源オフの状態から自動起動する設定にしているときは、予約開始時刻の10分前を過ぎてから電源オフの状態にすると自動起動できません。また、パソコンの電源を強制的に切った場合は、自動起動できません。

■ 地上アナログ放送を予約するときの注意 地上アナログ放送

●200件まで予約できます(番組表受信予約、おまかせ録画を含む)。

●SmartVisionが起動した状態で予約録画をおこなうと、番組の録画が開始時刻よりも若干遅れて始まる場合があります。番組開始時刻ちょうどに予約録画を開始したい場合は、「設定ウィンドウ」の「録画/再生/予約」-「予約」タブの「開始時刻微調整(地上アナログ)」で録画開始時刻を微調整してください。

●放送時間が連続した複数の番組を予約録画する場合、前の番組は次の番組の録画開始処理のため、予約した時刻よりも4秒早く録画が終了します。

●番組表や番組検索機能でプリセットチャンネルとして設定されていない放送局を選んだ場合、ビデオ入力の予約になります。

●1か月以上先の予約をする場合は、電源を切った状態から自動起動しません。パソコンを省電力状態にしてください。

■ 地上デジタル放送、BS・110度CSデジタル放送を予約するときの注意 地上デジタル放送 BSデジタル放送

●200件まで予約できます(番組表受信予約、おまかせ録画を含む)。

●放送時間が連続した複数の番組を録画予約する場合、次のようになります。

録画開始時:録画開始処理のため、番組開始から若干(最大5秒)遅れて録画が開始されます。

録画終了時:同じチャンネルで連続して録画予約している場合、最初の録画は番組終了時刻の5秒前に終了します。異なるチャンネルで連続して録画予約している場合、最初の録画は番組終了時刻の15秒前に終了します。

■ 同じ時間に複数の放送を予約するときの注意

●地上アナログ放送の予約(番組表受信予約、おまかせ録画を含む)と、デジタル放送の予約(番組表受信予約、おまかせ録画を含む)を同時におこなえます(地上アナログ放送1件、デジタル放送1件)。それ以上の予約が重なると、「予約重複」画面が表示されます。「予約重複」画面で、予約を実行する番組を選んでください。

デジタル放送をアナログ変換の画質で予約している時間には、ほかの予約をできません。

アナログ変換について→PART6の「アナログ変換について」(p.95)

録画中にほかの放送を見る

このパソコンでは、地上アナログ放送とデジタル放送で、同じ時間帯の番組を2ついっぺんに録画したり、片方の録画中にもう片方の放送を見たりできます。

それぞれの放送の状態は、画面左側のソースタブで確認できます。

タブの色	放送の状態
水色	視聴中の放送
グレー	視聴していない放送
赤	録画中の放送
グレー (クリックできない)	現在、利用できない放送(切り換えられません)

チェック

●デジタル放送を録画中に、ほかのデジタル放送を録画、視聴することはできません(例:地上デジタル放送を録画中に、BSデジタル放送は録画、視聴できません)。

●デジタル放送をアナログ変換の画質で録画しているときは、録画中の番組の視聴のみできます。ただし、さかのぼりなどの操作はできません。

PART 2
テレビ機能を使おう

予約実行前後の動作を設定する

予約録画、予約視聴、番組表の予約受信を実行するときに、省電力状態や電源を切った状態から起動したり、また予約実行後に省電力状態にしたり、電源を切ったりできます。

1 （設定）をクリック

「設定ウィンドウ」が表示されます。

2 パソコンの電源設定を設定する

① 「録画／再生／予約」アイコンをクリック

② 「予約」タブをクリック

③ ご購入時の状態では、「予約録画／予約視聴／番組表受信開始前にパソコンを自動起動する。」が☑になっています。電源が切れている状態からパソコンが自動的に起動して、予約録画、予約視聴、番組表の受信を実行します。
パソコンを自動起動させたくない場合は□にしてください。その場合、パソコンの電源が切れていると予約が実行されません。パソコンの電源が入っている状態か、省電力状態にしておく必要があります。

④ 「予約録画／予約視聴／番組表受信終了後の電源設定」の▼をクリックして電源設定を選ぶ
ご購入時の状態では「電源を切る。」になっています。
「何もしない。」以外を選んだ場合、予約の実行が終わった後、確認画面が表示されます。ここで何も操作しないと、1分後に設定した電源状態になります。
「何もしない。」を選ぶと、パソコンで設定している省電力の設定どおりに動作します。
③で□にした場合は、「電源を切る。」を選択することはできません。

⑤ 「OK」をクリック

これで、予約録画や予約視聴、番組表の受信が終わると、設定した動作をするようになります。

参照

省電力状態について→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「省電力機能」

チェック

- 「予約録画／予約視聴／番組表受信終了後の電源設定」で「電源を切る。」を選んだ場合は、「自動ログオン」の設定がされている必要があります。
- 「予約録画／予約視聴／番組表受信終了後の電源設定」を「電源を切る。」に設定している場合は、予約実行時に複数のユーザーがログオンした状態にならないようにしてください。複数のユーザーがログオンしている状態にすると、以降の予約が実行されません。
- 電源を切った状態から予約や番組表の受信を実行できるのは、「自動ログオン」で設定されたユーザーのみです。
- パソコンが省電力状態になっていると、インスタント機能が利用できません。自動的に省電力状態になるように設定する場合は注意してください。

ポイント

予約録画、番組表予約受信終了の時点でテレビを見ている場合や、もとからテレビを見ているときに予約視聴が開始された場合は、終了時に確認画面が表示されず、そのままテレビを利用できます。

参照

- 自動ログオンの設定について→『映像・音楽を楽しむ本』の付録
- インスタント機能について→『映像・音楽を楽しむ本』

PART 2
テレビ機能を使おう

録画した番組を再生する

録画した番組は、番組名から選んで再生できるので、「見たい番組がどこにあるのかわからない」なんてことにはなりません。

再生の方法

録画した番組を再生してみましょう。SmartVisionのVIDEOリストは、録画した番組名が日付順に並んでいるので、見たい番組を見つけるのも簡単です。

1 (VIDEOリスト)をクリック

2 再生したい番組名をクリック

録画した番組の名前は、録画したときの状況によって、次のように決まります。

●番組表データがある場合：番組情報の番組名になります
●番組表データがない場合：「番組名なし」になります

選んだ番組には、青い帯が表示されます。

3 (再生)をクリック

再生が始まります。

再生中は、普通のビデオと同じように、(一時停止)、(早送り)、(巻き戻し)の操作ができます。

4 再生を終了するときは、(停止)をクリック

次に同じ番組を再生するときは、停止した場所から再生されます。

(停止)を2回クリックすると、最初から再生されるようになります。

チェック

デジタル放送画質の録画データをアナログ変換しているときや、アナログ変換の画質で録画中は、録画済み番組を再生できません。

ポイント

SmartVisionを起動していないときは、通知領域にある を右クリックして表示されるメニューから「VIDEOリスト拡大表示」をクリックしてもVIDEOリストを表示できます。また、SmartVisionの画面左にある「VIDEO」タブをクリックしてもVIDEOリストを表示できます。

ポイント

●番組名は、文字の色によって次のように分かれています。
・水色の文字：
まだ一度も再生していない番組
・黒い文字：
再生したことのある番組
●「画質」欄が斜体で下線付きの番組は、コピーワンス（1回のみ録画可）の番組です。
●「おまかせ録画」の番組を再生するときや、「簡易編集」した番組を再生するとき、追加したフォルダの番組を再生するときは、それぞれのフォルダをクリックして選んでください。

参照

●「おまかせ録画」について→PART3の「おまかせ録画をする」(p.51)
●「簡易編集」について→オンラインヘルプの「使ってみよう（導入編）」-「SmartVisionで編集しよう!」-「いらないシーンは切り取って欲しいとこだけ残そう」
●録画番組の保存先の変更方法→オンラインヘルプの「設定」-「録画/再生/予約」-「録画/タイムシフト」

■ テレビを見る画面に戻る

VIDEOリストから、テレビを見る画面に戻るには、次の手順で操作します。

1 (VIDEOリスト)をクリック

これでテレビを見る画面に戻ったときは、手順2は必要ありません。

2 画面左にあるソースタブから、見たい放送をクリック

これで、テレビを見る画面が表示されます。

■ その他の再生方法

地上アナログ放送では、普通に録画番組を再生する以外にも、次のような再生方法があります。

●サムネイルから見たいシーンを再生する
「シーンインデックス」という機能で、場面の切れ目ごとに自動作成された静止画から再生するシーンを決める方法です。よく見るシーンにブックマーク(しおり)を付けて、再生しやすくすることもできます。

●特殊再生モードで再生する
次の特殊再生モードが利用できます。
・短縮再生(録画番組再生時のみ)
会話や字幕があるシーンだけを通常の速度で再生します。ニュース番組を短時間で見る場合などに便利です。
・リピート(録画番組再生時のみ)
録画した番組を自動的に繰り返し再生します。

参照

シーンインデックス、特殊再生について→オンラインヘルプの「ボタンと使い方」-「アドバンストモード」-「シーン‥」

チェック

短縮再生機能は、画面上部3分の2に表示される映像の切り換わりや、画面下部3分の1に表示されるテロップなどを参考に画像検出をおこなっています。そのため、表示されている映像によっては、期待した効果が得られない場合があります。

追っかけ再生をする

録画予約したドラマ、半分まで放送されたところで帰宅。そんなときでも、今までのように録画が終わるまで待つことはありません。「追っかけ再生」機能を使えば、録画中の番組もはじめから再生OK。
また、早送りで番組を見れば、リアルタイムの放送に追いつくこともできます。

追っかけ再生の方法は「見ている番組を操作する」(p.49)と同じです。
追っかけ再生したい番組を、最初まで巻き戻して再生を始めます。
追っかけ再生したい番組以外が表示されているときは、画面左側のソースタブで放送の種類を選んでください。
「ライブモード」になっているときは、「タイムシフトモード」に切り換えてください。

追っかけ再生中に一時停止や巻き戻しなどの操作をしても、録画は中断されずに続行します。ただし、停止すると録画も停止されますのでご注意ください。

チェック

- デジタル放送では、タイムシフトモードで番組を見ていても、予約録画が始まると自動的にライブモードになります。追っかけ再生をするときは、再度タイムシフトモードに変更してください。
- デジタル放送でアナログ変換の録画をしているときは、追っかけ再生ができません。
- DVD-RAMに直接録画をしているときは、ライブモードのみの利用になるため、追っかけ再生はできません。
- デジタル放送で追っかけ再生中に次の状態になると、録画を停止してライブモードになります。
  - 受信不可の状態になったとき
  - コピー制御情報が変化したとき
  - 未購入の有料放送や契約していない番組が始まったとき
  - 他のデジタル放送の予約録画が始まったとき
  - B-CASカード、アンテナ線などが抜けたとき
  - アンテナ線がショートしたとき

録画した番組を削除、整理する

録画した番組は、見終わったものを削除したり、番組ごとにフォルダを分けたりして、整理ができます。

■ 番組を削除する

見終わって、もう必要のない録画番組は削除しましょう。録画データはファイルサイズが大きいので、必要のない録画データを残しておくとハードディスクの無駄になります。

1 (VIDEOリスト)をクリック

2 削除したい番組をクリックし、削除(削除)をクリック

次の画面が表示されます。

3 「はい」をクリック

SmartVision

番組を削除します。よろしいですか？

はい(Y)　いいえ(N)

これで、録画番組が削除されました。

チェック

複数の番組を削除したいときは、【Ctrl】を押したまま番組をクリックすると、複数の番組を選べます。

チェック

複数ユーザーでパソコンを使っている場合、ほかのユーザーが録画した番組を選んだときは、「他のユーザーの番組ですが、削除してもよろしいですか？」または「他のユーザーの番組が含まれていますが、削除してもよろしいですか？」と表示されます。「はい」をクリックすると、ほかのユーザーが録画した番組も削除されます。削除しない場合は、「いいえ」をクリックして、番組を選びなおしてください。

■ 番組を移動する

録画した番組を別のフォルダに移動します。
あらかじめ、移動先となるフォルダをエクスプローラなどで作っておいてください。

1 (VIDEOリスト)をクリック

VIDEOリストが表示されます。

2 追加 (追加)をクリックして表示される画面であらかじめ作っておいた移動先フォルダを選択し、「OK」をクリック

新しいフォルダが「フォルダ」欄に追加されます。

3 移動したい番組をクリックし、新しいフォルダにドラッグ&ドロップする

Cドライブ以外のドライブに移動する場合は、「ファイル出力」画面が表示されます。「ファイル出力が終了しました」と表示されたら「OK」をクリックしてください。番組が移動し、もとのリストから消えます。

これで、番組の移動ができました。移動した番組を再生するときは、VIDEOリストで、移動したフォルダ名をクリックして番組を表示してください。

参照

フォルダを作るには→『活用ブック』の「見つかるさがせる簡単ファイル整理術」

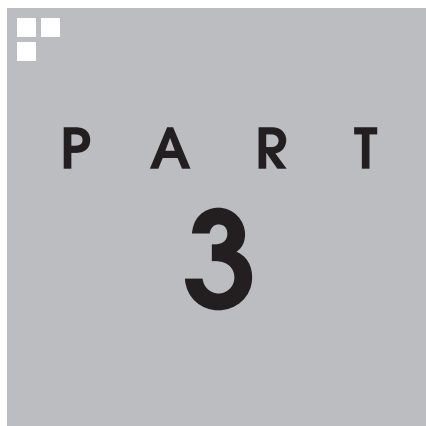
チェック

複数の番組を移動したいときは、【Ctrl】を押したまま番組をクリックすると、複数の番組を選べます。

チェック

- 複数ユーザーでパソコンを使っている場合、ほかのユーザーが録画した番組データを選んだときは、「他ユーザーの番組ですが、移動してもよろしいですか？」または「他ユーザーの番組が含まれていますが、移動してもよろしいですか？」と表示されます。「はい」をクリックすると、ほかのユーザーが録画した番組データも移動します。移動しない場合は、「いいえ」をクリックして、番組データを選びなおしてください。
- ほかのユーザーが録画した番組データを移動すると、そのユーザーからは番組データがどのフォルダに移動されたのか、わからなくなります。

参照

録画した番組の再生方法→このPARTの「録画した番組を再生する」(p.42)

PART
3

おすすめ機能を使おう

見ている番組をビデオのように巻き戻す「さかのぼり録画」や、キーワードで番組を予約する「おまかせ録画」など、おすすめの便利機能を使ってみましょう。

あなたがテレビ放送や録画物などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

PART 3
おすすめ機能を使おう

さかのぼり録画をする

うっかり見逃してしまった決定的なシーン、ドラマの山場で突然の電話、そんなときは「さかのぼり録画」で解決。

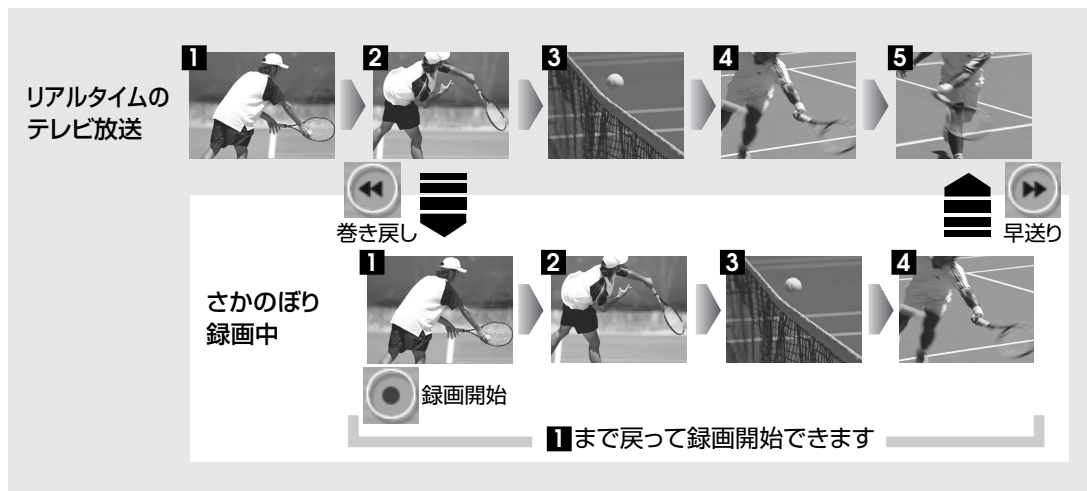
さかのぼり録画って何？

テレビを見ていて、「サッカーのゴールシーンを見逃しちゃった！」「あ、この番組録画しておけばよかった！」なんて経験はありませんか？
でも、もう大丈夫。「タイムシフトモード」なら、今見ている番組を一時停止したり、時間をさかのぼって録画できます。

チェック

- さかのぼり録画や、見ている番組の一時停止をするには、あらかじめSmartVisionを「タイムシフトモード」にしておく必要があります。
- タイムシフトモードで見ていなかった番組については、さかのぼれません。
- さかのぼれる時間は、1分〜90分の間で設定できます（ご購入時の設定では60分です）。
- 地上アナログ放送で、録画保存先がDVDのときは、さかのぼり録画できません。
- デジタル放送をさかのぼり録画するときは、常にデジタル放送画質になります。

■ さかのぼり録画のしくみ

さかのぼり録画や、見ている番組の一時停止は「タイムシフト」という機能でおこなっています。
「タイムシフト」とは、見ている番組を、パソコンが自動的に録画し続ける機能です。今まで、リアルタイムで見ていた番組も、実はいったん録画してから再生しているので、一時停止やさかのぼりができるのです。
自動的に録画したデータは、設定した時間を過ぎた分から順に削除されていきます。また、SmartVisionを終了するとすべて削除されるので、ハードディスクも無駄になりません。

タイムシフトモードにする

さかのぼり録画をするために、SmartVisionを「タイムシフトモード」にします。ご購入時には、「ライブモード」になっています。

1 プレイモードタブの「タイムシフト」をクリック

画面が暗くなって、タイムシフトモードに切り換わります。「ライブ」をクリックすると「ライブモード」に戻ります。

■ タイムシフトモードの画質

地上アナログ放送のタイムシフトモードでは、表示されるテレビの画質は録画の画質と同じになります。ご購入時の状態では「標準画質」になっているので、画質が悪いと感じたときは、「設定ウィンドウ」の「録画／再生／予約」-「録画／タイムシフト」タブの「録画／タイムシフトの画質（地上アナログ）」で「高画質」に設定を変えてください。

チェック

「コピー不可」の信号が含まれている映像の場合、タイムシフトモードに切り換えることはできません。信号が検出されると自動的にライブモードに切り換わります。

ポイント

タイムシフトモードとライブモードには、それぞれ次の特長があります。

- ●タイムシフトモード:
  録画をしていない番組を一時停止したり、巻き戻したり、さかのぼり録画をしたりできます。
- ●ライブモード:
  さかのぼり録画などの特別な操作はできませんが、パソコンにかかる負担が小さくなります。

チェック

タイムシフトモードでテレビを見ているときに、「録画/タイムシフトの画質」を変更すると、それまでのタイムシフトのデータはクリアされ、さかのぼれなくなります。

見ている番組を操作する

タイムシフトモードで見ている番組は、ビデオのように操作できます。

● 一時停止
(一時停止)をクリックします。もとに戻すときは、(再生)をクリックします。
一時停止できる時間は、ご購入時の状態では60分までです。

● 巻き戻し
(巻き戻し)をクリックします。再生を始めたいところで(再生)をクリックするか、巻き戻せる限界まで巻き戻すと、再生が始まります。
巻き戻せる時間は、ご購入時の状態では60分までです。
(巻き戻し)をクリックするたびに、巻き戻しのスピードが3段階で早くなります※。

● 早送り
(早送り)をクリックします。再生を始めたいところで(再生)をクリックするか、リアルタイムの放送に追いつくと再生が始まります。
(早送り)をクリックするたびに、早送りのスピードが3段階で早くなります※。リアルタイムの放送に追いつくと、(早送り)ボタンは使えなくなります。

※巻き戻し、早送りの速度表示は目安としてご利用ください。

参照

一時停止や巻き戻しできる時間の変更について→オンラインヘルプの「設定」-「録画/再生/予約」-「録画/タイムシフト」

さかのぼり録画をする

実際にさかのぼり録画をしてみましょう。

1 (巻き戻し)をクリック

リアルタイムからどのくらい巻き戻しているかが表示されます。

2 録画を始めたいところより前まで戻ったら、(再生)をクリック

3 録画を開始したい場面で、(録画)をクリック

(録画)を連続してクリックすると、録画時間を設定できます。

4 リアルタイムに追いつきたいときは、(早送り)をクリック

5 録画を終了するときは、(停止)をクリック

録画を終了するときは、手順4の方法でリアルタイムに追いついてから停止することをおすすめします。

ポイント

巻き戻し中にリアルタイムで放送されているシーンも、カットされないので見逃しはありません。

チェック

デジタル放送をさかのぼり録画するときは、設定にかかわらず常にデジタル放送画質になります。アナログ変換した画質でのさかのぼり録画はできません。

ポイント

(録画)をクリックしてから、実際に録画が開始されるまで、少しの間があるので、録画したいシーンよりも少し前から録画を始めることをおすすめします。

チェック

さかのぼり録画をする場合、それまでハードディスクに書き込まれていた番組が録画保存されます。このときリアルタイムに受信している番組のハードディスクへの書き込みも同時におこなわれています。そのため、5分巻き戻して録画開始し、30分後に録画を停止させた場合、計35分の録画ファイルが保存されます。ハードディスクの空き容量にご注意ください。

PART 3 おすすめ機能を使おう

おまかせ録画をする

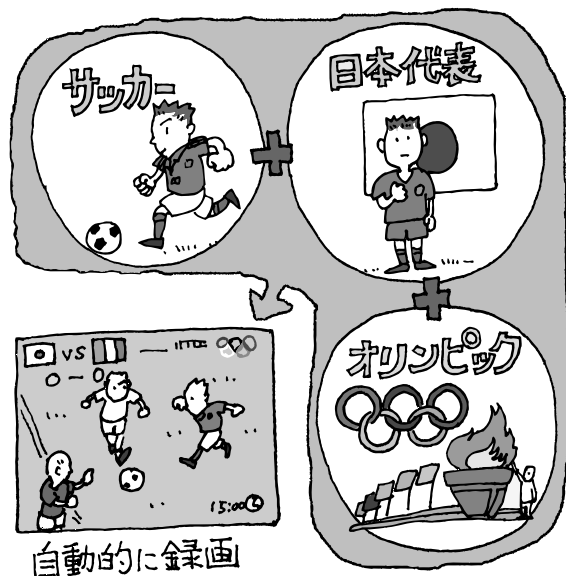
キーワードから番組を自動的に録画してくれる「おまかせ録画」機能を使ってみましょう。

おまかせ録画って何？

おまかせ録画は、ジャンルやキーワードをあらかじめSmartVisionに登録しておくと、キーワードが入った番組を自動的に探して録画してくれる機能です。
たとえば、こんな使い方はどうでしょう？

●毎週、放送時間が変わってしまう番組や、放送が不定期な番組を録画するとき
おまかせ録画で、番組名をキーワードにして、ジャンル、放送局を指定して条件を登録します。こうすると、自動的にその番組を録画します。放送時間や放送日程をいちいち確認する必要はありません。

●お気に入りのタレントの出ている番組を録画したいとき
おまかせ録画で、タレントの名前をキーワードにして、ジャンルや放送局を指定せずに条件を登録します。こうすると、自動的にキーワードに登録したタレントが出ている番組を録画します。

ただし、おまかせ録画で録画した番組の合計が設定した容量以上になると、古い番組から順番に削除されます。残しておきたい番組があるときは、別のフォルダに番組を移動してください。

チェック

●おまかせ録画は、番組表の「番組名」や「詳細情報」に出てくる言葉をキーワードにして番組を探します。そのため、タレント名や番組名を登録しても、番組表の番組名、詳細情報の記載と一致しない場合は録画されません。

●おまかせ録画で録画した番組は、必ずハードディスクに保存されます。DVDに直接保存することはできません。

ポイント

番組名は、番組表に省略されて記載されていることがあります。あらかじめ番組表で確認をして、番組名の一部などをキーワードにすることをおすすめします。

参照

●番組を移動する→PART2の「録画した番組を削除、整理する」(p.45)

●おまかせ録画について→オンラインヘルプの「使ってみよう(導入編)」-「SmartVisionで録ろう!」-「録画する条件を設定して、おまかせ録画をしよう」

おまかせ録画を登録する

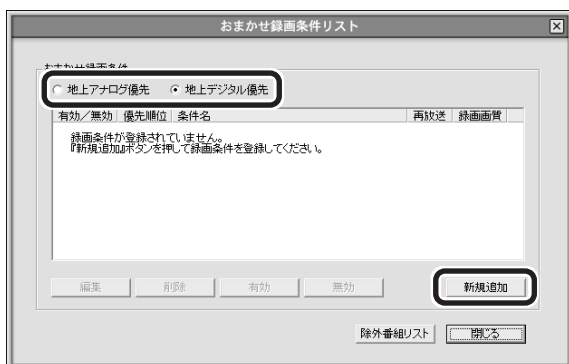
おまかせ録画で録画するために、キーワードなどの条件を登録します。

1 (予約&結果リスト)をクリック

2 「予約リスト」タブの おまかせ (おまかせ)をクリック

「おまかせ録画条件リスト」画面が表示されます。

3 「地上アナログ優先」、「地上デジタル優先」のどちらかをクリックして◉にし、「新規追加」をクリック

地上アナログ放送と地上デジタル放送で、同じ番組が放送されているときに、選んだ放送が優先して録画されます。この設定は、「おまかせ録画」全体で共通です。

「条件入力」画面が表示されます。

おまかせ録画で録画できないとき→PART7の「おまかせ録画で番組を録画したり、予約することができない」(p.108)

手順3で設定する優先順位よりも、次の「条件入力」画面(手順4)での設定のほうが優先されます。そのため、条件によっては異なる放送の番組が録画される場合があります。

4 おまかせ録画の条件を登録する

① 登録した条件に名前をつける
登録した条件に名前をつけるときはクリックして☑にし、条件名を入力します。名前をつけない場合は、自動的に名前が登録されます。

② キーワードを入力する
番組のキーワードになる言葉を入力します。キーワードを追加する場合は、「絞り込む」をクリックしてキーワードを追加してください。

③ 番組のジャンルと放送局に関する条件を設定する

④「録画設定」を設定する
おまかせ録画の条件同士で予約が重複したときの優先度と、録画画質を指定します。

⑤ 必要に応じて詳細な設定をする
[>>]をクリックすると、詳細な検索条件が設定できます。

⑥「候補一覧表示」をクリックする
設定した条件で録画される番組を表示します。ただし、すでに予約している別の番組と重なると、先に予約していた番組の録画が優先されます。
また、条件に一致する番組が予約リストに登録されるのは、放送の二日前です。表示された番組の中で録画したくない番組がある場合は、その番組をクリックして、「番組除外」をクリックします。以降、その番組はおまかせ録画で録画されなくなります。

ポイント

- □のままの条件はすべてが対象になります(例:「放送局」が□の場合は、すべての放送局が対象)
- 「キーワード」、「絞り込む」、「さらに絞り込む」の3つの枠に入れたキーワードすべてに当てはまる番組が録画されます。また、1つの枠には、複数のキーワードを改行で区切って入力できます。その場合は、区切って入れたキーワードのどれかに当てはまる番組が録画されます。

この場合は、次の4パターンの番組がすべて録画されます。

1.「旅・海・沖縄」がキーワードの番組
2.「旅・海・バリ島」がキーワードの番組
3.「旅・グルメ・沖縄」がキーワードの番組
4.「旅・グルメ・バリ島」がキーワードの番組

チェック

- 深夜0:00～6:00頃の番組は前日の曜日として扱われます(例:水曜日の深夜2:00の番組を録画するときは、火曜日を指定します)。
- 同じ時間帯に同じ条件の番組が複数あるときは、録画される番組は条件に合った番組の中でランダムに決定されます。

参照

- このほかのおまかせ録画の条件について→オンラインヘルプの「ボタンと使い方」-「ノーマルモード・アドバンストモード共通」-「ダイアログ」-「おまかせ録画ダイアログ」
- アナログ変換の画質での録画について→PART6の「アナログ変換の画質で録画する」(p.97)

5 「閉じる」をクリック

「条件入力」画面に戻ります。

6 「登録」をクリック

おまかせ録画の条件が登録されます。

7 「閉じる」をクリック

おまかせ録画した番組を再生する

おまかせ録画で録画した番組は、おてがる録画などで録画した番組とは、別のフォルダに保存されます。

1 (VIDEOリスト)をクリック

VIDEOリストが表示されます。

2 「おまかせ」をクリック

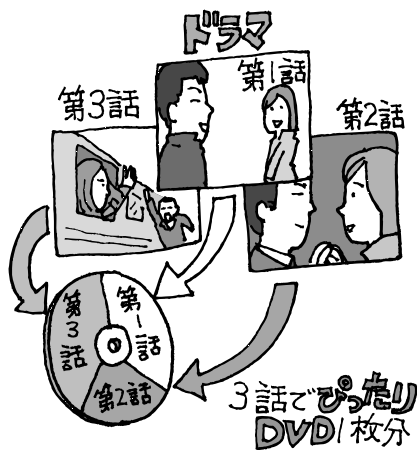
おまかせ録画で録画した番組が表示されます。

これから先は、ほかの録画番組を再生する手順と同じです。
詳しくは、PART2の「再生の方法」(p.42)手順2以降をご覧ください。

PART 3
おすすめ機能を使おう

ぴったり録画をする

「DVD1枚に収まるように録画したい」というときは、「ぴったり録画」が便利です。

ぴったり録画って何？

DVDに直接録画するときに、録画した番組がDVDに収まらないサイズでは困ってしまいます。ほかにも、「ドラマを3話まとめて1枚のDVDに保存したい」など、録画する番組のファイルサイズを決めて録画したいときは、ぴったり録画を使います。ぴったり録画では、「DVD1枚分」「DVD1/2枚分」「DVD1/3枚分」などから容量を選んで録画できます。また、「ユーザープロファイル」として、お好みの容量を登録することもできます。

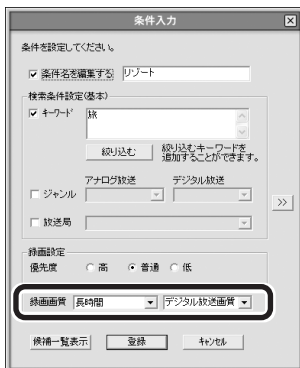
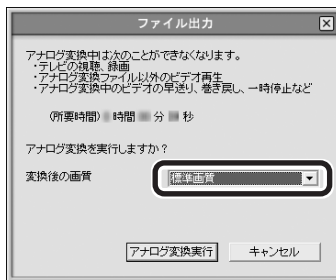
チェック

- ●ぴったり録画で録画した番組は、指定したファイルサイズに確実に収まるように、指定したサイズよりも少ないサイズで保存される場合があります。
- ●ぴったり録画で指定する「DVD1枚分」は、DVD-R（1層）の4.7Gバイトを意味します。
- ●デジタル放送をDVDに直接録画することはできません。
- ●デジタル放送の録画で「ぴったり録画」を利用すると、アナログ変換をおこないながら録画します。

ぴったり録画をする

ぴったり録画は、おてがる予約、おまかせ録画、アナログ変換で利用できます。それぞれ、次の画面で画質を選ぶときにぴったり録画の画質を選びます。

●おてがる予約

●おまかせ録画

●アナログ変換

参照

●おてがる予約について→PART2の「おてがる予約をする（番組表で予約する）」（p.33）
●おまかせ録画について→このPARTの「おまかせ録画をする」（p.51）
●アナログ変換について→PART6の「デジタル放送画質の番組をアナログ変換する」（p.95）

好きな録画サイズを登録する

最初から設定されている録画サイズ以外に、「ユーザープロファイル」としてお好みのサイズを登録できます。プロファイルは、合計10個まで登録できます。

1 **(設定)をクリック**

「設定ウィンドウ」が表示されます。

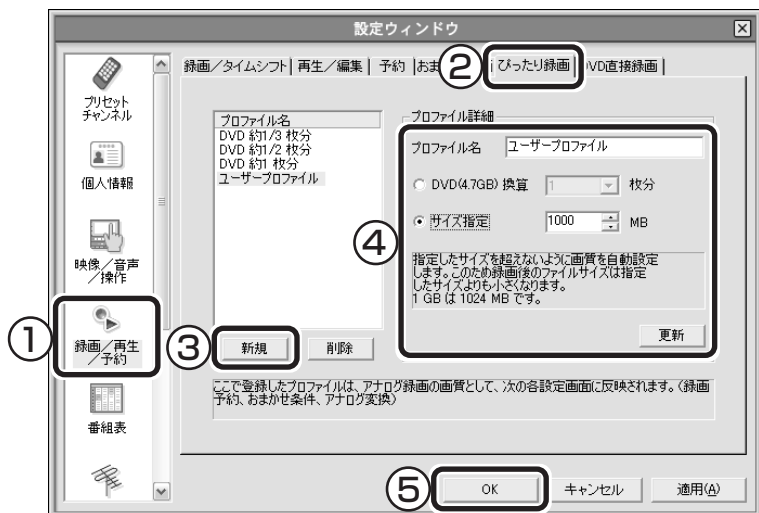
2 **ユーザープロファイルを登録する**

① 「録画／再生／予約」アイコンをクリック

② 「ぴったり録画」タブをクリック

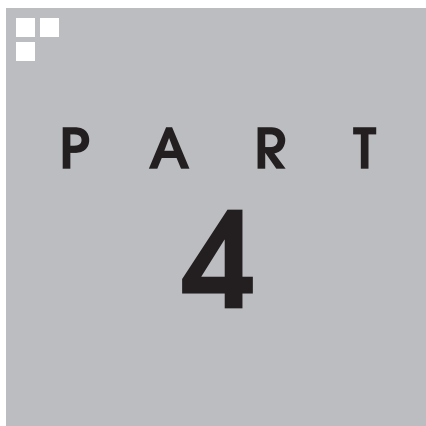
③ 「新規」をクリック

④ プロファイル名と容量を指定して、「更新」をクリック

⑤ 「OK」をクリック
「設定ウィンドウ」が閉じます。

これで、ユーザープロファイルの登録は完了です。登録したプロファイルは、おてがる予約やおまかせ録画、アナログ変換で利用できます。

- プロファイルを削除するときは、削除するプロファイルを選んで「削除」をクリックし、「OK」をクリックしてください。
- プロファイルの内容を変更するときは、変更するプロファイルを選んで、「プロファイル詳細」を修正した後、「更新」をクリックしてください。

チェック

予約番組で使用されていたり、おまかせ録画の条件として指定されているプロファイルは削除できません。

一歩すすんだテレビ操作

昔録ったビデオをデジタルにしたり、外出先から録画予約をしたり。一歩すすんだ使い方を紹介します。

PART 4
一歩すすんだテレビ操作

番組を検索して予約する

「今週の番組表から好きな俳優の出ている番組だけを探したい」
こんなときには番組表を検索して、その人が出ている番組だけを一覧で見ることができます。

検索できる番組

番組表のデータから、出演者などのキーワードを指定して番組を検索できます。また、検索した番組を予約することもできます。

番組表のデータがないときは、番組を検索できません。

検索した番組を予約する

1 **(番組表)をクリックし、番組表切換タブから予約する放送の種類をクリック**

番組表が表示されます。

2 **(検索)をクリック**

3 **検索条件を設定する**

① キーワードを入力する

② ▼をクリックして検索する日付を選ぶ

③ ▼をクリックしてジャンルを選ぶ

4 **(検索開始)をクリック**

検索が終了したら検索内容に該当する番組の件数が表示されます。

ポイント

キーワードには、出演者や番組タイトルなどを入力してください。
複数のキーワードを入力したいときは、キーワードとキーワードの間にスペースを入力します(「料理　魚」など)。

5 「OK」をクリック

検索結果が画面に表示されます。

検索結果で表示された番組を予約するときは、次の手順をおこなってください。

6 予約したい番組をクリックし 予約 (予約)をクリック

「予約設定」画面が表示されます。

この後の手順は、PART2の「おてがる予約をする」の手順4以降(p.35)をおこなってください。

ポイント

予約したい番組をクリックすると「番組情報」欄に番組の詳細情報が表示されます。

番組表を使わないで予約する

録画予約したい時間までに番組表が受信できないときなど、番組表を使った予約ができないときは、次の手順で予約できます。

1 (予約&結果リスト)をクリック

2 「予約リスト」タブの 新規予約 (新規予約)をクリック

「予約設定」が表示されます。

3 必要に応じて設定をおこない、「OK」をクリック

これで設定は完了です。

ポイント

● テレビを見る画面に戻るときは、画面左側のソースタブで、見たい放送が選択されていることを確認し、(予約&結果リスト)をクリックして予約&結果リストを閉じてください。

● 「30分延長」ボタンは、地上アナログ選択時のみ有効になります。

視聴予約をする

視聴予約をすると、設定した時間に、予約した番組が表示されます。

1 (番組表)をクリック

2 番組表から予約する番組を選んで (予約)をクリック

3 「実行モード」欄の「視聴」をクリックして にする

4 必要に応じてその他の設定を変更し「OK」をクリック

5 (番組表)をクリック

テレビ画面に戻ります。

これで、視聴の予約ができました。

参照

予約について→PART2の「おてがる予約をする」(p.34)

ポイント

「30分延長」ボタンは、地上アナログ選択時のみ有効になります。

■ 予約視聴の時間までパソコンを使わないときは

予約視聴の時間までパソコンを省電力状態にしたり電源を切ったりするときは、次の設定をおこなってください。1度おこなえば、毎回設定する必要はありません。

●「ソフトナビゲーター」の「パソコンの設定」-「テレビ機能の設定をする」-「TV共通設定」から「TV共通設定」を起動して、「自動ログオンの設定」をする。

●「スタート」-「コントロールパネル」-「パフォーマンスとメンテナンス」-「電源オプション」で表示される「電源オプションのプロパティ」の「詳細設定」タブで、「スタンバイから回復するときにパスワードの入力を求める」を□にする(ご購入時の状態では、□になっています)。

●「スタート」-「コントロールパネル」-「デスクトップの表示とテーマ」-「スクリーンセーバーを選択する」で表示される「画面のプロパティ」の「スクリーンセーバー」タブで「パスワードによる保護」を□にする。

自動ログオンで設定されたユーザーと異なるユーザーで省電力状態にすると、パソコンが起動するときに自動的にログオンできずに、予約録画やテレビの起動が失敗する場合があります。
自動ログオンしたユーザーでパソコンを終了することをおすすめします。

自動ログオンの設定について→『映像·音楽を楽しむ本』の付録

チェック

複数ユーザーでユーザーの簡易切り替えを使用しているときは、「パスワードによる保護」が「再開時にようこそ画面に戻る」になっています。同じようにクリックして□にしてください。

PART 4
一歩すすんだテレビ操作

外出先から録画予約する 地上アナログ放送 (reserMail添付モデルのみ)

外出先で、録画を忘れたことに気が付いた。急な用事で、番組の開始までに家に帰れない。そんなときに、携帯電話や外出先のパソコンからインターネットを通じて地上アナログ放送の録画予約ができます。

reserMail は、iモード、Vodafone live!、EZweb、またはインターネットのテレビ番組ガイド「TVnano/番組サーチ」を使って、外出先から録画予約をするソフトです。
reserMailをご利用になるには、ユーザー登録が必要です。

- 携帯電話からの録画予約サービスは有料となります。
- 録画予約の後にパソコンの電源を切るように設定しているときは、reserMailを使って外出先から番組を録画予約できないことがあります。

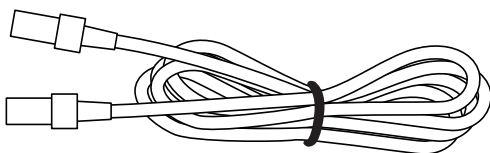
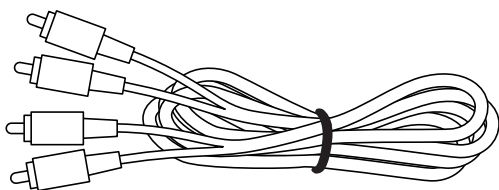
reserMailについて→「スタート」-「すべてのプログラム」-「reserMail for NEC」-「reserMail 取扱説明書」

外部機器やゲーム機を接続する

ご家庭のビデオデッキやアナログビデオカメラと接続して、その映像をパソコンのハードディスクに録画できます。また、ゲーム機やAVアンプを接続して楽しめます。

用意するもの

外部ビデオ機器と接続するとき

パソコンに接続する機器によって必要なものが異なります。市販のS映像用ケーブル(または映像用ケーブル)と市販の音声用ケーブルを使って接続します。

S映像用ケーブル(または映像用ケーブル)

音声用ケーブル(ピンプラグ×2、ピンプラグ×2)

■ テレビゲーム機と接続するとき

テレビゲーム機を接続する場合は、ゲーム機に添付のケーブルを使って接続します。

■ S/PDIF対応機器と接続するとき (デジタルハイビジョンTV(地デジ/BS/CS)モデルのみ)

S/PDIFに対応した機器からテレビの音声を出力するときは、市販の光ケーブルで接続します。デジタル放送の5.1chサラウンドも利用できます。

チェック

- コピー制御信号(コピー不可、1回のみコピー可)が含まれている映像は静止画キャプチャ、ブックマーク登録、短縮再生、ジャンプ、リピートの各機能を利用できません。
  また、コピー不可の場合は、録画、タイムシフトもできません(自動的にライブモードに切り換わります)。
- SmartVisionの映像を外部の機器に録画することはできません。
- CATVのホームターミナルも外部ビデオ機器と同じように接続します。

チェック

このパソコンのデジタル放送で使用する光デジタルオーディオ(S/PDIF)出力端子は、角形の端子です。対応した光ケーブルを用意してください。

外部ビデオ機器と接続する

機器の出力端子とパソコンの入力端子(ビデオ入力)を接続して、機器の映像をSmartVisionで録画します。

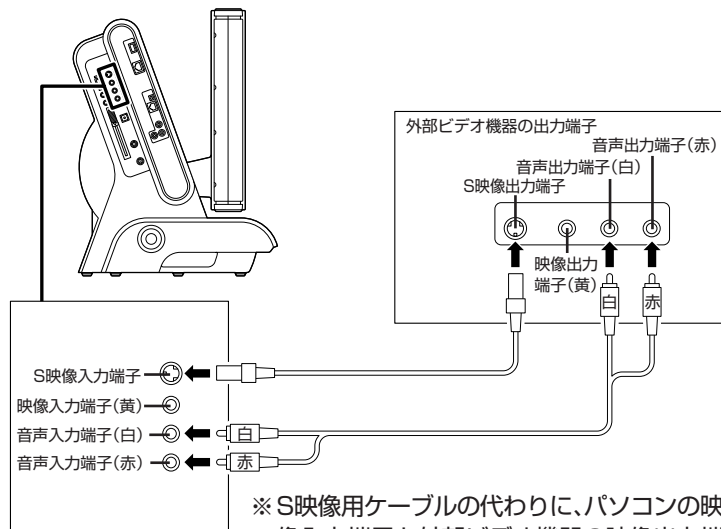
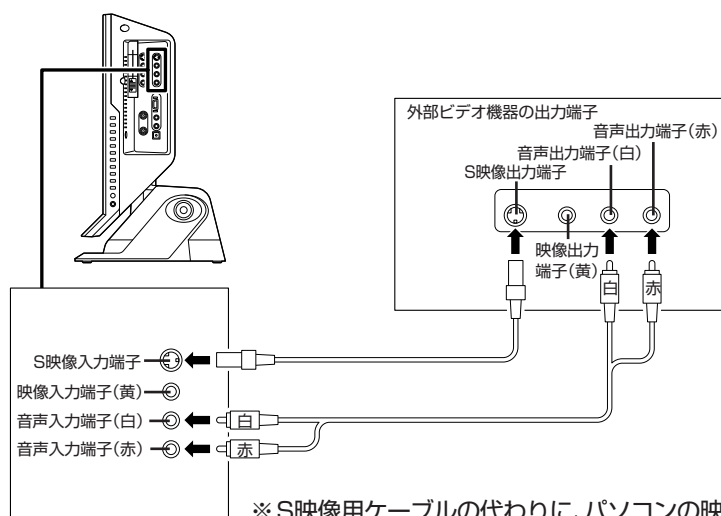
■ VALUESTAR Wの場合

(本体左側面) 側面の端子はモデルによって異なります

※S映像用ケーブルの代わりに、パソコンの映像入力端子と外部ビデオ機器の映像出力端子に映像ケーブル(黄)を接続して使うこともできます。

■ その他のモデルの場合

(ディスプレイ右側面)

※S映像用ケーブルの代わりに、パソコンの映像入力端子と外部ビデオ機器の映像出力端子に映像ケーブル(黄)を接続して使うこともできます。

チェック

- 外部接続機器の映像を録画する場合は、必ず入力端子(ビデオ入力)に接続してください。入力端子(モニタ入力1)、(モニタ入力2)に接続すると、録画できません。
- VALUESTAR Wの入力端子(ビデオ入力)はケーブルカバーを開けた内側にあります。ケーブルを取り付けた後は、保護のためにケーブルカバーを取り付けてください。
- 外部接続機器の音声出力から音声を取り込むときは、外部接続機器の「出力レベル」を確認して接続してください。
- パソコンのライン入力レベルより外部接続機器の音声レベルが大きいときは、接続方法を外部接続機器メーカにお問い合わせください。
  また、接続するオーディオケーブルに「抵抗入り」ケーブルを使用することで、パソコンに音声が出力されないことがあります。この場合は、「抵抗なし」のケーブルを使用することで、パソコンに音声が出力されるようになることがあります。
  ※「抵抗なし」、「抵抗入り」のケーブルについて詳しくは、お近くの販売店にご相談ください。

参照

ケーブルカバーの取り外し方(VALUESTAR Wのみ)→『準備と設定』付録の「ケーブルカバーの取り外し方と取り付け方」

ビデオの映像を録画する

ここでは例として、ビデオデッキの映像をSmartVisionで録画する方法を説明します。

1 画面左側のソースタブの「TV」をクリック

地上アナログ放送が表示されます。

2 (ビデオ入力)をクリック

録画したデータを後で編集する場合は、録画する画質の確認が必要です。「設定ウィンドウ」の「録画／再生／予約」-「録画／タイムシフト」タブで画質を選んでください。

3 ビデオデッキでビデオを再生する

ビデオの映像が表示されます。

4 (録画)をクリック

ビデオの録画が始まります。

5 録画を終了するときは (停止)をクリック

■ 録画ファイルのプロパティを変更する

録画した映像の番組名や詳細情報、ジャンルなどを変更したいときは、次の手順をおこなってください。

1 (VIDEOリスト)をクリック

2 変更したい番組を選んで (プロパティ)をクリック

「プロパティ」が表示されます。

3 変更したい情報を修正して「OK」をクリック

これで、番組情報が変更されます。

■ 録画したデータの利用

ここで録画したデータは、SmartVisionで録画した番組と同じように扱えます。
ホームビデオから録画した映像を編集してDVDにしたり、いろいろな楽しみ方ができます。

参照

画質について→PART2の「録画について」(p.30)

ポイント

ビデオの映像を録画するときも、テレビと同じようにタイムシフト機能が使えます。詳しくは、PART3の「見ている番組を操作する」(p.49)をご覧ください。ただし、「コピー不可」の信号が含まれている映像の場合、タイムシフトモードに切り換えることはできません。信号が検出されると自動的にライブモードに切り換わります。

映像の編集、DVD作成→PART5の「番組を編集してDVD-Videoにする」(p.78)

コピーワンス(1回のみ録画可のコピー制御信号が含まれた番組)の番組を録画した場合は、「1回のみ録画可」のデジタル放送をアナログ変換したファイルと同じ機能が利用できます。

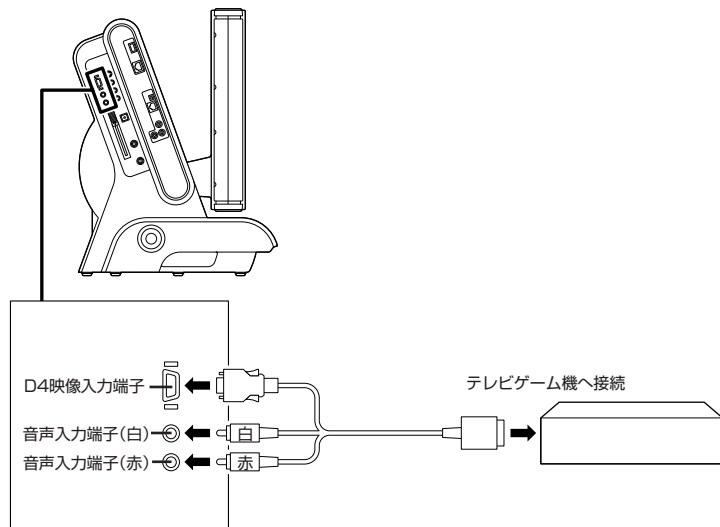
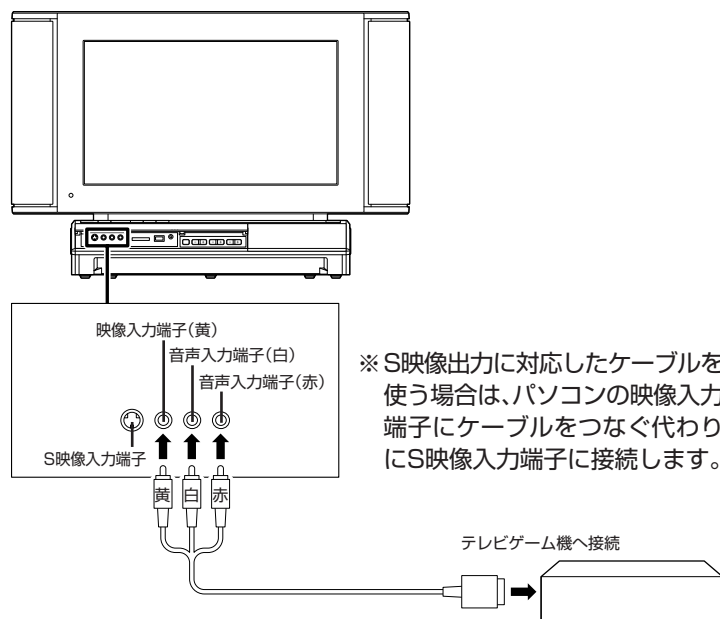
ゲーム機と接続する(デジタルハイビジョンTV(地デジ/BS/CS)モデルのみ)

テレビゲーム機などの機器とパソコンの入力端子(モニタ入力1)、(モニタ入力2)を接続して、パソコンに機器の映像を表示します。
モニタ入力1とモニタ入力2は、どちらに接続してもかまいません。接続できる端子に違いがあるので、機器に合わせて選んでください。

■ VALUESTAR Wの場合

● モニタ入力1(本体左側面)に接続する場合

●モニタ入力2(本体前面)に接続する場合

※S映像出力に対応したケーブルを使う場合は、パソコンの映像入力端子にケーブルをつなぐ代わりにS映像入力端子に接続します。

チェック

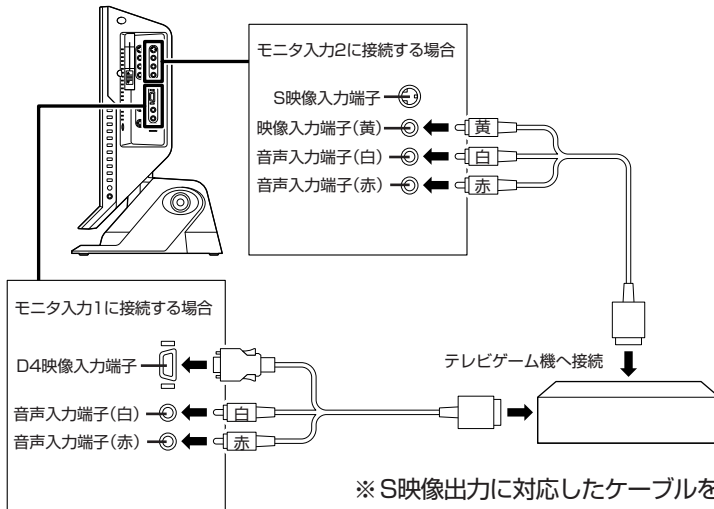
- ゲーム機を接続する場合は、入力端子(モニタ入力1)、(モニタ入力2)に接続することをおすすめします。入力端子(ビデオ入力)に接続すると、映像の表示にタイムラグが起こるため、ゲームの操作に支障が出る場合があります。
- 入力端子(モニタ入力1)、(モニタ入力2)に接続した機器の映像は録画できません。録画する場合は、入力端子(ビデオ入力)に接続してください。
- VALUESTAR Wの入力端子(モニタ入力1)はケーブルカバーを開けた内側にあります。ケーブルを取り付けた後は、保護のためにケーブルカバーを取り付けてください。

ケーブルカバーの取り外し方(VALUESTAR Wのみ)→『準備と設定』付録の「ケーブルカバーの取り外し方と取り付け方」

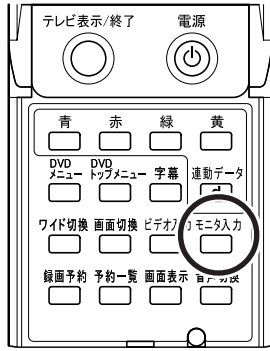
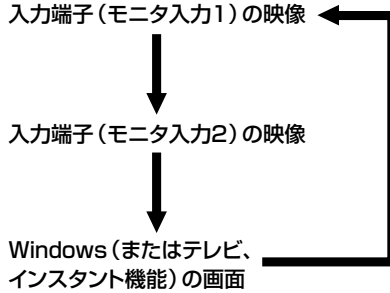
チェック

VALUESTAR Wの本体前面のカバーは、カバーの突起部を軽く押すと開きます。

■ その他のモデルの場合

（ディスプレイ右側面）

※ S映像出力に対応したケーブルを使う場合は、パソコンの映像入力端子にケーブルをつなぐ代わりにモニタ入力2のS映像入力端子に接続します。

ゲーム機の映像を表示する(デジタルハイビジョンTV(地デジ/BS/CS)モデルのみ)

入力端子(モニタ入力1)、(モニタ入力2)に接続した機器の映像は、パソコン本体の電源が入っていれば、いつでも切り換えられます(SmartVisionが起動している必要はありません)。
リモコンのフタを開けて【モニタ入力】ボタンを押すごとに、次のように表示が切り換わります。

リモコン(フタを開けた状態)

> **チェック**
> 入力端子(モニタ入力1)、(モニタ入力2)の映像を表示しているときも、Windows(またはテレビ、インスタント機能)の電源は切れていません。ゲームなどが終わったら、表示を切り換えて、Windowsなどの電源を切ってください。

S/PDIF対応機器と接続する(デジタルハイビジョンTV(地デジ/BS/CS)モデルのみ)

光デジタルオーディオ(S/PDIF)出力端子に、サウンド規格に対応した機器を取り付けて、テレビの音声を出力できます。
デジタル放送で、5.1chサラウンドを利用する場合は、この端子に対応したAVアンプなどを取り付けてください。
取り付け方については、各機器のマニュアルをご覧ください。

VALUESTAR W
(本体左側面)

その他のモデル
(ディスプレイ右側面)

> **チェック**
> - 光デジタルオーディオ(S/PDIF)出力端子が複数あるモデルの場合、テレビの音声を出力するときは、必ずここで説明している光デジタルオーディオ(S/PDIF)出力端子を使用してください。そのほかの光デジタルオーディオ(S/PDIF)出力端子は、テレビの音声出力には使用できません。
> - テレビの音声出力に使用する光デジタルオーディオ(S/PDIF)出力端子は、角形の端子です。対応した光ケーブルを使用してください。
> - VALUESTAR Wの光デジタルオーディオ(S/PDIF)出力端子はケーブルカバーを開けた内側にあります。ケーブルを取り付けた後は、保護のためにケーブルカバーを取り付けてください。

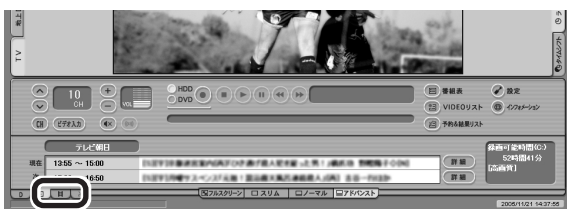
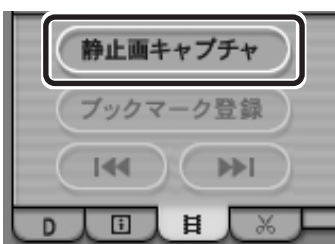
> **参照**
> ケーブルカバーの取り外し方(VALUESTAR Wのみ)→『準備と設定』付録の「ケーブルカバーの取り外し方と取り付け方」

PART 4
一歩すすんだテレビ操作

静止画をキャプチャする 地上アナログ放送

映像を静止画にしてパソコンに取り込むことができます。

静止画のキャプチャはアドバンストモードでおこないます。

1 アドバンスモードの 目 タブをクリック

2 静止画キャプチャ（静止画キャプチャ）をクリック

クリックした時点での映像が保存されます。

ご購入時の状態では、「C :¥Documents and Settings¥AllUsers¥Documents¥SV Video¥Capture」に保存されます。
パソコンに取り込むことのできる静止画サイズは、SmartVision のモードや録画した番組の画質によって異なります。タイムシフトモード時の画質は、「設定ウィンドウ」-「録画／再生／ 予約」-「録画／タイムシフト」タブの「録画／タイムシフトの画質（地上アナログ）」で設定した画質になります。

ライブモード	720×480ドット
超長時間録画データ	720×480ドット
長時間録画データ	720×480ドット
標準画質録画データ	720×480ドット
高画質録画データ	720×480ドット
ユーザー設定録画データ	設定によって異なります

チェック

地上アナログ放送のほかに、外部ビデオ機器から録画したコピーフリーの映像や、コピーフリーのデジタル放送をアナログ変換した映像からも静止画キャプチャができます。

ポイント

- キーボードの【C】を押しても静止画キャプチャできます。
- タイムシフトモードにして（一時停止）にするとキャプチャしやすくなります。

チェック

取り込んだ静止画は、実際に表示されている画面と異なる縦横比率になることがあります。この場合は、ペイントなどの静止画編集ソフトを使用して縦横比率を修正してください。

PART 4 一歩すすんだテレビ操作

字幕放送を見る

番組表で字のマークが付いている番組では、字幕放送を見ることができます。

地上アナログ放送の字幕放送を見る 地上アナログ放送

字幕放送はライブモード時のみ表示されます。
字幕放送が始まると、自動的に字幕が表示されます。字幕放送が終わると、自動的に字幕も表示されなくなります。

1 (設定)をクリック

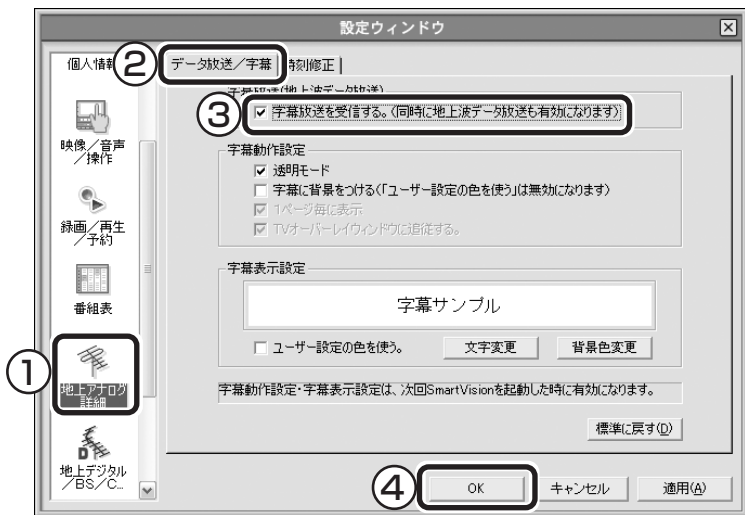
「設定ウィンドウ」が表示されます。

2 字幕放送を受信する設定にする

①「地上アナログ詳細」アイコンをクリック

②「データ放送／字幕」タブをクリック

③「字幕放送を受信する。」の左をクリックして☑にする

④「OK」をクリック

ライブモードで字幕を受信する設定をおこなうと、画面右下の通知領域に字が表示されます。この表示がされている状態で字幕放送がおこなわれている番組にチャンネルを合わせると、字幕が表示されます。

チェック

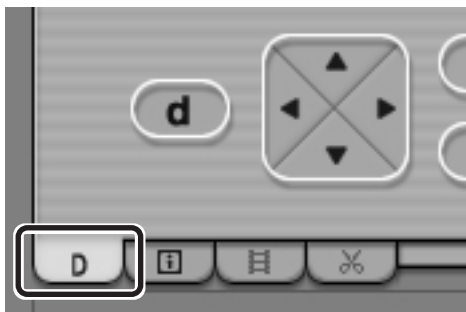
- 「設定ウィンドウ」で字幕を受信する設定にしても、字幕が表示されない場合は、通知領域の字をクリックして表示されるメニューで「字幕表示」にチェックを付けてください。
- 字幕放送を受信する設定にしていると、ウイルスバスターなどのセキュリティソフトがリアルタイムにファイルスキャンをおこなうことがあります。この影響で、画面が乱れる(コマ落ちする)ことがあります。

参照

画像が乱れたときの対応方法→PART7の「映像が乱れる(コマ落ちする)」(p.104)

地上デジタル放送、BS・110度CSデジタル放送の字幕放送を見る 地上デジタル放送 BSデジタル放送

字幕放送は、アドバンストモードで設定します。

1 アドバンストモードの「D」タブをクリック

2 サービス切換ボタンの「字幕」をクリックして、表示された一覧から、表示したい字幕を選ぶ

字幕が表示されます。

ポイント

「設定ウィンドウ」の「地上デジタル／BS／CS詳細」-「文字スーパー／字幕」タブの「字幕を表示する」を☑にすると、字幕がある番組では自動的に字幕を表示するようになります。

番組が字幕放送に対応していない場合は、ボタンをクリックできません。

PART 4 一歩すすんだテレビ操作

ラジオ放送、有料放送について

BS デジタル放送

BS・110度CSデジタル放送では、ラジオ放送、有料放送も楽しめます。

ラジオ放送を聴く

BS・110度CSデジタル放送では、テレビ番組だけでなくラジオ番組も放送されています。番組表からラジオ放送局の番組を選んでダブルクリックしてください。
番組によっては、映像もいっしょに楽しめます。

チェック

- ラジオ放送、有料放送はBS・110度CSデジタル放送のみのサービスです。
- 映像が表示される番組の場合、表示されるまでにしばらく時間がかかることがあります。
- タイムシフトモードでは、ラジオ放送の映像を受信することができません。ラジオ放送の映像は、ライブモードで視聴してください。
- ラジオ放送は録画できません。

有料放送を見る

BSデジタル放送では、WOWOWやスターチャンネルなどが有料放送をおこなっています。110度CSデジタル放送では、スカイパーフェクTV!110(CS1、CS2)がサービスをおこなっており、毎月の基本料金と、チャンネルパック月額視聴料金を支払う必要があります。有料放送を受信するためには別途契約が必要です(すでに契約済みの場合は不要です)。詳しくは、各放送局にお問い合わせください。

■ PPV(ペイ・パー・ビュー)を見る

PPV(ペイ・パー・ビュー)は、番組単位でご購入できる有料番組のことです。PPV(ペイ・パー・ビュー)の番組を選んだときは、番組購入確認の画面が表示されます。
録画できる番組の場合は「録画購入する」、「購入しない」のどちらかを選んでください。
録画不可の番組の場合は「視聴購入する」、「購入しない」のどちらかを選んでください。
PPV(ペイ・パー・ビュー)のうち有料(追加料金)で録画できる番組の場合は、番組購入確認の画面が表示されます。
「視聴購入する」、「録画購入する」、「購入しない」のいずれかを選んでください。

詳しくは、オンラインヘルプの「使ってみよう(導入編)」-「SmartVisionで見よう」-「TVやビデオカメラの映像を見よう」-「PPV(ペイ・パー・ビュー)番組を視聴しよう」をご覧ください。

チェック

- PPV(ペイ・パー・ビュー)はライブモードでご購入ください。ご購入後に、タイムシフトモードに切り換えることもできます。
- プレビュー中(番組購入前に視聴できる期間)に番組をご購入されなかった場合は、プレビュー終了後映像が表示されなくなります。
- 録画可能な番組で、プレビュー期間が終わった後も録画を続けたい場合は、プレビュー中に番組をご購入ください。ご購入されずに録画を続けた場合、プレビュー終了後は映像のない黒画面が録画されます。
- プレビュー中(番組購入前に視聴できる期間)に、リモコンの【モニタ入力】ボタンでモニタ入力に切り換えても、プレビューは止まりません。

PART 4
一歩すすんだテレビ操作

その他の番組サービスについて

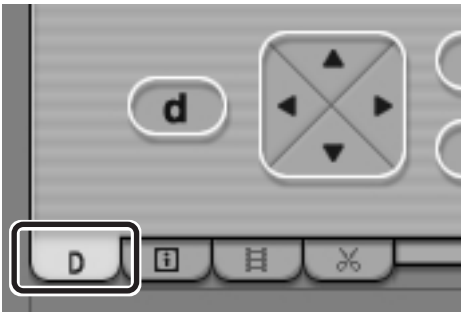
地上デジタル放送 BSデジタル放送

デジタル放送には、ほかにもマルチビューなどいろいろなサービスがあります。

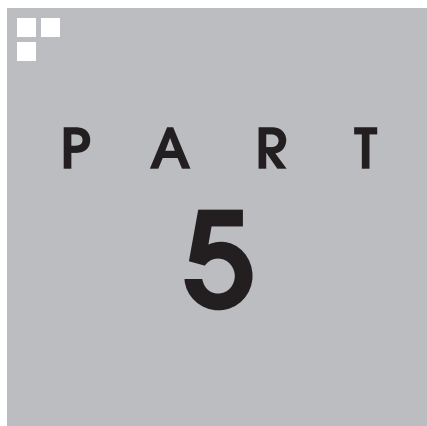
マルチビューなどのサービスを利用する

字幕放送や、マルチビューなどのサービスに対応した番組では、サービス切換ボタンをクリックして利用できます。
サービスには、次の6つがあります。

サービス	内容
マルチビュー	マルチビューテレビ(1つの番組内で、関連する複数の番組を放送するサービス)で、番組を切り換えます。
音声	主音声/副音声などがある番組で、音声を切り換えます。
映像	複数の映像がある番組で、映像を切り換えます。
データ	複数のデータ放送がある番組で、データ放送を切り換えます。
字幕	字幕放送で、字幕を切り換えます。
文字スーパー	文字スーパーを受信したときに、表示と非表示を切り換えます。

1 アドバンストモードの「D」タブをクリック

2 サービス切換ボタンから、利用したいサービスをクリック

詳しくは、オンラインヘルプの「ボタンと使い方」-「アドバンストモード」-「デジタル」をご覧ください。

番組がサービスに対応していない場合は、ボタンをクリックできません。

録画番組の編集・利用（地上アナログ放送）

録画した番組を編集すれば、好きなシーンだけを集めたベスト版を作ることも。さらに映像を変換して、携帯電話で見られるようにもできます。

あなたがテレビ放送や録画物などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

このPARTで記載している操作は、次の映像で利用できます。
・地上アナログ放送を録画した映像
・外部ビデオ機器から録画したコピーフリーの映像
・コピーフリーのデジタル放送をアナログ変換した映像

録画番組でできること 地上アナログ放送

コピーフリー(コピー制御信号が含まれていない番組)の録画データを利用してできることを紹介します。

録画した番組を使ってできることは、放送の種類によって異なります。ここでは、地上アナログ放送を録画したデータでできることや、使用できるディスクを紹介します。

■放送の種類と利用できる機能について

録画した番組は、地上アナログ放送とデジタル放送で利用できる機能が異なります。

放送の種類	番組の編集	DVD-Videoの作成	DVD-RAMへの保存
地上アナログ放送	○	○	○(DVD-VR形式)
デジタル放送(地上デジタル放送/BS・110度CSデジタル放送)	×	×	×
アナログ変換したデジタル放送※1	×	×	○(DVD-VR形式)※2

※1：コピーフリーのデジタル放送をアナログ変換した場合は、地上アナログ放送と同じ扱いになります。
※2：CPRM対応のDVD-RAMが必要です。

■ 利用できるDVDの種類

書き込みができるDVDには、いくつかの種類があります。また、書き込み形式にも3種類があり、それぞれ特徴があります。
通常、録画した地上アナログ放送の番組をDVDにするときは、DVD-R(1層)を使ってDVD-Video形式で書き込むことをおすすめします。

● 書き込み可能なDVDディスクの種類

ディスクの種類	容量	書き替え	書き込み形式	特徴
DVD-R	4.7Gバイト	×	DVD-Video	現在、もっとも普及している。市販のDVDと同じDVD-Video形式で記録でき、多くのパソコンやDVDプレーヤで再生できる。
DVD-R(2層)	8.5Gバイト	×	DVD-Video	DVD-Rの容量が増したもの。対応していないパソコンやプレーヤでは再生できない。
DVD-RW	4.7Gバイト	○	DVD-Video	データの書き替えができる。DVD-Video形式での記録ができる。
DVD+R	4.7Gバイト	×	DVD-Video	市販のDVDと同じDVD-Video形式で記録でき、多くのパソコンやDVDプレーヤで再生できる。
DVD+R(2層)	8.5Gバイト	×	DVD-Video	DVD+Rの容量が増したもの。
DVD+RW	4.7Gバイト	○	DVD+VR	データの書き替えができる。DVD+VR形式での記録ができる。
DVD-RAM(片面)	4.7Gバイト	○	DVD-VR	データの書き替えができる。
DVD-RAM(両面)	9.4Gバイト	○	DVD-VR	両面に記録できるDVD-RAMディスク。

● DVDの書き込み形式の種類

書き込み形式	特徴
DVD-Video	市販のDVDと同じ形式。多くのDVD再生可能なパソコンやDVDプレーヤで再生できる。
DVD-VR	DVDレコーダーなどで使われている形式。記録した後でもデータの編集ができる。対応したパソコン、DVDプレーヤで再生できる。
DVD+VR	多くのDVD再生可能なパソコンやDVDプレーヤで再生できる。また、記録した後でもデータの編集ができる。

このパソコンで記録したディスクが、ほかのパソコンや一般のDVDプレーヤで再生できるかどうかは、パソコンやプレーヤの対応によって異なります。詳しくは、各パソコン、プレーヤのメーカにお問い合わせください。

参照

利用できるディスクについて→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「DVD/CDドライブ」

PART 5 録画番組の編集・利用（地上アナログ放送）

番組を編集してDVD-Videoにする

地上アナログ放送

動画編集やDVDのタイトルメニューを使って、市販のDVDのような作品を作ることができます。

地上アナログ放送を録画した番組はいらない場面をカットしたり、複数の番組から欲しいところだけをつなぎ合わせてベスト映像を作ったりできます。
さらに、編集したデータをもとにタイトル画面やチャプタメニューの付いたDVDに加工することも。

■ 簡易編集について

ここでは、DVD MovieWriterを使った編集のしかたを紹介します。SmartVisionでも、アドバンストモードの「簡易編集」機能を使って、いらない場面のカットができます。

ハードディスクの空き容量が不足していると、簡易編集ができません。ハードディスクの空き容量を増やす方法については、PART2の「録画した番組を削除、整理する」（p.45）または「サポートナビゲーター」-「解決する」-「Q&A一覧」-「ハードディスク」をご覧ください。

参照

簡易編集について→オンラインヘルプの「使ってみよう（導入編）」-「SmartVisionで編集しよう！」-「いらないシーンは切り取って欲しいとこだけ残そう」

編集してDVD-Videoを作る

録画した番組を編集してDVDにします。ここでは例として、番組からいらない部分をカットして、DVD-R(1層)にDVD-Video形式で保存する方法を説明します。

1 (VIDEOリスト)をクリック

VIDEOリストが表示されます。

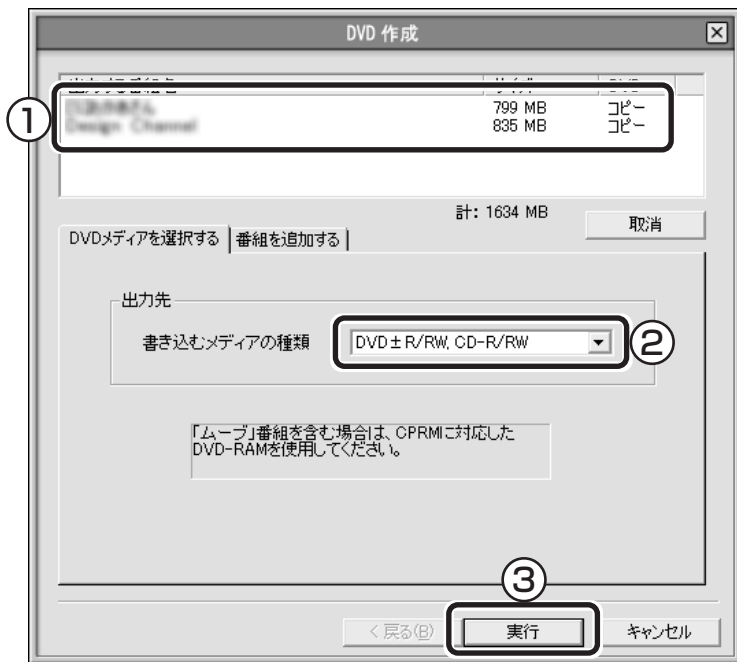
2 保存したい地上アナログ放送の番組をクリックし、DVD 作成(DVD作成)をクリック

「DVD作成」画面が表示されます。

3 書き込む番組とメディア(ディスク)の種類を確認する

① 書き込む番組名を確認する

② ▼をクリックし、書き込むメディア(ディスク)の種類を選ぶ

③「実行」をクリック

「メニュー作成」画面が表示されます。

チェック

VIDEOリストで、「画質」欄が斜体で下線付きの番組は、コピーワンスの番組(1回のみ録画可のコピー制御信号が含まれた番組)です。この番組をDVDに保存するときは、アナログ変換後CPRMに対応したDVD-RAMに保存(移動(ムーブ))してください。

参照

コピー制御信号が含まれた番組のDVD-RAMへの保存→PART6の「番組をCPRM対応DVD-RAMに保存する」(p.99)

ポイント

保存したい番組が複数あるときは、【Ctrl】を押しながらクリックすると選べます。

ポイント

番組を追加したいときは、「番組を追加する」タブをクリックして表示される画面で追加します。

4 「戻る」をクリック

「メディアを追加/編集」画面が表示されます。

5 再生順を変えたい番組の画像をドラッグ＆ドロップ

これで、DVDにしたときの番組の再生順が変わります。

6 画面左の をクリック

「メディアを編集」が表示されます。

7 編集する番組を下の一覧からクリックして、「ビデオのカット編集」をクリック

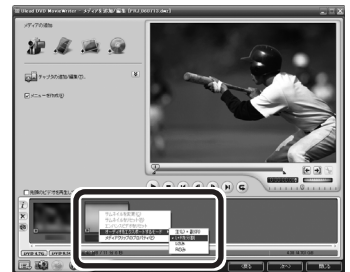
「ビデオのカット編集」画面が表示されます。

ポイント

番組の編集をおこなわず、メニューだけを作ってDVDにする場合は、手順4をおこなわずに手順11に進むと手間が省けます。

DVDにしたときの再生順を変えたいときは、手順5で再生順を変えてください。

ポイント

SmartVisionの「設定ウィンドウ」で「映像／音声／操作」-「音声」-「二ヶ国語放送」を「主+副音声」に設定して録画した二か国語番組をDVDにする場合、画面下にある番組のサムネイル画像を右クリックして「オーディオをエクスポートするモード」-「L+Rを分割」を選ぶと、二か国語を別々の音声トラックに収録したDVDを作成できます。

8 映像のいらない部分をカットする

① 「自動CM検出」をクリック
自動的に、映像の変わり目が検出されます。

② 画面下の一覧から、必要のない場面をクリック

③ をクリック
選んだ映像が削除されます。

④ いらない部分すべてについて、②～③を繰り返し、終わったら、「OK」をクリック
手順7の画面に戻ります。

9 手順7～手順8を繰り返して、すべての番組からいらない部分を削除する

10 「次へ」をクリック

手順4の画面に戻ります。

チェック

「自動CM検出」は、映像の変わり目や、音声の切り換わりから、場面の転換を自動的に検出します。そのため、映像によっては期待した効果が得られない場合があります。

ポイント

- 「自動CM検出」を使わずに、 を使って、映像の中から残したい場所だけを選んで残すこともできます。
- DVD MovieWriterでは、ほかにも、映像にチャプタを付けたり、文字や音楽を合成したりできます。

参照

DVD MovieWriterの詳しい使い方→画面下の をクリックして表示されるDVD MovieWriterの「ユーザーマニュアル」

11 DVDを再生したときに表示されるメニューのデザインを編集する

① 使いたいメニューのデザインをクリック

② ここをダブルクリックして表示される画面で、DVDのタイトルを入力
「マイタイトル」のまま変更しないと、完成したDVDではこの部分には何も表示されません。

③ ここをダブルクリックして表示される画面で、それぞれの番組のタイトルを入力

④ メニューの編集が終わったら、「次へ」をクリック
「プレビュー」画面が表示されます。

12 ▶(再生)をクリックして、内容を確認し、問題がなければ「次へ」をクリック

この画面で、できあがりのDVDの動作を確認できます。なおしたいところがあるときは、「戻る」をクリックします。

「次へ」をクリックすると「出力」画面が表示されます。

13 何も記録されていないDVD-R(1層)ディスクをDVD/CDドライブにセットする

ポイント

「メニューテンプレート」の ▼ をクリックすると、さらに多くのメニューが選べます。

チェック

- メニューには、自動的に番組名がタイトルとして入力されています。タイトルがほかのタイトルや映像に重なってしまうときは、改行したり、ドラッグ＆ドロップしてタイトルの位置を変えたりしてください。
- メニューが2ページ以上になっているときは、⏭ ⏮ でページを切り換えてそれぞれに入力してください。

チェック

ほかのディスクを使うときは、画面下の ? をクリックして表示される「ユーザーマニュアル」を見て操作してください。

14 「レコーディング形式」が「DVDビデオ形式(DVD-R/-RW/+R)」になっていることを確認して、「書き込み」をクリック

メッセージが表示されたときは「OK」をクリックしてください。書き込みが始まります。

これで、DVDが作成されます。後の操作は、画面の説明を読んでおこなってください。

■ DVD MovieWriterでDVD形式のビデオデータを扱うときの注意

DVD MovieWriterでDVD形式のビデオデータを扱うときは、次のことを注意してください。

- ●DVD-R/RW、DVD+R/RWに保存する場合、映像の画質(ビットレート)などにより、記録できる時間は異なります。
- ●デジタルビデオカメラからキャプチャ時に、オーディオの設定でLPCM(リニアPCM)を選んだ場合、もとのMPEG2ファイルよりも20%程度容量が増加することがあります。
- ●DVD-R/RW、DVD+R/RWにビデオを保存すると、空き容量が残っていてもそのディスクには追加保存できません。
- ●DVD-R/RW、DVD+R/RWに保存したビデオは、家庭用DVDプレーヤやDVD-ROMドライブ搭載のパソコンで再生できますが、一部のDVDプレーヤ、DVD-ROMドライブでは再生できないことがあります。また、ディスクやプレーヤの状態により再生できないことがあります。
- ●ディスクの状態(記録メディアの特性、キズ、汚れなど)や、ドライブの状態などによっては、正常に書き込みできない場合があります。
- ●使用するディスクによっては、最高速度で書き込み、読み込みができない場合があります。
- ●作成したDVD-R(2層)ディスクについては、当社製パソコンに搭載されているDVD-R(2層)対応ドライブでのみ読み出しが可能です。

チェック

- ●画面下に表示されている容量のグラフが4.38(4.70)GBを超えているときは、「DVD1枚に収める」をクリックしてください。自動的に、1枚のDVDに保存できるように映像を変換します。

  ただし、映像の画質や時間によっては、1枚のDVDに収められない場合があります。そのときは、書き込む番組数を少なくしてください。
- ●書き込みに失敗したディスクは再生できなくなります。書き損じによるディスクの保証はできませんのでご注意ください。

作成したDVD-Videoを再生する前にDVD MovieWriterを終了してください。

作ったDVDを見る

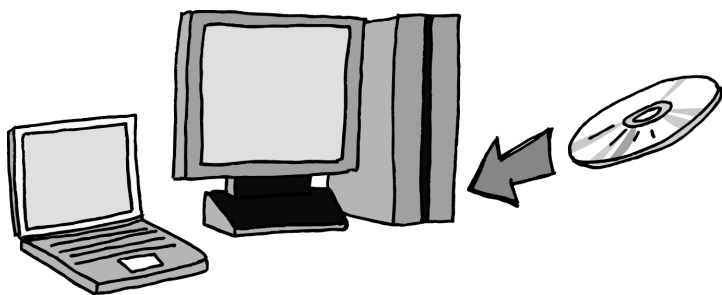
完成したオリジナルDVDを見てみましょう。

1 「ソフトナビゲーター」の「映像を見る・録る」-「MediaGarage」の「ソフトを起動する」をクリック

MediaGarageが起動します。

パソコンの電源が入っていれば、リモコンの【DVD/CD】を押しても表示できます。

2 「DVD/CD」をクリック

3 DVDをDVD/CDドライブにセットする

自動的に再生が始まります。

オリジナルDVDは、このパソコン以外に、DVD再生に対応したほかのパソコンや一般のDVDプレーヤで再生できますが、機器によっては再生できない場合があります。詳しくは、各機器のマニュアルをご覧ください。

ＭｅｄｉａＧａｒａｇｅの使い方→『映像・音楽を楽しむ本』

PART 5

録画番組の編集・利用(地上アナログ放送)

番組をDVD-RAMに保存する

地上アナログ放送の番組をDVD-RAMに保存する方法は、2種類あります。

DVD-RAMについて

DVD-RAMは、記録した内容を削除して繰り返し使える書き込み型DVDです。
DVD-RAMに録画した番組を保存するときは、DVD-VR形式になります。
このパソコンで地上アナログ放送の番組をDVD-RAMに保存するには、次の2とおりの方法があります。

●DVD-RAMに直接録画する(p.87)

●ハードディスクに録画した番組をDVD-RAMに保存する(p.88)

DVDの種類について→このPARTの「録画番組でできること」(p.76)

■ DVD-RAMのフォーマット

番組を保存するDVD-RAMは、SmartVisionでUDF形式(UDF2.0)のフォーマットをする必要があります。
次の手順でフォーマットをしてください。

フォーマットすると、DVD-RAMに保存されていたデータはすべて削除されます。

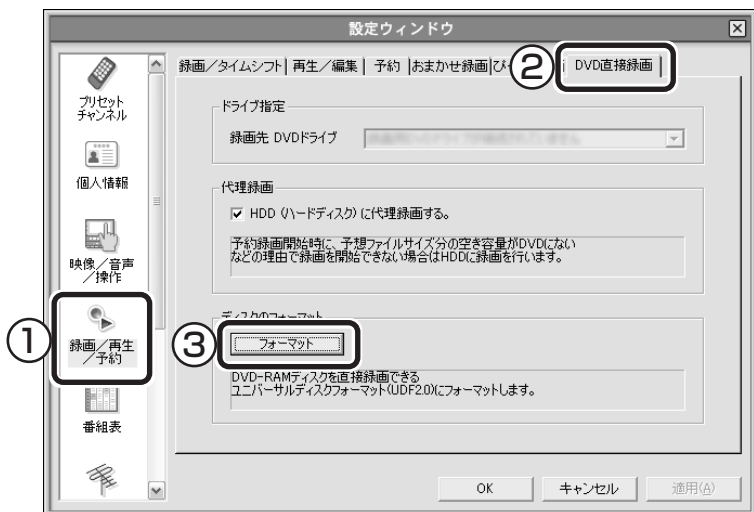
1 DVD/CDドライブにDVD-RAMをセットする

2 (設定)をクリック

3 DVD-RAMをフォーマットする

① 「録画／再生／予約」アイコンをクリック

② 「DVD直接録画」タブをクリック

③ 「フォーマット」をクリック
「DVDディスクフォーマット」画面が表示されます。

4 「開始」をクリック

確認の画面が表示されるので、「はい」をクリックすると、フォーマットが始まります。

フォーマットが終わったら画面の表示を見て操作してください。これでDVD-RAMのフォーマットは完了です。

チェック

「物理フォーマットを実行する」を にすると、フォーマットに60分～90分かかります。通常の使用では、物理フォーマットを実行する必要はありません。

DVD-RAMに直接録画する

番組をDVD-RAMに直接録画できます。

■ おてがる予約の場合

1 DVD/CDドライブにDVD-RAMをセットする

2 「おてがる予約をする」の手順4(p.35)で、「保存先」を「DVD」にする

これで、DVD-RAMへ直接録画されます。

■ 見ている番組を録画する場合

1 録画したい番組を表示する

2 DVD/CDドライブにDVD-RAMをセットする

3 DVD(DVD)をクリック

この後の手順は、PART2の「今見ている番組を録画する」(p.14)をご覧ください。

チェック

●おまかせ録画では、DVD-RAMに直接録画できません。

●DVD-RAMに直接録画をしているときは、ライブモードのみ利用できます。

●画質を「ユーザー設定」にするときは、ビットレートを8Mbps以下にしてください。9Mbps以上に設定した場合は、DVD規格に収まるビットレートに落として録画をおこないます。

参照

DVD/CDドライブの使い方→『準備と設定』第4章の「CD-ROMやDVDの扱い方」

チェック

予約録画を実行するときに、DVD-RAMに十分な空き容量がないときは、ハードディスクに録画されます(代理録画)。

チェック

デジタル放送の番組はDVD-RAMに直接録画できません。

参照

DVD/CDドライブの使い方→『準備と設定』第4章の「CD-ROMやDVDの扱い方」

チェック

●(録画)をクリックしてから実際に録画が始まるまで、5秒程度かかります。

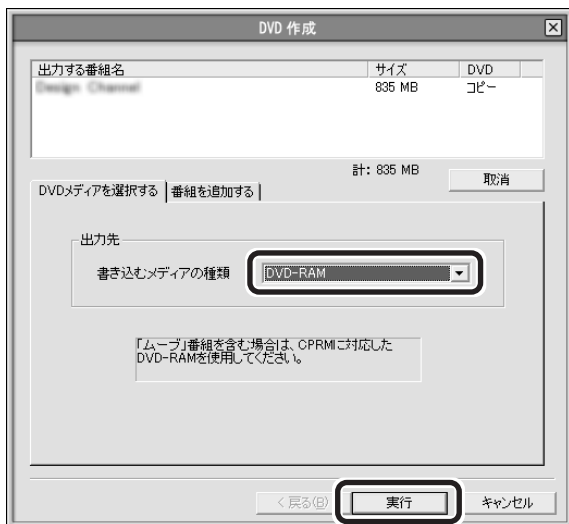
●DVD-RAMに直接録画するときは、さかのぼり録画はできません。

●DVD-RAMに録画できない場合は、書き込み可能なDVD-RAMがセットされているか確認してください。

DVD-RAMに番組を保存する

ハードディスクに録画した番組をDVD-RAMに保存します。

1 DVD/CDドライブにDVD-RAMをセットする

2 「編集してDVD-Videoを作る」(p.79)の手順3で、書き込むメディアを「DVD-RAM」にして、「実行」をクリック

自動的に書き込みが始まります。

3 「書き込み」が完了したら、「OK」をクリック

DVD-RAMに保存した番組を再生する

DVD-RAMに保存した番組を再生する方法は、このPARTの「作ったDVDを見る」(p.84)をご覧ください。

DVD-VR形式のDVD-RAMは、ほかのパソコンや一般のDVDプレーヤなどでは再生できない場合があります。詳しくは、各機器のマニュアルをご覧ください。

PART 5

録画番組の編集・利用（地上アナログ放送）

録画した番組を携帯電話で見る 地上アナログ放送

地上アナログ放送の番組は、家の中で見るだけでなく携帯電話などで見られる形に変換できます。

番組を持ち歩く

録画した地上アナログ放送の番組をSD-Video形式に変換してSDメモリーカードに保存すると、対応した機器で見ることができます。家で見る時間のなかった番組を変換しておいて、外出先で見られます。

■ SD-Video形式のデータについて

SD-Video形式は、SDメモリーカードに動画を保存するための形式です。
SD-Video形式の動画を再生できる機器には、携帯電話やPDA、携帯ゲーム機などがあります。このパソコンで変換した動画が再生できる機器については、この次の「番組をSDメモリーカードに保存する」の手順6で表示される機器をご覧ください。

チェック

この方法で映像を見るには、SD-Video形式に対応した携帯電話などの再生機器が必要です。詳しくは、機器のマニュアルをご覧ください。

番組をSDメモリーカードに保存する

1 （VIDEOリスト）をクリック

VIDEOリストが表示されます。

2 番組をクリックし、ファイル出力（ファイル出力）をクリック

「ファイル出力」画面が表示されます。

3 「MPEGファイルの出力／変換」をクリック

4 パソコンにSDメモリーカードをセットする

5 設定の確認をする

① 「更新」をクリック
「出力先」が「SDカード」になります。

② 「出力モード」が「SD-Video」になっていることを確認する

③ 「詳細設定」をクリック
「SD-Videoフォーマット変換拡張設定」画面が表示されます。

6 SD-Videoの設定をする

① ▼をクリックして再生する機器を選ぶ

② 出力する画質を選ぶ

③ 「OK」をクリック
「SD-Videoフォーマット変換拡張設定」画面が閉じて、手順5の画面に戻ります。

SDメモリーカードをセットしたときに、「Windowsが実行する動作を選んでください。」と表示されたときは、「キャンセル」をクリックしてウィンドウを閉じてください。

SDメモリーカードのセットのしかた→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンにつなげる」-「トリプルメモリースロット」

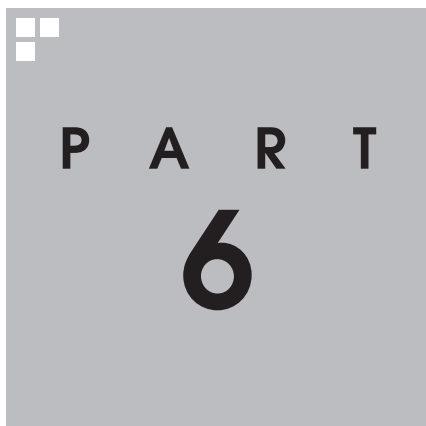
7 「実行」をクリック

SD-VideoWriterが起動し、自動的に番組の変換とSDメモリーカードへの書き込みをします。

8 書き込みが終わったら、「閉じる」をクリックし、SDメモリーカードを取り出す

これで、SDメモリーカードへの番組の保存は完了です。

■ 携帯機器で番組を見る

SDメモリーカードに保存した番組の再生方法は、機器によって異なります。詳しくは、機器のマニュアルをご覧ください。

録画番組の利用
（地上デジタル放送／BS・110度CSデジタル放送）

デジタル放送の番組もアナログ変換することでDVD-RAMに保存できます。

あなたがテレビ放送や録画物などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

このPARTで記載している作業は、次の映像で利用できます。
・コピーワンスのデジタル放送を録画した映像
・外部ビデオ機器から録画したコピーワンスの映像

PART 6

録画番組の利用（地上デジタル放送／BS・110度CSデジタル放送）

録画番組でできること 地上デジタル放送 BSデジタル放送

コピーワンス（1回のみ録画可のコピー制御信号が含まれた番組）の録画データを利用してできることを紹介します。

録画した番組を使ってできることは、放送の種類によって異なります。ここでは、コピーワンスのデジタル放送を録画したデータでできることや、使用できるディスクを紹介します。

放送の種類	番組の編集	DVD-Videoの作成	DVD-RAMへの保存
地上アナログ放送	○	○	○（DVD-VR形式）
デジタル放送（地上デジタル放送/BS・110度CSデジタル放送）	×	×	×
アナログ変換したデジタル放送※1	×	×	○（DVD-VR形式）※2

※1：コピーフリーのデジタル放送をアナログ変換した場合は、地上アナログ放送と同じ扱いになります。
※2：CPRM対応のDVD-RAMが必要です。

■ 利用できるDVDの種類

コピーワンスのデジタル放送は、そのままではDVDに保存できません。アナログ変換をして、デジタル放送画質からアナログ放送の画質に変えると、CPRM対応のDVD-RAMに保存できるようになります。

ポイント

CPRM(Content Protection for Recordable Media)は、デジタル放送に対応した著作権保護技術です。

● 書き込み可能なDVDディスクの種類

ディスクの種類	容量	書き替え	書き込み形式	特徴
CPRM対応 DVD-RAM（片面）	4.7Gバイト	○	DVD-VR	データの書き替えができる。著作権保護技術CPRMに対応している。
CPRM対応 DVD-RAM（両面）	9.4Gバイト	○	DVD-VR	両面に記録できるDVD-RAMディスク。著作権保護技術CPRMに対応している。

● DVDの書き込み形式の種類

書き込み形式	特徴
DVD-VR	DVDレコーダーなどで使われている形式。対応したパソコンやプレーヤで再生できる。

このパソコンで記録したディスクがほかのパソコンや一般のＤＶＤプレーヤで再生できるかどうかは、パソコンやプレーヤの対応によって異なります。詳しくは各パソコン、プレーヤのメーカにお問い合わせください。

PART 6 録画番組の利用（地上デジタル放送／BS・110度CSデジタル放送）

デジタル放送画質の番組をアナログ変換する 地上デジタル放送 BSデジタル放送

デジタル放送の番組を、DVD-RAMに保存できるようにアナログ変換します。

アナログ変換について

デジタル放送で、コピーワンスの番組（1回のみ録画可のコピー制御信号が含まれた番組）は、通常、このパソコン以外では録画した番組を見られません。
ただし、デジタル放送画質の録画データをアナログ放送の画質に変換することで、CPRM対応のDVD-RAMに保存して、対応したパソコンやプレーヤで見られるようにできます。
ここでは、デジタル放送画質の番組のアナログ変換とCPRM対応DVD-RAMへの保存方法を説明します。
アナログ変換をするときには、次のことに注意してください。

●変換に時間がかかる
録画済み番組をアナログ変換するときは、録画した時間と同じ時間がかかります（1時間の番組をアナログ変換するのに1時間必要）。

●アナログ変換中は、他の操作ができない
次の操作は、アナログ変換中はできません。
・テレビの視聴
・録画番組の視聴
・すべての放送とビデオ入力からの録画

●アナログ変換した番組は、デジタル放送画質に戻せない
アナログ変換をすると、もとになったデジタル放送画質の録画データは削除されます。また、アナログ変換した番組をデジタル放送画質に戻すことはできません。

●アナログ変換した番組も編集できない
コピーワンスの番組は、アナログ変換したあともこのパソコンに添付、または市販の動画編集ソフトで編集することはできません。また、携帯電話などで見られる形式（SD-Video形式）への変換もできません。

予約（番組表受信予約、時刻修正、おまかせ録画を含む）をしている時間帯は、アナログ変換はできません。

アナログ変換をする

■ 録画済み番組をアナログ変換する

デジタル放送画質で録画した番組を、アナログ変換する手順を説明します。

1 （VIDEOリスト）をクリック

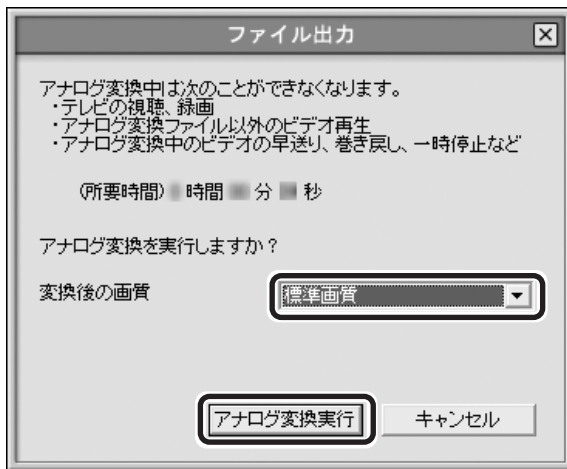
VIDEOリストが表示されます。

2 番組をクリックし、ファイル出力(ファイル出力)をクリック

「ファイル出力」画面が表示されます。

3 「録画番組のアナログ変換(移動(ムーブ))」をクリック

「ファイル出力」が表示されます。

4 ▼をクリックして、画質を選び、「アナログ変換実行」をクリック

アナログ変換が始まります。変換中に「中止」をクリックすると、変換を途中で中止します。

VIDEOリストで、「画質」欄が斜体で下線付きの番組が、コピーワンス(1回のみ録画可)の番組です。

ポイント

アナログ変換したい番組が複数あるときは、【Ctrl】を押しながらクリックすると選べます。

複数の番組をアナログ変換している場合、すでに変換し終わった番組はもとに戻せません。変換途中の番組は、アナログ変換が中断され、デジタル放送画質のまま残ります。

■ アナログ変換の画質で録画する

アナログ変換した画質でデジタル放送を録画することもできます。それぞれ、次の画面で画質を選ぶときにアナログ変換の画質を選択します。

●おてがる予約

●おまかせ録画

チェック

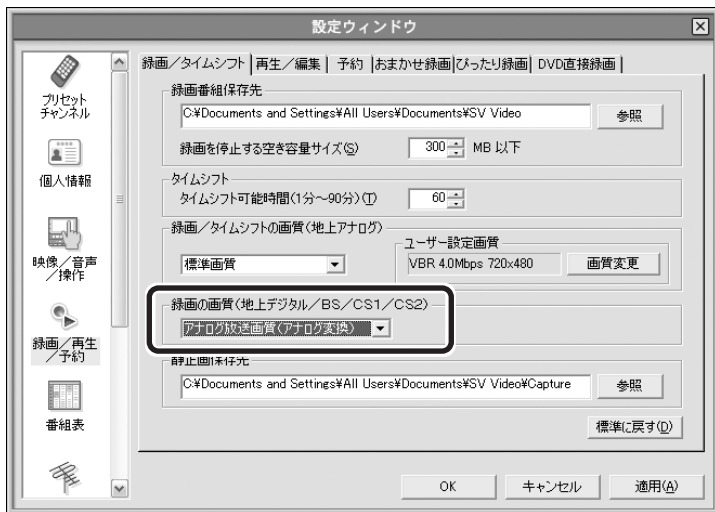
アナログ変換の画質で録画するときも、「録画可能時間」はデジタル放送画質の場合で表示されます。

ポイント

「画質」欄で「デジタル放送画質」以外を選ぶと、アナログ変換で録画されます。

ポイント

「録画画質」の「デジタル放送」で「アナログ変換」を選んだときの画質は、同じ画面の「アナログ放送」の画質と同じになります。

●(録画)を押して録画する(見ている番組を録画する)

ポイント

(録画)を押して録画するときのアナログ変換後の画質は、地上アナログ放送を録画する画質と同じになります。画質は同じ画面の「録画／タイムシフトの画質(地上アナログ)」で変更できます。

PART 6
録画番組の利用（地上デジタル放送／BS・110度CSデジタル放送）

番組をCPRM対応DVD-RAMに保存する 地上デジタル放送 BSデジタル放送

アナログ変換した番組を、CPRM対応のDVD-RAMに保存します。

アナログ変換したデジタル放送画質の番組は、CPRM対応のDVD-RAMに保存して、持ち出せます。保存した番組は、対応したパソコンやプレーヤで再生できます。

CPRMのアップデートをする

CPRM対応DVD-RAMに保存する前に、ソフトのアップデートが必要です。アップデートは、このパソコンに添付されている「CPRM対応ソフトウェアセットアップディスク」でおこないます。

1 DVD/CDドライブに「CPRM対応ソフトウェアセットアップディスク」をセットする

アップデート方法を説明する画面が表示されます。

画面の説明を読んで、SmartVision、DVD-MovieAlbum SEのアップデートをおこなってください。

CPRM対応DVD-RAMに録画番組を保存する

番組をDVD-RAMに保存します。あらかじめ、DVD-RAMをUDF形式（UDF2.0）でフォーマットしておいてください。

参照

DVD-RAMのフォーマットについて
→PART5の「DVD-RAMについて」（p.85）

1 DVD/CDドライブにCPRM対応のDVD-RAMをセットする

2 SmartVisionを起動し、（VIDEOリスト）をクリック

VIDEOリストが表示されます。

3 アナログ変換した番組をクリックし、DVD 作成（DVD作成）をクリック

「DVD作成」画面が表示されます。

ポイント

- 保存したい番組が複数あるときは、【Ctrl】を押しながらクリックすると選べます。
- コピーワンス（1回のみ録画可）の番組が含まれているときは、CPRM対応DVD-RAMのみ保存できます。

4 「実行」をクリック

自動的に書き込みが始まります。

5 書き込みが完了したら、「OK」をクリック

ポイント

●番組を追加したいときは、「番組を追加する」タブをクリックして表示される画面で追加します。

●「DVD」欄に「ムーブ」と表示された番組はコピーワンス（1回のみ録画可）のため、DVDに保存後ハードディスクから自動的に消去されます。

DVD-RAMに保存した番組を再生する

CPRM対応DVD-RAMに保存した番組は、WinDVDで再生します。再生には、CPRMの機器鍵（デバイスキー）をインストールする必要があります。

1 「ソフトナビゲーター」の「映像を見る・録る」-「DVDを見る」-「WinDVD for NEC」の「ソフトを起動する」をクリック

WinDVDが起動します。

2 DVD-RAMをDVD/CDドライブにセットする

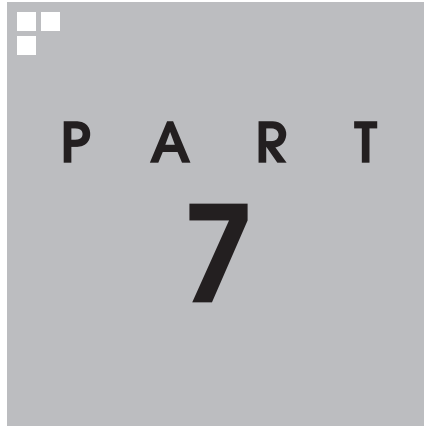
はじめてCPRM録画されたDVDをセットしたときには、CPRMの機器鍵（デバイスキー）のインストールに関するメッセージが表示されます。画面の指示にしたがって機器鍵（デバイスキー）をダウンロードし、インストールしてください。

作ったDVD-RAMは、このパソコン以外に、CPRM対応DVD-RAMの再生に対応したパソコンやプレーヤで再生できますが、機器によっては再生できない場合があります。詳しくは、各機器のマニュアルをご覧ください。

チェック

●CPRM対応DVD-RAMに保存した番組は、DVD-MovieAlbumSEでも再生できます。

●CPRM対応DVD-RAMに保存したコピーワンスの番組は、MediaGarageやインスタント機能では再生できません。

●CPRMの機器鍵（デバイスキー）をダウンロードするには、インターネットに接続する必要があります。

Q&A

SmartVisionを使っていて、困ったことがあったときは、ここをご覧ください。

PART 7 Q&A

テレビを見ているとき

テレビが映らない、音が出ないなど、テレビを見ようとして問題が起きたときは、ここをご覧ください。

テレビが映らない

■ 接続は正しいですか？

『映像・音楽を楽しむ本』の「テレビを見るための準備」をご覧になり、アンテナ線の接続を確認してください。

■ チャンネルは設定されていますか？

テレビを見るには、あらかじめチャンネルの設定が必要です。設定については『映像・音楽を楽しむ本』の「テレビを見るための準備」をご覧ください。

■ ほかのソフトが起動していませんか？

「MediaGarage」や「WinDVD」など、映像を表示するソフトを同時に動作させることはできません。起動しているソフトをいったん終了させた後、SmartVisionを起動してください。

■ ほかのユーザーでSmartVision などを起動したまま、ユーザーを切り替えていませんか？

SmartVisionを起動している、またはMediaGarage でテレビ視聴中、Windowsのユーザー切り替えの機能で別のユーザーに切り替えると、そのユーザーではSmartVisionを起動することはできません。

■ 「VIDEO」や外部入力(ビデオ入力、モニタ入力)になっていませんか？

画面左のソースタブが「VIDEO」になっているときは、見たい放送のタブをクリックしてください。
チャンネルが「L-1」になっているときは、ビデオ入力(ビデオ入力)をクリックしてください。
モニタ入力になっているときは、リモコンのフタを開けて【モニタ入力】ボタンを何回か押してテレビまたはWindowsの画面を表示してください。

■ パソコンをお使いの場所は地上デジタル放送のサービスエリア内ですか？ 地上デジタル放送

パソコンをお使いの場所がサービスエリアに含まれているかどうか、アンテナレベルチェックで各チャンネルの受信状況を確認してください。

■ お使いのアンテナはUHF帯に対応していますか？ 地上デジタル放送

地上デジタル放送は、UHF帯の電波を使っています。お使いのアンテナがUHF帯に対応しているか確認してください。
また、アンテナが地上デジタル放送を送信している電波塔に向いているかどうかも確認してください。
ケーブルテレビなどをお使いの場合は、受信できるかどうか、ケーブルテレビ事業者にお問い合わせください。

■ B-CASカードはセットされていますか？ 地上デジタル放送 BSデジタル放送

本パソコン添付のB-CASカードがなければ、地上デジタル放送、衛星デジタル放送を視聴できません。また、正しい向きでセットされていないと映像が映りません。
『映像・音楽を楽しむ本』の「テレビを見るための準備」をご覧になり、B-CASカードを正しい向きでセットしてください。

■ 画面の解像度を変更していませんか？

SmartVisionを利用できる解像度は次のようになっています。変更している場合は、もとに戻してください。

- VALUESTAR Wのデジタルハイビジョン TV（地デジ/BS/CS）モデルの場合：1,360×768ピクセル
- VALUESTAR Wのデジタルハイビジョン TV（地デジ）モデルの場合：1,280×1,024ピクセル
- その他のモデルの場合：1,680×1,050ピクセル

SmartVisionのテレビ機能を利用中にエラーメッセージで、再起動するように表示された。またはSmartVisionが操作できなくなった

SmartVisionを使っているときに、エラーメッセージで再起動をするように表示されたときは、パソコンを再起動してください。また、SmartVisionの操作ができなく（「応答なし」の状態に）なったときは、【Ctrl】と【Alt】を押しながら【Delete】を押して、表示された画面でSmartVisionを終了させ、SmartVisionを起動しなおしてください。
SmartVisionを起動しなおしても機能が回復しない場合は、パソコンを再起動してください。

パソコンを再起動しても機能が回復しない場合は、次のように操作してください。

●VALUESTAR Wの場合
パソコンの電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。約30秒そのままの状態にした後、電源ケーブルを差してパソコンの電源を入れてください。機能が回復する場合があります。

●その他のモデルの場合
パソコンの電源を切り、ディスプレイの電源ケーブルをコンセントから抜いてください。約30秒そのままの状態にした後、電源ケーブルを差してパソコンの電源を入れてください。機能が回復する場合があります。

音が出ない、音が大きすぎる

■ 音量を調節してください。

SmartVisionの(+)または(−)をクリックして音量調節をおこなってください。
また、ミュート(消音)になっていないか確認してください。

■ テレビ音量レベルを調節してください。

パソコンの音に対して、テレビの音が大きすぎる、または小さすぎるときは、音量のバランスを変更できます。
「設定ウィンドウ」の「映像／音声／操作」-「音声」タブの「TV音量レベル」で調節してください。

参照

- 音量の調節について→PART2の「音量を調節する」(p.12)
- パソコンのスピーカの音量を調節する→『準備と設定』第4章の「音量を調節する」

映像が乱れる(コマ落ちする)

■CPU使用率が高くなっていませんか？

パソコンのCPU 使用率が高くなると映像がコマ落ちします。ほかのソフトを終了してから、SmartVisionを起動してください。
次の手順でCPU使用率を確認できます。

1 タスクバーの何もない部分を右クリックし、「タスクマネージャ」をクリック

「Windows タスク マネージャ」が起動します。

2 「パフォーマンス」タブをクリック

3 CPU使用率を確認する

CPU使用率が約80%以上のときは、画面が乱れることがあります。ほかのソフトを終了して、CPU使用率を約80%以下にしてください。

■ ウイルスバスターの自動アップデート確認をしていますか？

ウイルスバスターの自動アップデート確認で、コマ落ちしたり音飛びすることがあります。次の手順をおこなってください。

1 通知領域にある(ウイルスバスターのアイコン)を右クリック

2 「メイン画面を起動」をクリック

3 「インテリジェントアップデート」の右にある「設定する」をクリック

4 「アップデート設定」で「インテリジェントアップデート(自動アップデート)を有効にする」の☑をクリックして□にする

5 「適用」をクリック

参照

サポートナビゲーターの「安心安全に使う」-「ウイルス感染の防止」-「ウイルス対策ソフトを更新する」-「インテリジェントアップデート(自動アップデート)を無効にする」をご覧ください。

「インテリジェントアップデート」を無効にすると、ウイルス定義ファイルや製品の更新(アップデート)が自動的におこなわれなくなります。画面いっぱいに表示されるソフトを終了した後は、「インテリジェントアップデート」をするように設定を変更するか、最低1週間に1回は手動で更新をおこなってください。

アップデートの確認は、番組を視聴していないときにおこなってください。

■ 字幕放送を受信する設定になっていませんか？ 地上アナログ放送

字幕放送を受信する設定にしていると、コマ落ちが発生する場合があります。
映像を優先する場合は、次の手順で字幕放送の設定を解除してください。

1 (設定)をクリック

2 「地上アナログ詳細」アイコンをクリックし、「データ放送/字幕」タブの「字幕放送を受信する」をクリックして□にする

3 「OK」をクリック

■ パソコンの近くで携帯電話や電子レンジを使用していませんか？

このパソコンの近くで携帯電話や電子レンジを使用すると、映像や音声が乱れる場合があります。

■ タイムシフトモードで見ていますか？ 地上デジタル放送 BSデジタル放送

デジタル放送をタイムシフトモードで見ている場合や、さかのぼり録画をしている場合に、映像が乱れることがあります。この場合は、(一時停止)をクリックした後、(再生)をクリックすると改善できる場合があります。

テレビの画面が白っぽい

「Visualボタン」を押して画質を切り換えてください。選択できる画質についてはPART2の「テレビを見る」(p.7)をご覧ください。

デジタルデータ放送が表示できない 地上デジタル放送 BSデジタル放送

■ デジタルデータ放送をおこなっているチャンネルになっていますか?

デジタルデータ放送をおこなっている番組かどうか確認してください。データ放送をおこなっている場合は、画面右下のインジケータに「データ連動放送中」と表示されています。

PART 7
Q&A

視聴予約や録画予約ができないときには

予約をしたときに問題が起きたときは、ここをご覧ください。

視聴予約した番組が開始されない

■ 省電力状態やスクリーンセーバーからの復帰時に、パスワードの確認画面が表示されない設定になっていますか？

視聴予約機能を利用するために、省電力状態やスクリーンセーバーからの復帰時に、パスワードの確認画面を表示しない設定にする必要があります。PART4の「視聴予約をする」(p.61)をご覧になり、設定をおこなってください。

録画予約した番組が録画されていない

■ Windowsのログオンパスワードを設定・変更していませんか？

Windowsのログオンパスワードを新たに設定または変更したときは、「自動ログオン」の設定を変更する必要があります。
「TV共通設定」の「自動ログオンの設定」で設定を変更してください。

参 照

自動ログオンの設定について→『映像・音楽を楽しむ本』の付録

■ 「結果リスト」で予約実行結果を確認してください。

「結果リスト」に予約実行結果が表示されます。予約録画が失敗すると「結果」の欄に「●失敗」と表示されます。結果の詳細を見たい番組をクリックすると、画面上部に結果の詳細が表示されます。

参 照

予約実行結果を確認する→ PART2の「予約の結果を確認する」(p.38)

■ 「自動ログオンの設定」をしていますか？

パソコンの電源を切っている場合、自動ログオンの設定がされていないと、電源を切った状態からパソコンを自動起動することはできません。「TV共通設定」の「自動ログオンの設定」で設定してください。
電源を切った状態から、予約した時刻にパソコンを自動起動する方法について詳しくは、PART2の「予約実行前後の動作を設定する」(p.41)をご覧ください。

自動ログオンの設定について→『映像・音楽を楽しむ本』の付録

■ パソコン内蔵の時計は正確ですか？

パソコン内蔵の時計の時刻が放送波の時刻と大きくずれていると、番組が正確に録画されない場合があります。パソコン内蔵の時計がずれている場合は、正しい時刻に合わせてください。

■ 番組編成が変わっていませんか？ 地上デジタル放送 BSデジタル放送

次のようなときは録画されません。

- 番組表が更新され、予約した番組の放送がなくなった。または、予約時の番組情報と一致しなくなった。
- 前の番組の延長や臨時番組の放送などで、予約した番組の開始時刻が3時間以上遅れた。

  「予約設定」画面の「詳細設定」で、予約した番組の開始時刻や終了時刻が変わったときに変更後の時刻に追従して録画するように設定できます。

参照

「予約設定」画面の詳細設定について→オンラインヘルプの「使ってみよう（導入編）」-「SmartVisionで録ろう」-「見やすい、探しやすい番組表で予約（おてがる予約）」

VIDEOリストに録画した番組が見あたらない

■ 録画が失敗していませんか？

なんらかの事情で予約録画が失敗した場合は、録画番組一覧に表示されません。
予約録画が成功しているかどうかは、結果リストで確認することができます。

参照

予約結果を確認する→PART2の「予約の結果を確認する」（p.38）

■ 録画保存先フォルダを変更していませんか？

予約したユーザーの保存先フォルダがご購入時の状態でも、予約録画を実行したユーザーの保存先が変更されている場合、VIDEOリストには録画した番組が表示されません。

■ おまかせ録画をしていませんか？

「おまかせ録画」で録画した番組は、録画フォルダと異なるフォルダに保存されます。VIDEOリストの中からおまかせ録画フォルダをクリックしておまかせ録画のファイルを表示してください。
また、おまかせ録画は、最大録画容量を超えた場合、過去に録画したファイルの中から古い順に削除していきます。
削除したくない場合は、手動で予約録画するか、おまかせ録画の消去したくないファイルを右クリックして、プロパティを表示し、おまかせ録画のチェックボックスを外してください。

■ DVD-RAMに直接録画していませんか？ 地上アナログ放送

DVD-RAMに録画した番組は、VIDEOリストには表示されません。

■ 録画した番組をほかのユーザーが移動または削除していませんか？

パソコンを複数ユーザーで使っている場合、「VIDEOリスト」にはすべてのユーザーの録画した番組が表示されるので、録画したユーザー以外の人でも、番組を別のフォルダに移動したり、削除できます。ほかのユーザーが番組を移動したり削除していないか、確認してください。

おまかせ録画で番組を録画したり、予約することができない

■ 条件の一致する番組が、同時刻に複数ありませんか？

おまかせ録画で、条件が一致する番組が複数存在する場合は、どれか1つの番組が録画できます。録画したい番組以外の番組を除外リストに登録するか、条件を絞り込んでください。

■ 番組表の受信時刻と重なっていませんか？

番組表の受信時刻と重なっている番組は、番組表の受信予約が優先されるため、録画されません。番組表の受信時刻を設定している場合は、受信時刻を変更してください。

参照

番組表の受信時刻を変更する→PART2の「番組表の受信時刻を設定する」(p.27)

■ すでに録画予約した番組と、予約した時間帯が重なっていませんか？

すでに録画予約した番組と予約した時間帯が重なっている場合は、先に登録された予約が優先されます。おまかせ予約を優先する場合は時間帯の重なる番組予約を取り消してください。

参照

予約を変更する→PART2の「予約の確認や変更、取り消しをする」(p.36)

■ 番組を「除外番組リスト」に登録していませんか？

除外リストに登録した番組は録画されません。
録画対象番組に戻す場合は、「除外番組リスト」をクリックして対象番組を選び、「解除」をクリックしてください。

参照

予約を変更する→PART2の「予約の確認や変更、取り消しをする」(p.36)

■ 予約リストから番組を取り消していませんか？

予約リストから取り消した番組(取り消した放送回のみ)は、おまかせ録画の対象外になります。予約する場合は、通常の番組予約で予約しなおしてください。

■ 番組の放送はいつですか？

おまかせ録画の条件に一致する番組が実際に予約リストに登録されるのは、放送の二日前です。その前に、同じ時刻に放送される別の番組を予約すると、おまかせ録画の番組は予約登録されません。

参照

おまかせ録画の条件登録について→PART3の「おまかせ録画を登録する」(p.52)

PART 7 Q&A

番組表の受信がうまくいかない

番組表受信時に問題が起きたときには、ここをご覧ください。

番組表が受信できない、またはデータの取りこぼしが起きる

■ SmartVisionが起動していると番組表が受信できないような設定になっていませんか？

次の手順をおこなってください。

1 **(設定)をクリック**

2 **「番組表」-「番組表データ」タブの「ADAMS-EPG を使用する。(地上アナログ)」にチェックをして「設定」をクリック**

「ADAMS-EPG受信設定」が表示されます。

3 **「テレビ視聴中に番組表の受信を行う」のチェックを外している場合はチェックする**

■ アンテナは接続されていますか？

『映像・音楽を楽しむ本』の「テレビを見るための準備」をご覧になり、アンテナ線の接続を確認してください。

参照
アンテナ線の接続について→『準備と設定』第2章の「アンテナ線を接続する」

■アンテナの向きが悪い、またはアンテナとの接続が長くありませんか?

アンテナの向きを変えたり、アンテナとの接続を短くするなどの対策をおこなうと、受信状態が改善され、データの取りこぼしの頻度が低くなることがあります。

■ 受信チャンネルは正しく設定されていますか?

チャンネルの設定を確認してください。設定方法については『映像・音楽を楽しむ本』の「テレビを見るための準備」をご覧ください。

■アンテナ線の接続に使用しているのはネジタイプのF型コネクタプラグですか?

ネジタイプのF型コネクタプラグ以外だと、正しく受信できない場合があります。
また、ケーブルとF型コネクタプラグの接触を確認してください。

■ テレビ電波の状態の悪い場所ではありませんか?

番組表を受信できる場所であっても、次のような場所では受信できないことがあります。

●ゴースト(二重映り)が多い場所

●電波が弱い場所

●極端に電波が強い場所

■ 地上アナログテレビ放送以外のテレビ放送を利用していませんか? 地上アナログ放送

地上アナログテレビ放送以外のテレビ放送(ケーブルテレビ会社のテレビ放送中継サービス)では、番組表を受信できないことがあります。

■ 番組表の受信チャンネルをテレビ朝日系列の放送局に設定していますか? 地上アナログ放送

番組表は、各地域におけるテレビ朝日系列の放送局から受信できます。受信チャンネルが正しく設定されているか確認してください。
番組表を送信している放送局については、p.27の表をご覧ください。
受信チャンネルの設定は、「番組表の受信時刻を設定する」(p.27)の手順4で表示される「ADAMS-EPG受信設定」画面で確認できます。

■番組表の受信中に、チャンネルを変更していませんか?

番組表の受信中に、その番組表と同じ放送のチャンネルを変更すると、テレビの視聴を優先し番組表の受信は中断します。

チェック

電波の弱い場所で使用する場合は、ブースターを使用してください。また、ゴーストの多い場所で使用する場合は、ゴーストキャンセラーが必要です。ブースターやゴーストキャンセラーの取り付けについては、お近くの電器店などにご相談ください。

チェック

ケーブルテレビをご利用の場合は、ADAMS-EPGが受信可能かどうか、ご利用のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

番組表が2日分しか表示されない

■ ご利用の地域はどこですか? 地上アナログ放送

地上アナログ放送の番組表は通常、次の日数分が配信されます。

●北陸朝日放送、あさひテレビのエリア:7日分

●北九州エリアのNHK総合、NHK教育:2日分

●上記以外のエリア:最大8日分

この日数は、予告なく変更される可能性があります。

番組表について詳しくは、http://www.tadv.jp/service/adams.html をご覧ください。

PART 7 Q&A

動画や静止画をうまく取り込めない

動画や静止画をキャプチャしようとして問題が起きたときは、ここをご覧ください。

録画や静止画のキャプチャができない

■ ハードディスクの空き容量が不足していませんか？

ハードディスクの空き容量を確認してください。
ハードディスクに、キャプチャした画像を記録するのに十分な空き容量がないと、キャプチャできないことがあります。
ハードディスクの空き容量を増やす方法については、PART2の「録画した番組を削除、整理する」(p.45)または「サポートナビゲーター」-「解決する」-「Q&A一覧」-「ハードディスク」をご覧ください。

参照
録画時のハードディスク容量について→PART2の「録画について」(p.30)

■ 録画できる番組ですか？ 地上デジタル放送 BSデジタル放送

番組によっては、録画ができないものがあります。番組表の「番組情報」を見ると、録画可能かどうかがわかります。
その他、録画についての詳しい情報は、PART2の「録画について」(p.30)をご覧ください。

■ 外部ビデオ機器は正しく接続されていますか？

外部ビデオ機器からの映像をキャプチャしたい場合は、外部ビデオ機器を正しく接続してください。接続についてはPART4の「外部機器やゲーム機を接続する」(p.64)をご覧ください。

■ DVD-Videoの映像をキャプチャしようとしていませんか？

DVD-Videoのような、著作権保護用のコピー制御信号が含まれている映像は、このパソコンで録画することはできません。

ビデオからの映像が表示されない、音声が出ない

■ 正しく接続されていますか？

パソコンとビデオデッキを接続するには、市販のビデオケーブルと音声ケーブルが必要です。接続についてはPART4の「外部機器やゲーム機を接続する」(p.64)をご覧ください。

■ ビデオ入力になっていますか？

画面左下にある ビデオ入力 (ビデオ入力)をクリックしてください。

PART 7 Q&A

その他

SmartVisionのデータをバックアップしたい 地上アナログ放送

録画番組データは、SmartVisionのファイル出力機能を使って、番組ごとに書き出して、映像のデータとして保存することでバックアップしてください。
ただし、デジタル放送画質で録画した番組やコピーワンスの番組の録画データは、バックアップできません。

参照

ファイル出力機能について→「オンラインヘルプ」-「使ってみよう(導入編)」-「SmartVisionで編集しよう!」

SmartVisionの録画番組データをほかのパソコンに移したい

■ SmartVisionの録画番組データをそのままほかのパソコンに移すことはできません。

録画番組データをほかのパソコンで見るときは、SmartVisionのDVD作成機能またはファイル出力機能を使って、データをDVDに保存して映像データとしてほかのパソコンで再生してください。

参照

録画番組データをＤＶＤにする→「PART5 録画番組の編集・利用(地上アナログ放送)」(p.75)、「PART6 録画番組の利用(地上デジタル放送／BS・１１０度CSデジタル放送)」(p.93)

パソコンの電源が勝手に入ってしまう

■ 予約時刻ではありませんか?

設定によっては、予約録画(おまかせ録画を含む)、予約視聴、番組表受信の予約をしていると、予約時刻の約8分前にパソコンが自動的に起動して、予約に備えます。
予約録画、予約視聴、番組表受信の予約内容を確認してください。
番組の録画・視聴予約内容については、PART2 の「予約の確認や変更、取り消しをする」(p.36)をご覧になり、予約内容と予約結果を確認してください。
電源を切った状態から自動的にパソコンを起動させたくない場合は、PART2の「予約実行前後の動作を設定する」(p.41)をご覧になり、「予約録画／予約視聴／番組表受信開始前にパソコンを自動起動する。」をクリックして□にしてください。省電力状態からのみ予約により起動するようになります。

付　録

このパソコンを廃棄・譲渡するときに、SmartVisionに保存されている個人情報を消去する方法や、アンテナの設定方法を説明しています。
また、SmartVision各モードのボタンやタブの機能についてや、映像配信についても記載しています。

付 録

B-CASカードについて

デジタル放送の視聴に必要なB-CASカードについて説明します。
B-CASカードは、登録が必要です。

B-CASカードを扱うときの注意

B-CASカードは、デジタル放送の各種サービスを利用するために必要なカードです。このパソコンにB-CASカードをセットしないと、デジタル放送を視聴できません。
B-CASカードを扱うときは、次のことに注意してください。

- ●このパソコン専用のB-CASカード以外のものをセットしないでください。
- ●B-CASカードは、記載されている「使用許諾契約約款」の内容を読み、了解された上で台紙からはがしてください。
- ●B-CASカードの取り扱いについて、次のことにご注意ください。
  - ・裏面の金メッキされた端子に手を触れないでください。
  - ・折り曲げたり、変形させたり、傷を付けないでください。
  - ・上に重いものを載せたり、踏みつけたりしないでください。
  - ・ぬれた手で触ったり、水をかけたりしないでください。
  - ・分解・加工しないでください。
- ●裏向きや逆方向からB-CASカードをセットしないでください。セットする方向を間違えると、B-CASカードが機能せず、デジタル放送を視聴できません。
- ●B-CASカードは、常時セットしたままにしておいてください。取り出す場合は、先にパソコンの電源を切り、電源ケーブルのプラグをコンセントから抜いた後に、B-CASカードを取り出してください。
- ●B-CAS用「ユーザー登録ハガキ」は、B-CASカードをセットした後、必要事項をご記入の上投函してください。

ポイント

限定受信システム(CAS:Conditional Access System)とは、特定のお客様にかぎって、番組の視聴ができるようにするシステムです。

B-CASカードを登録する

デジタル放送のサービスを受けられるようにするには、B-CASカードのユーザー登録が必要です。B-CASカードに添付されている「ユーザー登録ハガキ」に必要事項を記入して、返送してください。その際、「ご登録に際して」欄の「はい」に○を付けることをおすすめします。
詳しくは、B-CASカードに添付されている説明書をご覧ください。

チェック

- ●B-CASカードの所有権は、(株)ビーエス･コンディショナルアクセスシステムズ(略称:B-CAS)に帰属します。カードの登録をすると、カードシステムのバージョンアップを無料で受けることができます。
- ●カードを紛失するなどして再発行する場合は、再発行費用がかかります。

付録

アンテナの設定をする 地上デジタル放送 BSデジタル放送

デジタル放送の表示に問題があるときは、アンテナの設定をしてください。

デジタル放送の表示に問題があるときは、アンテナの設定をすると改善される場合があります。
この設定は、デジタル放送の各ソース(地上D/BS/CS1/CS2)でそれぞれおこなってください。

1 画面左側のソースタブで、設定をする放送を選ぶ

2 (設定)をクリック

3 「アンテナ電源」の設定をする BSデジタル放送

①「地上デジタル／BS／CS詳細」アイコンをクリック

②「受信設定」タブをクリック

③アンテナ電源を選ぶ

・+15V 供給
BS・110度CSデジタルチューナボードとBSアンテナを直接接続している場合に設定します。

・供給しない
マンションなどの共聴アンテナを使用している場合や、ブースターなどの別の機器から電源が供給されている場合に設定します。

チェック

●ご購入時は、アンテナ電源が「供給しない」に設定されています。

●「初期受信周波数」は通常、変更の必要はありません。

●「+11V供給」は将来使用する場合がありますが、通常は使用しません。

4 アンテナ電源を変更したときは「適用」をクリック

続いて、アンテナの受信レベルを調節します。

5 アンテナの向きを調節する

アンテナの向きを調節していくと受信状態に「受信レベル:中」あるいは「受信レベル:高」と表示されます。その状態で受信レベルが最大となるようにアンテナの向きを調節して、アンテナを固定します。

6 「OK」をクリック

これで、アンテナの設定は完了です。

チェック

受信レベルについては、目安として52以上になるように調節してください。アンテナの受信レベルは、初期受信周波数・天候・季節・受信している地域(アンテナの設置場所)などによって異なります。

「音を鳴らす」を☑にすると、現在の受信レベルが「53」以上で音が鳴ります。

個人情報を消去する 地上デジタル放送 BSデジタル放送

パソコンを廃棄したり、ほかの人に譲渡するときに、保存されている個人情報を消去する必要があります。

次の内容が消去されます。設定ウィンドウで設定した内容はすべてご購入時の状態に戻ります。

・データ放送で使用していた個人情報やポイント
・受信済みのメール／掲示板の内容
・予約結果リストの内容
・しおりリストの内容
・番組購入履歴(BS・110度CSデジタル放送)
・番組購入金額(BS・110度CSデジタル放送)

チェック

この方法で消去するのは、データ放送で使用するSmartVisionに関する個人情報です。個人情報の中には、ゲームのポイントなども含まれます。

データを消去する

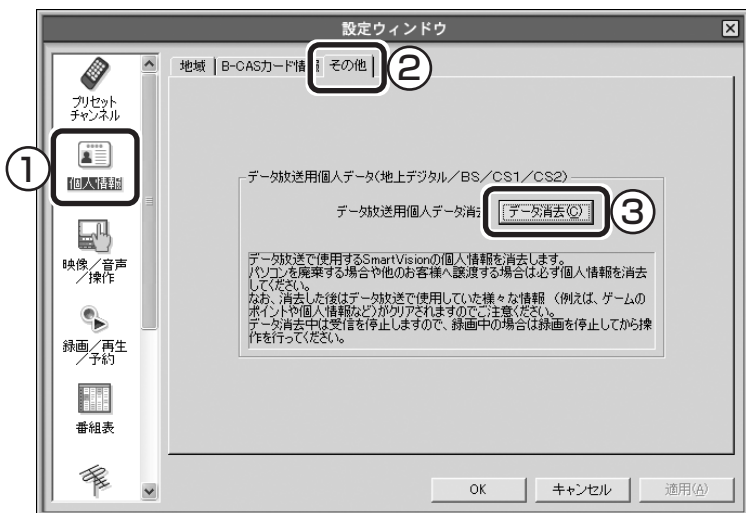
1 (設定)をクリック

「設定ウィンドウ」が表示されます。

2 データ消去の設定をする

①「個人情報」アイコンをクリック

②「その他」タブをクリック

③「データ消去」をクリック

「本当にデータ消去を行いますか？」と表示されます。

3 「はい」をクリック

保存されている個人情報が消去されます。

消去が完了すると、「データ消去を行いました。」と表示されます。

4 「OK」をクリック

SmartVisionが自動的に終了します。

これで、個人情報の消去が完了しました。

付録　各モードの画面説明

SmartVisionの各モードの画面について説明します。

■ ノーマルモード

※デジタルハイビジョンTV（地デジ/BS/CS）モデルのみ

ソースタブ
表示する映像（放送）を切り換えます。

TV：地上アナログ放送
地上D：地上デジタル放送
BS※：BSデジタル放送
CS1/CS2※：110度CSデジタル放送スカイパーフェクTV!110
VIDEO：VIDEOリスト

ヘルプ
SmartVisionのオンラインヘルプを表示します。

映像表示ウィンドウ
テレビの映像を表示します。

プレイモードタブ
タイムシフトモードとライブモードを切り換えます。

設定ボタン
SmartVisionに関するいろいろな設定をします。

インフォメーションボタン
インターネットを通じて、SmartVisionの情報を見ることができます。

リストウィンドウ表示ボタン
番組表、VIDEOリスト、予約＆結果リストを表示します。

コントロールパネル
チャンネル切り換え、音量調節、録画・再生など映像の操作をします。

ステータスバー
エラーなどの各種メッセージや時刻を表示します。

●コントロールパネル

プログレスバー

タイムシフトモード時：つまみの位置がリアルタイム放送との差を表します。つまみをドラッグしてタイムシフトしている時間を調節できます。
録画番組再生時：つまみの位置が現在再生している位置を表します。つまみをドラッグして映像を巻き戻したり早送りしたりできます。
ライブモード時：何も表示されません。

SmartVisionの画面をドラッグして広げると、設定ボタン・インフォメーションボタン・リストウィンドウ表示ボタンには各機能名が表示されます。

映像表示ウィンドウで右クリックをすると、メニューが表示されます。メニューで項目を選んでクリックすることで、選んだ項目操作を実行できます。

参照

SmartVisionの設定について→オンラインヘルプの「設定」

■ アドバンストモード

アドバンストモード画面の左下には、「デジタル」タブ、「番組情報」タブ、「シーン・・」タブ、「簡易編集」タブ(録画番組再生時)があり、切り換えて操作します。
表示している放送によって、操作できるタブが異なります。操作できないタブは、クリックできなくなります。

●「番組情報」タブ

●「デジタル」タブ 地上デジタル放送 BSデジタル放送

●「シーン‥」タブ 地上アナログ放送

※1 録画番組の再生時またはタイムシフトモード時のみ

※2 録画番組の再生時のみ

●「簡易編集」タブ(録画番組再生時) 地上アナログ放送

※ ここから を指定しないで登録した場合は、番組の先頭から登録されます。ここまで を指定しないで登録した場合は、番組の最後まで登録されます。

■ スリムモード

スリムモードにすると、シンプルな画面で番組を見ることができます。また、ノーマル/アドバンストモードよりも画面のサイズを小さくすることができます。

■ フルスクリーンモード

ディスプレイいっぱいに画面を表示します。マウスをクリックするともとに戻ります。

ポイント

ノーマルモード･スリムモード･アドバンストモード時に、映像を表示している領域をダブルクリックすると、フルスクリーンモードに切り換わります。

付録

映像をホームネットワークで配信する（VALUESTAR Xのみ）地上アナログ放送

VALUESTAR Xでは、ホームネットワークに接続したパソコンに地上アナログ放送の映像を配信することができます。
ホームネットワークに接続したほかのパソコン（映像を受け取るクライアントパソコン）から、このパソコン（映像を配信するサーバパソコン）で録画した地上アナログ放送の番組を視聴したり、クライアントパソコンからこのサーバパソコンに録画予約ができるようになります。
また、サーバパソコンで受信している番組を視聴することもできます。
詳しい手順については、SmartVisionのオンラインヘルプをご覧ください。

クライアントパソコンからの視聴、予約、番組表閲覧は地上アナログ放送のみに対応しています。また、録画済み番組の配信は、地上アナログ放送またはアナログ変換して録画したデジタル放送のうちコピーフリーの番組に対応しています。

チェック

●サーバパソコンは、VALUESTAR Xシリーズのみです。その他のパソコンはサーバパソコンとして利用できません。

●予約リストでハードディスクの不足を示す「!」マークは正常に動作しない場合があります。

●お使いのセキュリティソフトによっては、ファイアウォールで通信がブロックされ、映像配信がうまくできない場合があります。その場合は、セキュリティソフトのマニュアルをご覧になり、「C:¥Program Files¥NEC¥SmartVision」の中の次のファイルにアクセス権を設定してください。

- NECSVTV.exe
- SVUPnPMn.exe
- SVUPnPDel.exe
- SVMSSvr.exe
- SVMSAct.exe

索　引　INDEX

英数字

5.1chサラウンド 69
ADAMS-EPG+ 22
B-CASカード 4,114
BS・110度CSデジタル放送 巻頭,2
CAS 114
CATV 64
CPRM 94
DVD MovieWriter 78
DVD+R/RW 77
DVD-R/RW 77
DVD-RAM 77,85,94,99
DVD-Video 77
DVD+VR 77
DVD-VR 77,94
DVD直接録画 87
MediaGarage 84
PPV(ペイ・パー・ビュー) 73
S/PDIF 69
SD-Video形式 89
SDメモリーカード 89
VIDEOリスト 42
WinDVD 100

あ行

アドバンストモード 10,120
アナログビデオカメラ 64
アンテナ 4,115
一時停止 42,49
追っかけ再生 44
おてがる予約 33
おまかせ録画 51
音声コントロール 12
音声多重放送 16
音量調節 12

か行

画質 30,35
簡易編集 78
キャプチャ 70,111
ゲーム機 64
結果リスト 38
検索 58
高画質 30

さ行

再生 42,84,88,100
さかのぼり録画 48
シーンインデックス 43
時刻修正 34
視聴予約 61
自動起動 41
字幕放送 71
省電力状態 41
スリムモード 10,122
静止画 70,111
双方向サービス 18

た行

タイムシフトモード 13,49
短縮再生 43
地上アナログ放送 巻頭,2
地上デジタル放送 巻頭,2
チャンネルコントロール 12
長時間 30
超長時間 30
データ放送 18
特殊再生 43
独立データ放送 18

な行

ノーマルモード 10,119

は行

ハードディスク容量 30,32
早送り 42,49
番組情報 26
番組表 4,21,33,61,109
番組表を受信できる放送局 27
番組連動データ放送 18
ぴったり録画 55
ビデオデッキ 64
標準画質 30
ファイル出力 89,96
ブックマーク 43
フルスクリーンモード 10,14,122
編集 75

ま行

巻き戻し 42,49
メディアガレージ(MediaGarage) 84

や行

ユーザー設定 30
有料放送 73
予約 33,41,58,60,61,63,106
予約結果 38
予約の確認 36
予約の取り消し 36
予約の変更 36
予約リスト 36

ら行

ライブモード 49
ラジオ放送 73
リピート 43
録画 14,30,33,48,51,55,106
録画予約 33,106

VALUESTAR

こだわりAVガイド

もっとテレビを楽しむ本

初版 **2006年9月**
NEC
853-810601-582-A
Printed in Japan

NECパーソナルプロダクツ株式会社
〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11-1（ゲートシティ大崎 ウエストタワー）

このマニュアルは、再生紙(古紙率:表紙70%、本文100%)を使用しています。